

# 第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面リスト

番号	図面名称	図面番号	番号	図面名称	図面番号	番号	図面名称	図面番号	番号	図面名称	図面番号
1	工事区分表	A-01	28	2階天井伏図	A-28	55	人工強化竹垣フェンス(大津垣)	A-55	01	基礎構造標準仕様書	S-00
2	特記仕様書(木造)1	A-02	29	1階平面詳細図-1	A-29	56	目隠し遮音フェンス	A-56	02	木造軸組接合部標準図(1)	S-01
3	特記仕様書(木造)2	A-03	30	1階平面詳細図-2	A-30	57	目隠し遮音門扉	A-57	03	木造軸組接合部標準図(2)	S-02
4	特記仕様書(木造)3	A-04	31	2階平面詳細図-3	A-31	58	ワイヤメッシュフェンス	A-58	04	木造軸組接合部標準図(3)	S-03
5	特記仕様書(木造)4	A-05	32	1階建具キープラン	A-32	59	大型引戸門扉(片引きアルミ戸)	A-59	05	木造軸組接合部標準図(3B)	S-04
6	特記仕様書(木造)5	A-06	33	2階建具キープラン	A-33	60	構内排水路図	A-60	06	木造軸組接合部標準図(4)	S-05
7	特記仕様書(木造)6	A-07	34	建具表	A-34	61	差込式車止め	A-61	07	木造軸組接合部標準図 金物工法(1)	S-06
8	特記仕様書(木造)7	A-08	35	展開図-1	A-35	62	ポケットパーク詳細図	A-62	08	木造軸組接合部標準図 金物工法(2)	S-07
9	特記仕様書(木造)8	A-09	36	展開図-2	A-36	63	樹脂竹垣(四ツ目垣)	A-63	09	木造軸組接合部標準図 金物工法(3)	S-08
10	特記仕様書(木造)9	A-10	37	展開図-3	A-37	64	アルミ柵枝折戸	A-64	10	基礎伏図	S-09
11	求積図	A-11	38	展開図-4	A-38	65	ベンチ詳細図	A-65	11	土台伏図	S-10
12	配置図・案内図	A-12	39	展開図-5	A-39	66	ウッド調和風自立看板(ジバング)	A-66	12	2階床伏図	S-11
13	外部仕上表	A-13	40	展開図-6	A-40	67	外構面積計算図	A-67	13	1階母屋伏図	S-12
14	1階内部仕上表	A-14	41	展開図-7	A-41	68	擬木柵	A-68	14	2階小屋伏図	S-13
15	2階内部仕上表	A-15	42	展開図-8	A-42	69	仮設計画図・地盤調査図	A-69	15	2階母屋伏図(1)	S-14
16	排煙面積換気面積計算	A-16	43	展開図-9	A-43	70	1階(気積)平面図	A-70	16	2階母屋伏図(2)	S-15
17	1階平面図	A-17	44	展開図-10	A-44	71	2階(気積)平面図	A-71	17	軸組図	S-16
18	2階平面図	A-18	45	展開図-11	A-45				18	柱頭柱脚金物配置図(1)	S-17
19	立面図	A-19	46	展開図-12	A-46				19	柱頭柱脚金物配置図(2)	S-18
20	断面図	A-20	47	1階家具キープラン	A-47				20	部材リスト	S-19
21	矩計図	A-21	48	2階家具キープラン	A-48						
22	玄関ポーチ詳細図	A-22	49	家具図リスト-1	A-49						
23	階段詳細図-1	A-23	50	家具図リスト-2	A-50						
24	階段詳細図-2	A-24	51	1階サインキープラン	A-51						
25	木造詳細図-A	A-25	52	2階サインキープラン	A-52						
26	木造詳細図-B	A-26	53	サイン詳細図	A-53						
27	1階天井伏図	A-27	54	外構図	A-54						

工事区分表（他工事との取合い等）		区分は○印を適用する					A 建築工事 E 電気設備工事 M 機械設備工事 EV エレベーター設備工事					※ 複数箇所に○印のあるものは、各工事を適用する															
項	目	A	E	M	EV	備考	項	目	A	E	M	EV	備考	項	目	A	E	M	EV	備考	項	目	A	E	M	EV	備考
躯体関係							その他	トラフ・ビット類（蓋を含む）	○					事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○					自家発電設備	自家発電装置		○			
RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○			RC造各種ビット	○						フリーアクセスフロア給排気グリル	○						発電装置 基礎	○				
	貫通スリーブの補強	○						同上用マンホール・タラップ	○						フリーアクセスフロアコンセント		○					トレンチ	○				
	開口部の型枠・補強	○						排水溝	○						壁・天井空調給排気グリル			○				トレンチ用 蓋	○				
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○			オイルサービスタンの防油堤	○													主燃料槽		○			
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○			フリーアクセスフロア内の防水堤	○													主燃料槽用 基礎、外郭工事（充填砂共）	○				
								設備室内床排水管				○											同上杭及び杭頭処理	○			
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○						既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○			その他	感知器連動防火戸のリリース用切込み	○						燃料小出槽		○			
	貫通スリーブ	○	○	○	○										消火器ボックス	○						燃料小出槽 基礎	○				
	貫通スリーブの補強	○													表面仕上げが必要な全熱交換機等の表面仕上げ	○				ボード類、塗装のみ		防油堤	○				
	開口部の型枠・補強	○													壁・天井・床点検口	○				M・E用含む		通気管		○			
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○										駆動装置が電動の建具類の1次電源、1次・2次配管、及び手元電源スイッチ		○			レールヒーター用 手元スイッチ含む		給油口ボックス		○			
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画								同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○						給油口ボックス 基礎	○				
予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画								駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の1次配線及び1次・2次配管	○						屋外トレンチ	○					
							仕上関係								同上本体・操作スイッチ及び2次配線	○						屋外トレンチ用 蓋	○				
設備機器の基礎	機器取付け用アンカー・架台		○	○	○		軽鉄天井・壁下地	ボード類の切込み	○						映像音響設備のある室で操作卓にスイッチを結ぶ電動フラインド		○					危険物表示板		○			
	基礎	○						下地材の切込み・補強	○						電動スクリーン及びボックス		○										
	太陽光発電設備基礎	○						開口部の墨出し	○	○	○	○			電気錠及び扉～枠通電金具及び2次配線	○											
	太陽光発電設備架台		○												同上用1次配線及び1次・2次配管	○					その他						
							可動間仕切	切込み・補強	○						避雷導体の接続		○										
エレベーター関係	機械室・昇降路の躯体	○					吊りボルト及びインサート	設備機器類用		○	○				笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○											
	機械室の床開口	○							各種ボックス類	○	○	○				ルーフドレン及び縦樋	○										
	機械室の床配管ビット・蓋	○													煙突の水抜き管（排水管）	○											
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上げ	○													地震感知器の配管配線				○								
	機械室内・昇降路内換気設備			○											防煙（「コハ」）と連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線		○										
	巻上機周囲のチェッカープレート敷				○		給排気関係	外壁ガラリ	○																		
	昇降路内ビット防水・集水桝	○						防風板	○							排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備	○									
	ビット点検タラップ				○			ウエザーカバー・ベントキャップ			○						くつ洗いの排水金物・排水管	○									
	各階出入口穴あけ・同補強	○						排気フード（標準詳細図によるステンレス製）	○		○						駐車場・車庫廻りのガソリントラップ	○									
	三方枠取付け・枠廻り埋戻し・同補強				○			排気フード（レンジフード等既製品）	○		○						雑排水・汚水排水設備			○							
出入口扉・三方枠及び幕板				○												ハンドホール			○								
昇降路がS造の時の出入口扉・三方枠及び幕板の固定用鋼材	○															E・M側で充填用マンホール蓋を使用した場合の表面仕上げ	○										
昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○		水廻り機器	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○								雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水桝までM）	○	○									
昇降路がS造の時の中間ビーム及びレールブラケットの受けベース	○						手洗い・洗面器カウンター	○																			
機械室大梁又は昇降路内にフックの取付け	○																										
ホール押釦・インジケータなどの壁開口	○																										
点検用コンセント・煙感知器		○									○																
E V制御盤までの動力・照明用電源、防災信号、アース、拡声設備（館内放送用）配管配線工事		○																									
E V制御盤からE V監視盤又は警報盤までの配管配線工事				○																							
E V制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事				○																							
E V制御盤から監視カメラ用の監視装置までの配管配線工事		○																									
E V制御盤からインターホンまでの配管配線工事				○																							
E V制御盤からE V監視盤又は警報盤までの制御及びインターホンの配管配線工事				○																							
E V制御盤からE V監視盤までの保守遠隔監視用（電話回線）の配管工事		○																									
E V制御盤からE V監視盤までの緊急地震速報受信用の配管工事		○																									
動力計測用電力計から自動制御盤までの配管配線工事				○																							

第三学区放課後児童クラブ新築工事 特記仕様書		章 1 章 各 章 共 通 事 項	3 章 土 地 業 、 基 礎 鉄 筋 、 コ ン ク リ ー ト 工 事	○ 埋戻し及び盛土 (3.2.3) 埋戻し及び盛土の種類 ・A種 適用場所 ( 山砂 ) ○B種 適用場所 ( ) ・C種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・D種 適用場所 ( ) 品質 (細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。)	○ 山留めの有無 (3.3.1) ・有 ○無	○ 山留めの存置 (3.3.3) 存置範囲 ( ※図示 )	○ 支持地盤 (3.2.1)(4.2.3.4)(4.3.4.5)(4.5.4.5) ○杭基礎 支持地盤の位置及び種類(基礎ぐいの先端位置含む) ○図示による( 構造図 ) ・直接基礎 支持地盤の位置及び種類(基礎底部の位置含む) ・図示による( ) ・試験掘り(根切り底の状態の確認等) ・図示による( ) ・杭の載荷試験 ・図示による( ) ・地盤の載荷試験 ・図示による( )	○ 砂利地業 (4.6.2.3) 材料 ○再生クラッシュラン ・切込み砂利又は切込み砕石 砂利厚さ及び範囲 厚さ 範囲 ※60 ○基礎下 ○土間コンクリート下 ○150 ・土に接するスラブ下 ○図示による( )	○ 捨コンクリート地業 (4.6.4) 厚さ及び範囲 厚さ 範囲 ※50 ・基礎スラブ下 ○基礎梁下 ・土に接するスラブ下	○ 床下防湿層 (4.6.2.5) 材料 ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 範囲 ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)	○ 地盤改良 種類及び施工方法等 ・図示による( )	○ 置換コンクリート地業(ラップルコンクリート地業) 形状等 ・図示による( ) 支持地盤の長期設計支持力 ( ) kN/m <sup>2</sup> 支持地盤 ・図示による( ) 型枠使用の有無 ・無し ・有り 型枠の使用箇所等は図示による( )	○ 鉄筋 (5.2.1) 鉄筋の種類等 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ○SD295A D10・D13・D16 ・SD345	○ 溶接金網 (5.2.2) 鉄線の形状等 種類 種類の記号 鉄線の形状、網目 使用部位 ○溶接金網 3.2φ 100角 階段段板 ・鉄筋格子	○ 鉄筋の継手及び定着 (5.3.4)(5.5.2)(5.6.3) 鉄筋の継手の方法 部位 継手の方法 呼び径 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 ○その他の鉄筋 ○重ね継手 継手位置 ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)5.1.6.1.7.1.7.3.8.1) 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)3.1表3.1) ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)3.1(a)(3)) 耐力壁の重ね継手の長さ ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)3.1表3.1) ・図示による(構造関係共通事項(配筋標準図)3.1(a)(3)) 鉄筋の定着長さ ○図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3.1(b)) 最小かぶり厚さ (5.3.5) ○図示による(構造関係共通図(配筋標準図)表4.1) 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害を受けるおそれのある部分等) ・あり 使用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm	○ 各部配筋 (5.3.7) ○図示による(構造関係共通図(配筋標準図)) ・図示による( )	○ 圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 試験方法等 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)①~⑥による	○ 機械式継手 (5.5.2) 適用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 ・図示による( )	○ 溶接継手 (5.6.3) 適用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による( )	○ コンクリートの種類 (6.2.1) コンクリートの類別 ※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長	鶴岡市建設部 建築課 設計承認済	(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事	2	A	木造特記仕様書(その1)	HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社
I 工事概要	1. 工事場所 鶴岡市若葉町15-34 他																														

<p>○ コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等</p> <p>○ セメント</p> <p>○ 骨材</p> <p>○ 混和材料</p> <p>○ 無筋コンクリート</p> <p>○ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>○ 構造体コンクリートの仕上り</p> <p>○ 打増し厚さ(打放し仕上げ部)</p> <p>○ 床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し処理</p> <p>○ 型枠</p> <p>○ 断熱材兼用型枠</p> <p>○ コンクリートの単位水量測定</p>	<p>○ 普通コンクリート (6.2.1~4)(6.3.2)(6.10.1,2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スランプ (cm)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・24</td> <td>※標準仕様書 6.2.2 による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○21</td> <td>○18</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造体強度補正值 ※標準仕様書表 6.3.2 による</p> <p>種類 (6.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>セメントの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</td> <td>建物躯体(下記以外)</td> </tr> <tr> <td>・高炉セメントB種 G</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> <tr> <td>・フライアッシュセメントB種 G</td> <td>基礎、地中梁</td> </tr> </table> <p>普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が 7日目で 352J/g 以下かつ 28日目で 402J/g 以下のものとする。</p> <p>使用骨材のアルカリシリカ反応による区分 ※A B (6.3.1)</p> <p>混和剤の種類 (6.3.1)</p> <p>混和材の種類 (6.3.1)</p> <p>コンクリートの種類 (6.14.1)</p> <p>※普通コンクリート</p> <p>セメントの種類</p> <p>※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種</p> <p>・高炉セメントB種 G</p> <p>・フライアッシュセメントB種 G</p> <p>設計基準強度 ※18(N/mm<sup>2</sup>)</p> <p>スランプ ※15cm又は18cm</p> <p>適用箇所 ※標準仕様書 6.14.1(4)(7~カ)による</p> <p>打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)</p> <p>・図示による ( )</p> <p>目地寸法</p> <p>・標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)・図示による ( )</p> <p>ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法</p> <p>※図示による ( )</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○A種</td> <td>外部基礎立上り</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○a種</td> <td>外部基礎立上り</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm</p> <p>コンクリート打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し処理</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面の打増し処理</p> <p>※図示による ( )</p> <p>せき板の材料及び厚さ G</p> <p>○合板 ( ) ※12mm (6.8.2)</p> <p>MCR工法用のシート</p> <p>適用箇所 ・図示による</p> <p>スリーブの材質・規格等</p> <p>・図示による</p> <p>使用箇所 ※図示による (6.8.2)</p> <p>厚さ 20~40mm</p> <p>熱抵抗値 0.73m<sup>2</sup>K/W以上を有するものとする。建築技術評価「断熱材兼用型枠工法の開発」において評価を取得したもの、又は同等以上とする。</p> <p>実施要領</p> <p>※図示による(構造関係共通図(構造関係共通事項))</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所	・24	※標準仕様書 6.2.2 による			○21	○18			セメントの種類	適用箇所	※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体(下記以外)	・高炉セメントB種 G	基礎、地中梁	・フライアッシュセメントB種 G	基礎、地中梁	種別	適用箇所	○A種	外部基礎立上り	・B種		・C種		種別	適用箇所	○a種	外部基礎立上り	・b種		・c種		<p>4章 木造工事</p> <p>○ 防腐・防蟻処理 (4.2.1~3)</p> <p>○ 防腐措置 (4.2.4)</p> <p>○ 防火被覆処理 (4.3.1~3)</p> <p>10章 木造工事</p> <p>○ 材料 (10.2.2) (10.2.3) (10.2.4)</p> <p>○ 表面仕上げ (10.1.3)</p> <p>○ 木材の耐水性処理 (10.3.1)(18.13.2)</p> <p>○ 木材の防虫処理 (10.3.2)</p>	<p>適用部材</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="3">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <td>防腐・防蟻処理</td> <td>薬剤の加圧注入</td> <td>薬剤の塗布等</td> </tr> <tr> <td>が不要な樹種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○土台</td> <td>○ひのき</td> <td>・K2 ・K3 ・K4 ・行う</td> </tr> </table> <p>インサイジング</p> <p>・適用する ・適用しない</p> <p>○薬剤の塗布等による処理</p> <p>薬剤の種類</p> <p>適用部材</p> <p>図示</p> <p>処理の方法</p> <p>※木造標準仕様書 4.2.1(ウ)(b)①から⑤までによる</p> <p>・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入(K3)による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部位 ・図示</p> <p>・地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理</p> <p>適用は木造標準仕様書 4.2.2 (7)による (イ)による</p> <p>・地盤の土壌の防蟻処理</p> <p>使用する薬剤</p> <p>有効成分の系統 ( )</p> <p>剤型の種類 ・液剤 ・粒剤</p> <p>処理方法及び使用量</p> <p>・帯状散布(帯状の幅:約20cm)</p> <p>液剤:処理長さ 1L/m 粒剤:( )</p> <p>・面状散布</p> <p>液剤:3L/m<sup>2</sup> 粒剤:( )</p> <p>・基礎外周部の換気孔 (4.2.4)</p> <p>・ねこ土台 材質等(※防鼠スクリーン又は防虫網)</p> <p>・換気孔 材質等(※防鼠スクリーン又は防虫網)</p> <p>・小屋裏換気方法は木造標準仕様書 4.2.4(3)</p> <p>・(a) ・(b) ・(c) ・(d) ・(e)</p> <p>換気孔の大きさ ・図示</p> <p>・防火被覆材の材料 ・図示</p> <p>・防火被覆材の厚さ ・図示</p> <p>・接合部等の防火被覆処理 ・図示</p> <p>11章 防水工事</p> <p>○ 外壁通気構法下地 (10.8.2)</p> <p>積雪地の場合の下地補強</p> <table border="1"> <tr> <th>工法種別</th> <th>補強方法</th> <th>補強高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・縦通気胴縁工法</td> <td>※木造標準仕様書10.8.2(ウ)(h)による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○横通気胴縁工法</td> <td>※木造標準仕様書10.8.2(ウ)(i)による</td> <td></td> </tr> </table> <p>和室の造作 (10.10.1)</p> <p>柱 ・背割不要の処理</p> <p>FRP系塗膜防水 (11.2.2,4)</p> <p>・ルーフトレン</p> <p>・FRP系塗膜防水用ルーフトレン ・鋳鉄製</p> <p>・オーバーフロー管</p> <p>※つば付き 製造所の指定する製品</p> <p>・下地合板の上の防水板</p> <p>種類 ( ) ※ケイ酸カルシウム板 ( )</p> <p>厚さ ( ) ※10mm</p> <p>防水層平場の勾配</p> <p>・ ※1/100以上</p> <p>水張り試験 ・行う</p> <p>シーリング (11.3.2)(表11.3.1)(11.3.3)</p> <p>下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1による。</p> <p>ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>・サッシ廻り</td> <td>シリコンシーリング</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※木造標準仕様書10.3.3(a)(1)から(3)までによる。</p> <p>防水テープ (11.4.2)</p> <p>両面粘着防水テープの幅</p> <p>・ ※50mm以上</p> <p>バルコニー手すり (11.4.3)</p> <p>・図示</p> <p>※木造標準仕様書11.4.3(ケ)①から⑤までによる</p> <p>ケイ酸質系塗布防水 (11.5.1)(9.6.1,3)(表9.6.1,2)</p> <p>防水層の種類別</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・C-U1</td> <td></td> <td>・C-UP</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>12章 石工事</p> <p>○ 施工 (10.1.3,5)</p> <p>石材の割付け ・図示</p> <p>粗面仕上げの場合ののみ込みとなる部分の仕上げ</p> <p>・図示</p> <p>屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ</p> <p>・行う(適用箇所 ・すべて ( ))</p> <p>○行わない</p> <p>天然石 (10.2.1,3)(表10.2.1,2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>岩石の種類</th> <th>等級</th> <th>形状及び寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○床石</td> <td>御影石</td> <td>※2等品</td> <td>○W90L600</td> <td>t30</td> <td>本磨き</td> <td>玄関</td> </tr> </table> <p>テラズブロック</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>形状による区分</th> <th>仕上面に寸法による区分(mm)</th> <th>仕上げの種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石</td> <td>・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・平もの</td> <td>・片面</td> <td>・両面</td> </tr> </table> <p>テラズタイル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種石の種類</th> <th>種石の大きさ(mm)</th> <th>寸法による区分</th> <th>表面仕上げ</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※大理石</td> <td>・花こう岩</td> <td>※1.5~12</td> <td>・300型</td> <td>・400型</td> </tr> </table>	処理の種類及び処理の方法			防腐・防蟻処理	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	が不要な樹種			○土台	○ひのき	・K2 ・K3 ・K4 ・行う	適用部位	処理の方法					工法種別	補強方法	補強高さ(mm)	・縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ウ)(h)による		○横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ウ)(i)による		施工箇所	シーリング材の種類(記号)	・サッシ廻り	シリコンシーリング					種別	施工箇所	種別	施工箇所	・C-U1		・C-UP						施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考	○床石	御影石	※2等品	○W90L600	t30	本磨き	玄関	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面に寸法による区分(mm)	仕上げの種類	備考		※大理石	・花こう岩	※1.5~12	・平もの	・片面	・両面	施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考		※大理石	・花こう岩	※1.5~12	・300型	・400型	<p>14章 屋根及びとい工事</p> <p>○ 材料 (14.2.2)</p> <p>○ 金属板葺 (14.3.2~8)</p> <p>下葺材料</p> <p>・アスファルトルーフィング940</p> <p>※改質アスファルトルーフィング下葺材(一般タイプ)</p> <p>改質アスファルトルーフィングの積雪寒冷地対策 ・行う</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>保水率</td> <td>70.0%以上</td> </tr> <tr> <td>単位容積質量</td> <td>1.8kg/L以上</td> </tr> <tr> <td>接着強さ</td> <td>標準時 0.6N/mm以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温冷繰り返し後 0.4N/mm以上</td> </tr> <tr> <td>長さ変化率</td> <td>0.2%以下</td> </tr> <tr> <td>曲げ強さ</td> <td>4.0N/mm以上</td> </tr> </table> <p>板及びコイルの種類</p> <p>塗膜の耐久性、めっき付厚さ</p> <p>層等の種類及び記号 (mm)</p> <p>屋根葺形式</p> <p>固定釘等の材質</p> <p>・平葺(一文字葺)</p> <p>・心木あり瓦葺</p> <p>・心木なし瓦葺</p> <p>○横葺</p> <p>・立平葺</p> <p>心木の防腐・防蟻処理方法 ( )</p> <p>令和7年8月29日</p> <p>担当 主査 課長補佐 課長</p> <p>鶴岡市建設部 建築課 設計承認済</p> <p>(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事</p> <p>木造特記仕様書(その2)</p> <p>HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社</p>	項目	品質・性能	保水率	70.0%以上	単位容積質量	1.8kg/L以上	接着強さ	標準時 0.6N/mm以上		温冷繰り返し後 0.4N/mm以上	長さ変化率	0.2%以下	曲げ強さ	4.0N/mm以上	<p>取付け用モルタル</p> <p>※専門工業者の指定する製品</p> <p>既調査の目地モルタル</p> <p>※専門工業者の指定する製品</p> <p>石裏面処理材</p> <p>※専門工業者の指定する製品</p> <p>裏打ち処理材</p> <p>※専門工業者の指定する製品</p> <p>金物の固定に使用する充填材料等</p> <p>※専門工業者の指定する製品</p> <p>(11.1.3)(表11.1.1)</p> <p>位置 ・図示 ※標準仕様書表11.1.1による</p> <p>目地寸法・図示 ※標準仕様書表9.7.3による</p> <p>(11.2.2,7)</p> <p>タイル工事</p> <p>○ セメントモルタルによるタイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>再生材料の適用 G</th> <th>排水による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>玄関ポーチ</td> <td>150角</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>段鼻タイル</td> <td>150x75</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする</p> <p>試験張り ・行う ○行わない</p> <p>見本焼き ・行う ○行わない</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理</p> <p>○目荒し工法(高圧水洗処理)・MCR工法</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル</p> <p>・密着張り ・改良積上げ張り</p> <p>・改良圧着張り・ユニットタイル</p> <p>外装タイル</p> <p>・密着張り ・改良積上げ張り</p> <p>・改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り</p> <p>・モザイクタイル張り</p> <p>既製調査モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>(品質・性能)</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用 G	排水による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	備考	玄関ポーチ	150角		○	○	○	○	○	○	段鼻タイル	150x75		○	○	○	○	○	○
設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	スランプ (cm)	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	適用箇所																																																																																																																																																																						
・24	※標準仕様書 6.2.2 による																																																																																																																																																																								
○21	○18																																																																																																																																																																								
セメントの種類	適用箇所																																																																																																																																																																								
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種	建物躯体(下記以外)																																																																																																																																																																								
・高炉セメントB種 G	基礎、地中梁																																																																																																																																																																								
・フライアッシュセメントB種 G	基礎、地中梁																																																																																																																																																																								
種別	適用箇所																																																																																																																																																																								
○A種	外部基礎立上り																																																																																																																																																																								
・B種																																																																																																																																																																									
・C種																																																																																																																																																																									
種別	適用箇所																																																																																																																																																																								
○a種	外部基礎立上り																																																																																																																																																																								
・b種																																																																																																																																																																									
・c種																																																																																																																																																																									
処理の種類及び処理の方法																																																																																																																																																																									
防腐・防蟻処理	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等																																																																																																																																																																							
が不要な樹種																																																																																																																																																																									
○土台	○ひのき	・K2 ・K3 ・K4 ・行う																																																																																																																																																																							
適用部位	処理の方法																																																																																																																																																																								
工法種別	補強方法	補強高さ(mm)																																																																																																																																																																							
・縦通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ウ)(h)による																																																																																																																																																																								
○横通気胴縁工法	※木造標準仕様書10.8.2(ウ)(i)による																																																																																																																																																																								
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																																								
・サッシ廻り	シリコンシーリング																																																																																																																																																																								
種別	施工箇所	種別	施工箇所																																																																																																																																																																						
・C-U1		・C-UP																																																																																																																																																																							
施工箇所	岩石の種類	等級	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考																																																																																																																																																																			
○床石	御影石	※2等品	○W90L600	t30	本磨き	玄関																																																																																																																																																																			
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上面に寸法による区分(mm)	仕上げの種類	備考																																																																																																																																																																			
	※大理石	・花こう岩	※1.5~12	・平もの	・片面	・両面																																																																																																																																																																			
施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考																																																																																																																																																																				
	※大理石	・花こう岩	※1.5~12	・300型	・400型																																																																																																																																																																				
項目	品質・性能																																																																																																																																																																								
保水率	70.0%以上																																																																																																																																																																								
単位容積質量	1.8kg/L以上																																																																																																																																																																								
接着強さ	標準時 0.6N/mm以上																																																																																																																																																																								
	温冷繰り返し後 0.4N/mm以上																																																																																																																																																																								
長さ変化率	0.2%以下																																																																																																																																																																								
曲げ強さ	4.0N/mm以上																																																																																																																																																																								
施工箇所	形状寸法(mm)	再生材料の適用 G	排水による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	備考																																																																																																																																																																	
玄関ポーチ	150角		○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	
段鼻タイル	150x75		○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																	

折板葺	<p>○平葺（一文字葺）の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>はげの作り方 ※図示</li> <li>心木あり瓦葺葺の工法 <ul style="list-style-type: none"> <li>銅板以外の板による屋根一般部分の工法</li> <li>溝板及びキャップの留付け方法</li> <li>※木造標準仕様書14.3.5(3)(7)(c)による</li> <li>瓦棒の間隔 ※図示</li> </ul> </li> <li>銅板による屋根一般部分の工法</li> <li>瓦棒の間隔 ※図示</li> </ul> <p>心木なし瓦葺葺の工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨押さえを付ける場合</li> <li>※木造標準仕様書14.3.6(4)(オ)(a)による</li> <li>雨押さえを用いない場合</li> <li>※木造標準仕様書14.3.6(4)(オ)(b)による</li> </ul> <p>工法</p> <p>吊子、各部の釘の留付け間隔 ※図示</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>雪止め ○設置する(施工箇所 ○図示)</p> <p>(14.4.2,3)表(14.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐風による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>重ね形</td> <td>山高</td> <td>( )種</td> <td></td> <td></td> <td>有り</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>はげ締め形</td> <td>山ピッチ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無し</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 ( )</p> <p>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類および記号 ( )</p> <p>断熱材 ・有り(種別: 厚さ(mm): 防火性能: 時間)</p> <p>・無し</p> <p>タイトフレームを留め付ける下地材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材質</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>種類 (14.5.2,3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形状による区分</th> <th>製法による区分</th> <th>寸法による区分</th> <th>軒瓦</th> <th>そで瓦</th> <th>のし瓦</th> <th>冠瓦</th> <th>半瓦</th> <th>雪止め瓦</th> <th>大きさ</th> <th>産地等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・J形瓦</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S形瓦</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・F形瓦</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>補強用心木の防腐・防蟻処理方法 ( )</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>瓦葺木の留付け工法 ※図示</p> <p>棟の工法 ・木造標準仕様書14.5.3(5)(7)から(1)までによる</p> <p>(14.6.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">寸法(mm) (全長さ×全幅)</th> <th colspan="2">役物</th> <th rowspan="2">着色(色調)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>棟</th> <th>けらば</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・平形</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無</td> <td>・有( )</td> </tr> <tr> <td>・波形</td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・無</td> <td>・有( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>軒先、けらば等に曲面を設ける場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※半径500mm以上</li> </ul> <p>雪止め ・設置する(図示)</p> <p>(14.7.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品質</th> <th>形状</th> <th>色調</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づく風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>軒先、けらば等に曲面を設ける場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※半径500mm以上</li> </ul> <p>雪止め ・設置する(図示)</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐風による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		重ね形	山高	( )種			有り	30分		はげ締め形	山ピッチ				無し	無し	材質	形状	寸法				形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	大きさ	産地等	・J形瓦			・	・	・	・	・	・			・S形瓦			・	・	・	・	・	・		※図示	・F形瓦			・	・	・	・	・	・			種類	寸法(mm) (全長さ×全幅)	役物		着色(色調)	備考	棟	けらば	・平形		・	・	・無	・有( )	・波形		・	・	・無	・有( )	品質	形状	色調	寸法(mm)	備考						<p>15章 金属工事</p> <p>○ ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ※HL程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○鏡面仕上げ 程度</td> <td>手摺</td> </tr> <tr> <td>・ No.2B程度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14.2.2)表(14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ AB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AB-2種</td> <td>・標準色</td> <td>・特注色</td> </tr> <tr> <td>・ AC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AC-2種</td> <td>・標準色</td> <td>・特注色</td> </tr> <tr> <td>・ BA-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-2種</td> <td>・標準色</td> <td>・特注色</td> </tr> <tr> <td>・ BB-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BB-2種</td> <td>・標準色</td> <td>・特注色</td> </tr> <tr> <td>・ BC-1種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BC-2種</td> <td>・標準色</td> <td>・特注色</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・標準色</td> <td>・特注色</td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化皮膜の着色方法 ・ ※二次電解着色</p> <p>(14.2.3)表(14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・電気亜鉛めっき</td> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(14.4.2~4)表(14.4.1)</p> <p>野縁等の種類 屋外 ・ ※25形</p> <p>屋内 ・ ※19形</p> <p>・屋外の軒天井、ピロティ天井等</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔</p> <p>・図示</p> <p>周辺部の端からの間隔 ・図示</p> <p>野縁の間隔 ・図示</p> <p>・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合</p> <p>補強方法 ・ 図示</p> <p>・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合</p> <p>補強方法 ・ 図示</p> <p>※標準仕様書14.4.4(8)による</p> <p>・天井のふとところが3.0mを超える場合</p> <p>補強方法 ・ 図示</p> <p>・天井下地材における耐震性を考慮した補強</p> <p>補強箇所 ・ 図示</p> <p>補強方法 ・ 図示</p>	種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	・ ※HL程度		○鏡面仕上げ 程度	手摺	・ No.2B程度		種別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)	・ AB-1種			・ AB-2種	・標準色	・特注色	・ AC-1種			・ AC-2種	・標準色	・特注色	・ BA-1種			・ BA-2種	・標準色	・特注色	・ BB-1種			・ BB-2種	・標準色	・特注色	・ BC-1種			・ BC-2種	・標準色	・特注色	・ C種	・標準色	・特注色	表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)	・溶融亜鉛めっき	・A種			・B種			・C種		・電気亜鉛めっき	・D種			・E種			・F種		<p>16章 左官工事</p> <p>○ モルタル塗り (15.3.2,5)</p> <p>モルタル ○現場調合材料 ・ 既調合材料</p> <p>既調合材料 ( )</p> <p>既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 ( )</p> <p>形状(※図示)</p> <p>○設けない</p> <p>床の目地 ・ 設ける(目地割り)</p> <p>※2m程度(最大目地間隔3m程度)</p> <p>(種類 ・ ※押し目地)</p> <p>○設けない</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験</p> <p>・適用する ○適用しない</p> <p>・防水剤(品質・性能)</p> <p>(試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤試験方法」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水剤の種類</td> <td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td> </tr> <tr> <td>混合割合</td> <td>セメント重量の5%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凝結及び安定性</td> <td>(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)</td> </tr> <tr> <td>(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。</td> </tr> <tr> <td>白け及び圧縮強度比</td> <td>防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td> </tr> <tr> <td>吸水比</td> <td>吸水比 9.5%以下</td> </tr> <tr> <td>透水比</td> <td>防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10Paとし1時間行う</td> </tr> </tbody> </table> <p>(15.2.4)</p> <p>ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通気構造単層下地</li> <li>換気口部の防水処理</li> <li>通気構造二層下地</li> <li>直張りラスモルタル下地</li> <li>直張りラスシートモルタル下地</li> <li>耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定 ( )</li> </ul> <p>ラスの材料</p> <p>素材による区分 ( )</p> <p>種類 ( )</p> <p>単位面積当たりの質量 ( )</p>	項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下	凝結及び安定性	(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。	白け及び圧縮強度比	防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	吸水比 9.5%以下	透水比	防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10Paとし1時間行う	<p>17章 建具工事</p> <p>・ 防火戸 (16.1.3)</p> <p>・ 見本の製作等 建具見本の製作 (16.1.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う(建具符号: ) ・行わない</li> </ul> <p>建具見本の程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事に使用するものとして、あらかじめ製作する</li> <li>納まり等が分かる程度のもの</li> </ul> <p>特殊な建具の仮組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う(建具符号: ) ・行わない</li> </ul> <p>(16.1.6)</p> <p>・ 防犯建物部品</p> <p>○ アルミニウム製建具 (16.2.2)</p> <p>・ 適用する (・建具表による) ・適用しない (16.2.2,4,5)表(14.2.1)表(16.2.1)</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級(50m/m<sup>2</sup>) 気密性の等級( )</p> <p>水密性の等級( )</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・B種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・C種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・D種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・E種(建具符号:・建具表による)</li> </ul> <p>・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>・耐震ドア 面内変形追従性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ・ ※SUS304, 430J1L又はSUS443J1</p> <p>枠の見込み寸法 ・ 建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>種別 ・BB-1 ・BB-2(標準仕様書14.2.1)</p> <p>着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具</p> <p>種別 ・BC-1 ・BC-2(標準仕様書14.2.1)</p> <p>着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法 ○図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ○図示 (16.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級 (16.2.5)(16.3.2~5)</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級( ) 気密性の等級( )</p> <p>水密性の等級( )</p> <p>外部に面する建具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・B種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・C種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・D種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・防音ドア・防音サッシ 建具表による</li> <li>遮音性の等級(・T-1 ・T-2)</li> <li>(建具符号:・建具表による)</li> <li>・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6)</li> <li>(建具符号:・建具表による)</li> </ul> <p>枠の見込み寸法 ・ 建具表による</p> <p>表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ・ ※図示</p> <p>ガラス ・ ※複層ガラス</p> <p>(16.2.2)(16.4.2~4)表(16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>○適用する (建具符号:・建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S-4(建具符号:・建具表による)</li> <li>・S-5(建具符号:・建具表による)</li> <li>・S-6(建具符号:・建具表による)</li> </ul> <p>○防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>・断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級(・)</p> <p>・耐震ドア 面内変形追従性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ・ ※SUS304, 430J1L又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ(mm) ・ ※標準仕様書表16.4.2による</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製				・ガラス繊維入り合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm	<p>令和7年8月29日</p> <p>鶴岡市建設部 建築課 設計承認済</p> <p>担当 主査 課長補佐 課長</p> <p>(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事</p> <p>木造特記仕様書(その3)</p> <p>HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社</p>	<p>4</p> <p>A</p>
	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐風による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																																						
	重ね形	山高	( )種			有り	30分																																																																																																																																																																																																							
	はげ締め形	山ピッチ				無し	無し																																																																																																																																																																																																							
材質	形状	寸法																																																																																																																																																																																																												
形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	そで瓦	のし瓦	冠瓦	半瓦	雪止め瓦	大きさ	産地等																																																																																																																																																																																																				
・J形瓦			・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																						
・S形瓦			・	・	・	・	・	・		※図示																																																																																																																																																																																																				
・F形瓦			・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																						
種類	寸法(mm) (全長さ×全幅)	役物		着色(色調)	備考																																																																																																																																																																																																									
		棟	けらば																																																																																																																																																																																																											
・平形		・	・	・無	・有( )																																																																																																																																																																																																									
・波形		・	・	・無	・有( )																																																																																																																																																																																																									
品質	形状	色調	寸法(mm)	備考																																																																																																																																																																																																										
種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																																																																																																																																																																																													
・ ※HL程度																																																																																																																																																																																																														
○鏡面仕上げ 程度	手摺																																																																																																																																																																																																													
・ No.2B程度																																																																																																																																																																																																														
種別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)																																																																																																																																																																																																												
・ AB-1種																																																																																																																																																																																																														
・ AB-2種	・標準色	・特注色																																																																																																																																																																																																												
・ AC-1種																																																																																																																																																																																																														
・ AC-2種	・標準色	・特注色																																																																																																																																																																																																												
・ BA-1種																																																																																																																																																																																																														
・ BA-2種	・標準色	・特注色																																																																																																																																																																																																												
・ BB-1種																																																																																																																																																																																																														
・ BB-2種	・標準色	・特注色																																																																																																																																																																																																												
・ BC-1種																																																																																																																																																																																																														
・ BC-2種	・標準色	・特注色																																																																																																																																																																																																												
・ C種	・標準色	・特注色																																																																																																																																																																																																												
表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)																																																																																																																																																																																																												
・溶融亜鉛めっき	・A種																																																																																																																																																																																																													
	・B種																																																																																																																																																																																																													
	・C種																																																																																																																																																																																																													
・電気亜鉛めっき	・D種																																																																																																																																																																																																													
	・E種																																																																																																																																																																																																													
	・F種																																																																																																																																																																																																													
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																													
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																																																																																																													
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																																																																																																													
凝結及び安定性	(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)																																																																																																																																																																																																													
	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。																																																																																																																																																																																																													
白け及び圧縮強度比	防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																																																																																																													
吸水比	吸水比 9.5%以下																																																																																																																																																																																																													
透水比	防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10Paとし1時間行う																																																																																																																																																																																																													
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																											
・防虫網	※合成樹脂製																																																																																																																																																																																																													
	・ガラス繊維入り合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																											
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm																																																																																																																																																																																																											
粘土瓦葺	<p>○とい</p> <p>といの材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属板(銅板を除く) (14.8.2,3)表(14.8.1)</li> <li>板厚</li> <li>谷どい</li> <li>種類 ・木造標準仕様書表14.8.1( )</li> <li>板厚</li> <li>銅板</li> <li>板厚</li> <li>※一般部0.35mm、谷どい部0.4mm</li> </ul> <p>○硬質塩化ビニル樹脂製</p> <p>種類 ( )</p> <p>外径 ( )</p> <p>厚さ ( )</p> <p>長さ ( )</p>	<p>16章 左官工事</p> <p>○ モルタル塗り (15.3.2,5)</p> <p>モルタル ○現場調合材料 ・ 既調合材料</p> <p>既調合材料 ( )</p> <p>既製目地材 ・ 設ける 施工箇所 ( )</p> <p>形状(※図示)</p> <p>○設けない</p> <p>床の目地 ・ 設ける(目地割り)</p> <p>※2m程度(最大目地間隔3m程度)</p> <p>(種類 ・ ※押し目地)</p> <p>○設けない</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験</p> <p>・適用する ○適用しない</p> <p>・防水剤(品質・性能)</p> <p>(試験方法) JIS A1404「建築用セメント防水剤試験方法」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水剤の種類</td> <td>建築用のモルタルに用いるセメント防水剤</td> </tr> <tr> <td>混合割合</td> <td>セメント重量の5%以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">凝結及び安定性</td> <td>(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)</td> </tr> <tr> <td>(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。</td> </tr> <tr> <td>白け及び圧縮強度比</td> <td>防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上</td> </tr> <tr> <td>吸水比</td> <td>吸水比 9.5%以下</td> </tr> <tr> <td>透水比</td> <td>防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10Paとし1時間行う</td> </tr> </tbody> </table> <p>(15.2.4)</p> <p>ラス系下地 (15.2.4)</p> <p>ラス系下地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通気構造単層下地</li> <li>換気口部の防水処理</li> <li>通気構造二層下地</li> <li>直張りラスモルタル下地</li> <li>直張りラスシートモルタル下地</li> <li>耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定 ( )</li> </ul> <p>ラスの材料</p> <p>素材による区分 ( )</p> <p>種類 ( )</p> <p>単位面積当たりの質量 ( )</p>	項目	品質・性能	防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤	混合割合	セメント重量の5%以下	凝結及び安定性	(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。	白け及び圧縮強度比	防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上	吸水比	吸水比 9.5%以下	透水比	防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10Paとし1時間行う	<p>17章 建具工事</p> <p>・ 防火戸 (16.1.3)</p> <p>・ 見本の製作等 建具見本の製作 (16.1.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う(建具符号: ) ・行わない</li> </ul> <p>建具見本の程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>工事に使用するものとして、あらかじめ製作する</li> <li>納まり等が分かる程度のもの</li> </ul> <p>特殊な建具の仮組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行う(建具符号: ) ・行わない</li> </ul> <p>(16.1.6)</p> <p>・ 防犯建物部品</p> <p>○ アルミニウム製建具 (16.2.2)</p> <p>・ 適用する (・建具表による) ・適用しない (16.2.2,4,5)表(14.2.1)表(16.2.1)</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級(50m/m<sup>2</sup>) 気密性の等級( )</p> <p>水密性の等級( )</p> <p>外部に面する建具の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・B種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・C種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・D種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・E種(建具符号:・建具表による)</li> </ul> <p>・防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>・耐震ドア 面内変形追従性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ・ ※SUS304, 430J1L又はSUS443J1</p> <p>枠の見込み寸法 ・ 建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具</p> <p>種別 ・BB-1 ・BB-2(標準仕様書14.2.1)</p> <p>着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>屋内の建具</p> <p>種別 ・BC-1 ・BC-2(標準仕様書14.2.1)</p> <p>着色 ・標準色 ・特注色</p> <p>結露水の処理方法 ○図示</p> <p>水切り板、ぜん板 ○図示 (16.2.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ガラス繊維入り合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級 (16.2.5)(16.3.2~5)</p> <p>性能値等</p> <p>耐風圧性の等級( ) 気密性の等級( )</p> <p>水密性の等級( )</p> <p>外部に面する建具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・A種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・B種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・C種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・D種(建具符号:・建具表による)</li> <li>・防音ドア・防音サッシ 建具表による</li> <li>遮音性の等級(・T-1 ・T-2)</li> <li>(建具符号:・建具表による)</li> <li>・断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級(・H-4 ・H-5 ・H-6)</li> <li>(建具符号:・建具表による)</li> </ul> <p>枠の見込み寸法 ・ 建具表による</p> <p>表面色 ・標準色 ・特注色</p> <p>水切り板、ぜん板 ・ ※図示</p> <p>ガラス ・ ※複層ガラス</p> <p>(16.2.2)(16.4.2~4)表(16.4.2)</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット</p> <p>○適用する (建具符号:・建具表による)</p> <p>・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S-4(建具符号:・建具表による)</li> <li>・S-5(建具符号:・建具表による)</li> <li>・S-6(建具符号:・建具表による)</li> </ul> <p>○防音ドア ・防音サッシ 遮音性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>・断熱ドア ・断熱サッシ 断熱性の等級(・)</p> <p>・耐震ドア 面内変形追従性の等級(・)</p> <p>(建具符号:・建具表による)</p> <p>ステンレス鋼板 ・ ※SUS304, 430J1L又はSUS443J1</p> <p>鋼板類の厚さ(mm) ・ ※標準仕様書表16.4.2による</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製				・ガラス繊維入り合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm	<p>令和7年8月29日</p> <p>鶴岡市建設部 建築課 設計承認済</p> <p>担当 主査 課長補佐 課長</p> <p>(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事</p> <p>木造特記仕様書(その3)</p> <p>HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社</p>	<p>4</p> <p>A</p>																																																																																																																																																																										
項目	品質・性能																																																																																																																																																																																																													
防水剤の種類	建築用のモルタルに用いるセメント防水剤																																																																																																																																																																																																													
混合割合	セメント重量の5%以下																																																																																																																																																																																																													
凝結及び安定性	(凝結時間 始発:1時間以上 終結:10時間以内)																																																																																																																																																																																																													
	(安定性) 収縮性、膨張性のひび割れ及びそりに確認する。																																																																																																																																																																																																													
白け及び圧縮強度比	防水剤を混入したものの、しないものの曲げ強度比及び圧縮強度比 70%以上																																																																																																																																																																																																													
吸水比	吸水比 9.5%以下																																																																																																																																																																																																													
透水比	防水剤を混入したものの、しないものの透水比 80%以下。ただし、透水試験における水圧は、3.0×10Paとし1時間行う																																																																																																																																																																																																													
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																																																																																											
・防虫網	※合成樹脂製																																																																																																																																																																																																													
	・ガラス繊維入り合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																																																																																											
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm																																																																																																																																																																																																											

鋼製軽量建具	性能等級 (16.2.2)(16.5.2~4)	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: 建具表による) ・適用しない ・防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 (建具符号: 建具表による) ・断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 (建具符号: 建具表による) ・耐震ドア 面内変形追従性の等級 (建具符号: 建具表による)											
	材料 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1 鋼板類の厚さ(mm) 使用箇所( ) ※標準仕様書表16.5.1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板												
ステンレス製建具	性能等級 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2~5)	簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: 建具表による) ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4 (建具符号: 建具表による) ・S-5 (建具符号: 建具表による) ・S-6 (建具符号: 建具表による)											
	・防音ドア 防音サッシ 遮音性の等級 (建具符号: 建具表による) ・断熱ドア 断熱サッシ 断熱性の等級 (建具符号: 建具表による) ・耐震ドア 面内変形追従性の等級 (建具符号: 建具表による) ステンレス鋼板 ※SUS304、430J1L又はSUS443J1 表面仕上げ ※HL 鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ 角出し曲げ												
木製建具	(16.7.2~4)	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外											
	◎フラッシュ戸 表面材の合板の種類	<table border="1"> <thead> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通合板</td> <td>表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 ( ) 接着の程度 (1類 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>樹種名 ( ) 接着の程度 (1類 2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>◎特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 (オーバーレイ プリント・塗装) 表面性能 ( )タイプ 接着の程度 (1類 2類)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	合板の種類	規格等	備考	普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 ( ) 接着の程度 (1類 2類)		天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (1類 2類)		◎特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (オーバーレイ プリント・塗装) 表面性能 ( )タイプ 接着の程度 (1類 2類)
合板の種類	規格等	備考											
普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) 不透明塗料塗り (※しな合板程度) 板面の品質 ( ) 接着の程度 (1類 2類)												
天然木化粧合板	樹種名 ( ) 接着の程度 (1類 2類)												
◎特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (オーバーレイ プリント・塗装) 表面性能 ( )タイプ 接着の程度 (1類 2類)												
	表面板の厚さ ※標準仕様書表16.7.6による かまち樹種 ( ) 鏡板樹種 ( ) 見込み寸法 建具表による ※36mm 張りの種別 (I型 II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・新鳥の子又はビニル紙程度 ・塗り縁 生地縁(素地) ・生地縁(ウレタンクリヤー塗装) ・戸ぶすま ・紙張り障子 見込み寸法 建具表による ※30mm 枠、くつずりの材料 建具表による												

◎ 建具用金物 (16.8.2,3)(表16.8.1)	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による 金属性建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※標準仕様書表16.8.2 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※標準仕様書表16.8.3 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ・建具表による ※標準仕様書表16.8.4 木製建具に使用する戸車及びレール ・建具表による ※標準仕様書表16.8.5
	握り玉及び、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・建具表による
◎錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 (性能)	<p>1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの閉閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</p> <p>2) キーによるデッドボルトの施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠繰り返し試験に支障がない。(シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</p> <p>3) キーによる施錠機構の施錠繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠繰り返し試験に支障がない。</p> <p>4) キーによる抜き差し繰り返し試験(10万回)を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</p>
使用頻度による性能	<p>1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。</p> <p>2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行った際、加圧板がデッドボルトを通過しない。</p> <p>3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が8mm未満)にならないこと。</p> <p>4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加圧板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。</p> <p>5) (シリンダ本締り錠はグレード3以上の影込錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロコケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。</p>
外力に対する性能	<p>1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</p> <p>2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行った後、トルクを除いたときハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>3) 握り玉のねじり強度試験(3KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>4) ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p> <p>5) ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がない。</p>
使用頻の質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)	<p>1) かぎ(鍵)数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵)違い数とみなさないものとする。</p> <p>2) 同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。</p>
鍵	試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物一錠一第1部:試験方法)による。 【レバーハンドル】 (性能) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。

引張り強度	ハンドルの引張強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。				
垂直荷重強度	ハンドルの垂直荷重強度試験(2KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠操作に支障がないこと。				
試験方法は、JIS A 1541-1(建築金物一錠一第1部:試験方法)による。					
◎クローザ類 (品質・性能)					
性能試験項目	区分 ①ドアクローザ ②ヒンジクローザ ③フロアヒンジ				
初期値	閉じ力及び初期率による区分 (注1) (注2)	閉じ率(%) 閉じ率(%) 閉じ率(%)	閉じ率(%) 閉じ率(%) 閉じ率(%)	閉じ率(%) 閉じ率(%) 閉じ率(%)	閉じ率(%) 閉じ率(%) 閉じ率(%)
	閉じ速度(秒)	常温(5~35℃)無風状態において、開扉(70°)から全閉(0°)までの時間を5~8秒に調整できること。			
温度依存性(℃)	緩衝油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法)により測定し、-15℃以下であること。				
ストップ入力	ストップ入力	60N・m以下 但し、コンパネド型は200N・m以下	100N・m以下	100N・m以下	
	ストップ解除力	8N・m以上	3N・m以上	10N・m以上	
初期性能(秒)	バックチェック機能(秒)	ドア開扉方向に荷重60N/m <sup>2</sup> を閉扉50°から負荷する。バックチェック開始角度(70~85°)から更に20°まで開く間の時間は0.8秒以上としていること。			
	ディレードアクション性能(秒)	開扉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。			
戸の閉鎖位置(中心吊り込み両自由のみに適用)				±3mm以内	
耐久性	繰返し開閉後の閉じ率(%)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	耐久試験後も上記初期値を満足していること。	
	繰返し開閉後の閉じ速度(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。			
繰返し開閉後のバックチェック性能(秒)	耐久試験後も上記初期値を満足していること。				
	耐久試験後も上記初期値を満足していること。				
繰返し開閉後の戸閉鎖位置(mm)				耐久試験後±6mm以内	
耐久性の試験回数(繰返し開閉回数)	20万回	10万回	30万回		
注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 Grade1を選定する場合は、図示による。 (試験方法) 1) 性能試験は、JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法一第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)に規定する試験方法による。 2) 試験ドアの質量は、1番手は25kg、2番手は40kg、3番手は60kg、4番手は80kg、5番手は100kg、6番手は120kgとする。(16.8.4)					
マスターキー鍵の製作本数	製作する ・製作しない ※各室3本1組(室名札付き) ・無し ※有				

自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置 性能値 ・種類・開閉方式 ( ) ・耐電圧 ( ) ・温度上昇 ( ) ・耐久性(サイクル) ( ) ・防錆 ( ) ・電源 ( ) ※標準仕様書表16.9.1 多機能トイレ出入り口引き戸用駆動装置 性能値 ・耐電圧 ( ) ・温度上昇 ( ) ・耐久性(サイクル) ( ) ・防錆 ( ) ・電源 ( ) ※標準仕様書表16.9.2 引き戸用検出装置 性能値 ・耐電圧 ( ) ・防錆 ( ) ・防滴 ( ) ・電源 ( ) ※標準仕様書表16.9.3 戸の開閉方式 ・建具表による 引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.4 ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ( ) ・適用しない(10.3)(表16.10.1)
◎自閉式上吊り引戸装置	性能値等 ・手動開き力 ( ) ・手動閉じ力 ( ) ・閉じ速度の調整 ( ) ・制動区間 ( ) ・開閉繰り返し ( ) ・耐衝撃性 ( ) ※標準仕様書表16.10.1 (試験方法) (1) 耐久性(開閉繰り返し)試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。 同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 (2) 耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性能試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による(11.2.3)
	令和7年8月29日 担当 主査 課長補佐 課長
	鶴岡市建設部 建築課 設計承認済
	(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事
	木造特記仕様書(その4)
	HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社
	5
	A

◎ 鍵

<p>重量シャッター</p> <p>シャッターの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理用シャッター <ul style="list-style-type: none"> <li>耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></li> <li>外壁用防火シャッター <ul style="list-style-type: none"> <li>耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></li> <li>屋内用防火シャッター <ul style="list-style-type: none"> <li>防煙シャッター</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式</p> <p>二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・ 図示</p> <p>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・ 図示</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設ける (設置箇所 ・ 図示 ・ )</li> <li>「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日 建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの</li> <li>・ 可動座板式 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型)</li> <li>・ 設けない</li> </ul> <p>管理用シャッターのシャッターケース</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設ける ・ 設けない</li> </ul> <p>スラット及びシャッターケース用鋼板</p> <p>鋼板の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> </ul> <p>めっきの付着量 ・ ※Z12又はF12 (16.12.2~4)</p> <p>開閉方式の種類 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ( ) N/m<sup>2</sup></p> <p>スラットの材質の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</li> <li>・ JIS G 3322 (塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯)</li> </ul> <p>めっきの付着量 (※AZ90 ・ )</p> <p>スラットの形状 ・ インターロック型形 ・ オーバーラッピング形 (16.13.2.3)</p> <p>オーバーヘッド</p> <p>ガラス (9.7)(16.14.2~4)(表16.14.1)</p> <p>フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>型板ガラスの厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>合わせガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>形状による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平面合わせガラス</li> <li>・ 曲面合わせガラス</li> </ul> <p>落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I類</li> <li>・ II-1類</li> <li>・ II-2類</li> <li>・ III類</li> </ul> <p>強化ガラス</p> <p>形状による種類、材料板ガラスの種類による名称</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I類</li> <li>・ III類</li> </ul> <p>熱線吸収板ガラス</p> <p>板ガラスの種類、厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>性能による種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1種</li> <li>・ 2種</li> </ul> <p>複層ガラス</p> <p>材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>断熱性 による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ T1</li> <li>・ T2</li> <li>・ T3</li> <li>・ T4</li> <li>・ T5</li> <li>・ T6</li> </ul> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ G</li> <li>・ S</li> </ul> <p>乾燥 気体の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空気</li> <li>・ アルゴン</li> </ul>	<p>ガラスブロック</p> <p>熱線反射ガラス</p> <p>材料 板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>日射遮蔽性による区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1種</li> <li>・ 2種</li> <li>・ 3種</li> </ul> <p>耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A類</li> <li>・ B類</li> </ul> <p>映像調整 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>倍強度ガラス</p> <p>材料 板ガラスの種類及び厚さによる種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建具表による</li> </ul> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形</td> <td>・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・ シーリング材</td> <td>・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・ シーリング材</td> <td>・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形</td> <td>・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>表面形状</p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法</th> <th>厚さ</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・ 125x125</td> <td>80</td> <td>・ 色調</td> <td>平積み</td> <td>外側</td> <td>・ 有り</td> </tr> <tr> <td>・ 160x160</td> <td>85</td> <td>・ 色調</td> <td>・ 色調</td> <td>・ 図示</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 200x200</td> <td>95</td> <td>・ 色調</td> <td>・ 15-25</td> <td>・ 15以下</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 320x320</td> <td>95</td> <td>・ 色調</td> <td>・ 15-25</td> <td>・ 10-25</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>長方形</td> <td>・ 250x125</td> <td>80</td> <td>・ 色調</td> <td>・ 6以上</td> <td>・ 無し</td> </tr> <tr> <td>・ 320x160</td> <td>95</td> <td>・ 色調</td> <td>・ 6以上</td> <td>・ 無し</td> </tr> </table> <p>曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。</p> <p>壁用金属枠及び補強材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※図示</li> </ul> <p>骨材 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※径 5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 ( )</p> <p>金属製化粧カバー</p> <p>材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示</p> <p>形状 ※図示</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</li> <li>・ 目地部の横力骨の納まり</li> <li>・ 図示</li> <li>・ ※ガラスブロック製造所の仕様による</li> </ul>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による	ステンレス製	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による	樹脂製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による	呼び寸法	厚さ	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・ 125x125	80	・ 色調	平積み	外側	・ 有り	・ 160x160	85	・ 色調	・ 色調	・ 図示	・ 無し	・ 200x200	95	・ 色調	・ 15-25	・ 15以下	・ 無し	・ 320x320	95	・ 色調	・ 15-25	・ 10-25	・ 無し	長方形	・ 250x125	80	・ 色調	・ 6以上	・ 無し	・ 320x160	95	・ 色調	・ 6以上	・ 無し	<p>19章 内装工事</p> <p>接着剤</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※規制対象外</li> </ul> <p>接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添付されていないものとする</p> <p>施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示</li> </ul> <p>ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ F S</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 2.5 ・ 2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 (19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ T T</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 300x300</td> <td>・ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ F T</td> <td>・ 柄物</td> <td>・ 450x450</td> <td>・ 2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ F O A</td> <td></td> <td>・ 500x500</td> <td>・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ F O B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ K T</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>目地処理する場合の工法 ・ 熱溶接工法 (19.2.2)</p> <p>帯電防止床シート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>性能 ( )</li> <li>厚さ ( mm )</li> </ul> <p>帯電防止床タイル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>性能 ( )</li> <li>寸法 厚さ ( × mm )</li> </ul> <p>視覚障害者用床タイル</p> <p>視覚障害者用誘導ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は JIS T 9251 による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>形状 ( )</li> </ul> <p>耐荷重性床シート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>厚さ ( mm )</li> </ul> <p>防滑性床シート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( 屋内スポーツ用シート )</li> <li>厚さ ( 6.5 mm )</li> </ul> <p>防滑性床タイル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>種類 ( )</li> <li>寸法 厚さ ( × mm )</li> </ul>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	・ F S	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.5 ・ 2.0		種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	・ T T	・ 無地	・ 300x300	・ 2.0		・ F T	・ 柄物	・ 450x450	・ 2.5		・ F O A		・ 500x500	・ 3.0		・ F O B					※ K T					<p>ビニル幅木 (19.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>塗装</th> <th>種別</th> <th>塗料の種類</th> <th>高日射反射率塗料の適用</th> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂調整ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ A種 ・ B種</td> <td>※ 1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>・ クリアラッカー塗り (CL)</td> <td>木部屋内</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>※ 1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>※ 1種 ・ 2種</td> </tr> <tr> <td>・ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗 (EP-G)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td>コンクリート面及び押出成型セメント板面</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ カレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td>コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ オイルステイン塗り (OS)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>高日射反射率塗料 (G) を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする</p> <p>フロアリング</p> <p>材質の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軟質</li> <li>・ 硬質</li> </ul> <p>高さ (mm) ・ ※60 ・ 75 ・ 100</p> <p>厚さ (mm) ・ ※1.5以上 (19.5.2~6)(表19.5.1~5)</p> <p>単層フロアリング (フロアリングボード1等)</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釘止め工法 ( ・ 根太張り ・ 直張り )</li> <li>・ 接着工法</li> </ul> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カバ ※ なら</li> </ul> <p>間伐材等の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用する</li> <li>・ 適用しない</li> </ul> <p>単層フロアリング (フロアリングブロック1等)</p> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹種</li> <li>・ 厚さ</li> <li>・ 大きさ</li> </ul> <p>間伐材等の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用する</li> <li>・ 適用しない</li> </ul> <p>複合フロアリング</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 釘止め工法 ( ・ 根太張り ・ 直張り )</li> <li>・ 接着工法</li> </ul> <p>樹種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 樹種</li> <li>・ 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種</li> </ul> <p>間伐材等の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適用する</li> <li>・ 適用しない</li> </ul> <p>フロアリング及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※規制対象外</li> </ul> <p>接着工法の場合の裏面緩衝材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※合成樹脂発泡シート</li> </ul> <p>現場塗装仕上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オイルステインの上、ワックス塗り</li> <li>・ 生地のままワックス塗り</li> <li>※ウレタン樹脂ワニス塗り (19.6.2)(表19.6.1)</li> </ul> <p>種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ D種 (畳床: ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)</li> </ul> <p>下地の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 標準仕様書 表12.6.1による床組</li> <li>・ ボリスチレンフォーム床下地 (ノンフロア)</li> </ul> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</p>	塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用	・ 合成樹脂調整ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ A種 ・ B種	※ 1種 ・ 2種	・ クリアラッカー塗り (CL)	木部屋内	※ B種 ・ A種	※ 1種 ・ 2種	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種	※ 1種 ・ 2種	・ 耐候性塗料塗り (DP)	亜鉛めっき鋼面	—	—	・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗 (EP-G)	鉄鋼面	—	—	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	コンクリート面及び押出成型セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種	—	・ カレタン樹脂ワニス塗り (UC)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	※ B種 ・ A種	—	・ オイルステイン塗り (OS)	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—	・ 木材保護塗料塗り (WP)	—	—	—
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																							
アルミニウム製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																							
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																							
ステンレス製	・ シーリング材	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																							
樹脂製	・ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	・ 図示 ・ 建具の製造所の仕様による																																																																																																																																							
呼び寸法	厚さ	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																				
・ 125x125	80	・ 色調	平積み	外側	・ 有り																																																																																																																																				
・ 160x160	85	・ 色調	・ 色調	・ 図示	・ 無し																																																																																																																																				
・ 200x200	95	・ 色調	・ 15-25	・ 15以下	・ 無し																																																																																																																																				
・ 320x320	95	・ 色調	・ 15-25	・ 10-25	・ 無し																																																																																																																																				
長方形	・ 250x125	80	・ 色調	・ 6以上	・ 無し																																																																																																																																				
・ 320x160	95	・ 色調	・ 6以上	・ 無し																																																																																																																																					
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																						
・ F S	・ 無地 ・ 柄物	・ 2.5 ・ 2.0																																																																																																																																							
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																					
・ T T	・ 無地	・ 300x300	・ 2.0																																																																																																																																						
・ F T	・ 柄物	・ 450x450	・ 2.5																																																																																																																																						
・ F O A		・ 500x500	・ 3.0																																																																																																																																						
・ F O B																																																																																																																																									
※ K T																																																																																																																																									
塗装	種別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用																																																																																																																																						
・ 合成樹脂調整ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ A種 ・ B種	※ 1種 ・ 2種																																																																																																																																						
・ クリアラッカー塗り (CL)	木部屋内	※ B種 ・ A種	※ 1種 ・ 2種																																																																																																																																						
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)	鉄鋼面	※ B種 ・ A種	※ 1種 ・ 2種																																																																																																																																						
・ 耐候性塗料塗り (DP)	亜鉛めっき鋼面	—	—																																																																																																																																						
・ つや合成樹脂エマルジョンペイント塗 (EP-G)	鉄鋼面	—	—																																																																																																																																						
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	コンクリート面及び押出成型セメント板面	・ A種 ・ B種 ・ C種	—																																																																																																																																						
・ カレタン樹脂ワニス塗り (UC)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	※ B種 ・ A種	—																																																																																																																																						
・ オイルステイン塗り (OS)	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・ A種	—																																																																																																																																						
・ 木材保護塗料塗り (WP)	—	—	—																																																																																																																																						
<p>ガラス</p> <p>18章 塗装工事</p> <p>材料</p> <p>屋内で使用使用する塗料のホルムアルデヒド放散量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※規制対象外</li> </ul> <p>防火材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。</li> <li>・ 次の箇所を除き防火材料とする。</li> <li>(箇所: )</li> </ul> <p>素地ごしらえ (18.2.2~7)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>工程の種類</th> <th>塗料の種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成型セメント板面</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地: 継目処理工法以外</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </table> <p>錆止め塗料塗り (18.3.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地面等</th> <th>工程の種類</th> <th>塗料の種類</th> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>見え隠れ部分</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見え隠れ部分</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具等</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具等以外</td> <td>・ B種 ※ A種 ・ C種 (EP-Gの場合C種)</td> </tr> </table>	下地面等	工程の種類	塗料の種類	木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種	鉄鋼面	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面		※ C種 ・ A種 ・ B種	モルタル面及びプラスター面		・ A種 ・ B種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種 ・ A種	押出成型セメント板面		・ A種 ・ B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法	※ A種 ・ B種		目地: 継目処理工法以外	※ B種 ・ A種	下地面等	工程の種類	塗料の種類	鉄鋼面	見え隠れ部分	※ A種 ・ B種		見え隠れ部分	※ B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※ A種 ・ B種		鋼製建具等以外	・ B種 ※ A種 ・ C種 (EP-Gの場合C種)	<p>令和7年8月29日</p> <p>鶴岡市建設部 建築課 設計承認済</p> <p>担当</p> <p>主査</p> <p>課長補佐</p> <p>課長</p> <p>(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事</p> <p>木造特記仕様書 (その5)</p> <p>HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社</p> <p>6</p> <p>A</p>																																																																																														
下地面等	工程の種類	塗料の種類																																																																																																																																							
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種																																																																																																																																							
鉄鋼面	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種																																																																																																																																							
亜鉛めっき鋼面		※ C種 ・ A種 ・ B種																																																																																																																																							
モルタル面及びプラスター面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																							
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※ B種 ・ A種																																																																																																																																							
押出成型セメント板面		・ A種 ・ B種																																																																																																																																							
せっこうボード面及びその他ボード面	目地: 継目処理工法	※ A種 ・ B種																																																																																																																																							
	目地: 継目処理工法以外	※ B種 ・ A種																																																																																																																																							
下地面等	工程の種類	塗料の種類																																																																																																																																							
鉄鋼面	見え隠れ部分	※ A種 ・ B種																																																																																																																																							
	見え隠れ部分	※ B種 ・ A種																																																																																																																																							
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※ A種 ・ B種																																																																																																																																							
	鋼製建具等以外	・ B種 ※ A種 ・ C種 (EP-Gの場合C種)																																																																																																																																							

○ せっこうボードその他  
ボード及び  
合板張り

(19.7.2,3)(表19.7.1)

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外

種類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等
・ 硬質木毛セメント板	GW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21
・ 普通木片セメント板	NF	・ 30
○ けい酸カルシウム板	0.8 FK 1.0 FK	タイプ2 (無石綿) ・ 6 ・ 8
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・9 (不燃) ・12 (不燃) ・ ) ・ 凹凸タイプ (・12 (不燃) ・15 (不燃) ・ )
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・ 15
・ グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・ 25 (ガラスクロス包)
○ せっこうボード	GB-R	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
○ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) ・ 化粧紙 (下地張り用) ・ 化粧紙 (トラバーチン模様)
・ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (・不燃 ・準不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・ せっこうスラブ	GB-L	3.5
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 種類 (・ 桜目 ・ 板目) 裏用下地材共
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)
・ 普通合板		表面の種類 生地、透明塗料塗し (・ ※ラワン程度) 不透明塗料塗し (・ ※しな程度) 板面の品質 ( ) 厚さ (mm) ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) ・ 防虫処理
・ 天然木化粧合板		化粧板の樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) ( ) ・ 防虫処理
・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーバレイ ・プリント ・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) ( ) ・ 防虫処理
・ メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による 厚さ (・ ※1.2 )
○ ポリエステル樹脂化粧板		
・ ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ 単板張りパーティクルボード		・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・ 化粧パーティクルボード		・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)
・ ハードボード (素地)	HB	・ 無研磨板 (・スタンダード ・テンパード) ・ 研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・ ハードボード (化粧)		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
・ インシュレーションボード	IB	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ ・ ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

せっこうボード等の下地 ※図示  
遮音シール材  
・ 適用する (・シーリング材 ・ジョイントコンパウンド)  
・ 適用しない

合板類の張り付け ※B種 ・ A種  
せっこうボードの目地工法 ・ 仕上表による (19.8.2,3)

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

○ 壁紙張り

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考 (参考価格)
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他		
壁	○	○	○	○	○	不燃 ○ 準不燃 ○	
天井	○	○	○	○	○	不燃 ○ 準不燃 ○	
	○	○	○	○	○	不燃 ○ 準不燃 ○	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種  
コンクリート面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種  
せっこうボード面の素地ごしらえ ・ A種 ※B種

20章 断熱・防露ユニット及びその他工事

○ 断熱材等材料

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、<sup>(20.1.2~4)</sup> ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外

○断熱材  
施工箇所 ※図示

分類	断熱材の種類	材料名	規格番号	厚さ又は 使用量
○フェルト状断熱材	・グラスウール		JIS A 9521	
	・ロックウール		JIS A 9504	
○ボード状断熱材	・グラスウール		JIS A 9521	
	・ロックウール		JIS A 9504	
	・ビーズ法ポリスチレンフォーム			
	○押出法ポリスチレンフォーム			
	・硬質ウレタンフォーム		JIS A 9521	
	・ポリエチレンフォーム			
	・フェノールフォーム			
	・インシュレーションファイバー			
・ばら状断熱材	・グラスウール		JIS A 9523	
	・ロックウール			
	・セルローズファイバー			
・現場発泡断熱材	・吹付硬質ウレタンフォームA種1又はA種1H (難燃性を有するもの)		JIS A 9526	

(品質・性能)

項目	品質・性能
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンカロリー試験) に適合していること。
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) から (3) までに適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m <sup>2</sup> 以下であること。 (2) 防火上有害な表面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、1.0秒以上継続して2.0KW/m <sup>2</sup> を超えないこと。

(試験方法)

(1) 原液試験 (原液粘度試験)  
JIS K 7117-1「フラスチック-液状、乳濁状又は分散状の樹脂-フラスチック フィールド」形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。

(2) 発泡品試験  
1) 試料の作成は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。  
2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作成は、JIS A 9526の6.2.3による。  
3) 試験片の状態調節及び試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。

(3) 圧縮強さの試験  
JIS A 9526の6.2.5により、測定はJIS K 7220「硬質発泡プラスチック-圧縮特性の求め方」による。

(4) 熱伝導率試験  
JIS A 9526の6.2.6により、JIS A 1412-1「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第1部:保護熱板法 (GHP法)」又はJIS A 1412-2「熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法-第2部:熱流計法 (HFM法)」によって、平均温度 (23±2)℃、高温板と低温板の温度差 (25±5)℃で熱伝導率を測定する。

(5) 接着強さ試験  
JIS A 9526の6.2.7による。

(6) 透湿率試験  
JIS A 9526の6.2.8により、測定はJIS A 1324「建築材料の透湿性測定方法」又はJIS K 7225「硬質発泡プラスチック-水蒸気透過性の求め方」による。

(7) 難燃性の表面加熱試験  
JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。

(8) 発熱性試験  
建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。

・防湿材  
種類 ・ 木造標準仕様書20.1.2(2)・(a)・(b)・(c)  
厚さ  
施工箇所 ・ 図示

・気密材  
種類 木造標準仕様書20.1.2(3)(a)から(f)まで  
厚さ ・ 図示  
施工箇所 ・ 図示

・防風材  
種類 ※JIS A 6111に基づく透湿防水シートB  
厚さ ・ 図示  
施工箇所 ・ 図示

断熱材の施工  
防湿層の施工 ・ 省略する  
・ 充填断熱工法  
・ 外張断熱工法

各部位の工法  
防蟻処理 ・ 行う  
・ 図示 ※木造標準仕様書20.1.5(7)から(9)までによる。

○ フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
	○ 置敷式 ・ 支柱調整式	○ 300×500		○ 1.0G ・ 0.6G	○ 3,000N ・ 5,000N	○ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット	

寸法精度  
※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)~(iii)による

厚さ±0.5mm  
平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下  
図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

表面仕上材の品質・性能は、標準仕様書19章による。  
構成材の材質 ・ アルミニウム製  
・ 鋼製 (仕上げ: )

スロープ及びボーダー ・ 製造所の仕様による ・ 図示  
配線用取り出しパネル  
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合  
・ 2.0~3.0%

配線取り出し開口  
・ パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上  
・ 図示

空調用吹き出し (吸い込み) パネル  
○なし ・ あり (形式、施工箇所: 図示)

(性能)

(1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下  
(2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと  
(3) ローリングロード性能 (3,000Nの場合の試験の適用は任意)  
所定荷重1,000Nによる繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下

(4) 耐震性能  
イ) 固定台試験による耐震性能

項目	性能
①ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上
②上記①以外の部分で耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上
③適用地震時水平力を加した時の支柱頂部の変位	設計床高さ ≤250mm がほぼ弾性範囲内 設計床高さ >250mm 構造床面からの高さの1/50以下

<適用地震時水平力>  
・ 3,000N 0.6Gタイプ  
支柱一本が負担する床荷重  
{(㎡当り自重+3,000N) / ㎡当りの支柱本数} × 0.6

・ 3,000N 1.0Gタイプ  
支柱一本が負担する床荷重  
{(㎡当り自重+3,000N) / ㎡当りの支柱本数} × 1.0

・ 5,000N 0.6Gタイプ  
支柱一本が負担する床荷重  
{(㎡当り自重+5,000N) / ㎡当りの支柱本数} × 0.6

・ 5,000N 1.0Gタイプ  
支柱一本が負担する床荷重  
{(㎡当り自重+5,000N) / ㎡当りの支柱本数} × 1.0

ロ) 振動台試験における耐震性能  
(設計床高さ ≤ 300mmの場合のみ)  
振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。

(5) 耐燃焼性能  
建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炎時間が0秒

(6) 帯電防止性能評価値 (U)  
0.6以上

(7) 感電防止性能  
漏えい抵抗 (R) ≥ 1 × 10<sup>6</sup> Ω

(8) 歩行感  
通常の歩行において空洞音やがたつきがなく、歩行感に違和感がない

(9) メンテナンス性  
交換が必要な部品については交換できるように設計されている。

(試験方法)

(1) 耐震性能  
1) 設計床高さ ≤ 300mmの場合  
試験体ユニット1,000mm×2,500mm程度  
所定の重りの質量 3,000N:200kg 5,000N:350kg  
加振 0.6G:所定加速度600cm/s<sup>2</sup>  
1.0G:所定加速度1,000cm/s<sup>2</sup>

2) 300mm<設計床高さ ≤ 600mmの場合

①固定台による耐震性能試験  
イ、支柱調整式-支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法-1又は、試験方法-2による。  
ロ、原則として、試験方法-1はパネル単体設置 (Aタイプ) に適用し、試験方法-2はパネル連結設置 (Bタイプ) に適用するものとする。

②試験方法-1  
イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371フレキスト無筋コンクリート 製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力までを加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。  
ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。

③試験方法-2  
イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371フレキスト無筋コンクリート 製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は支柱要素に対して最も不利な方向とする。

ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。また、800mm×800mmに荷重板3,200N (5,000N/1㎡相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。

④零点補正及び測定記録  
試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。また、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。

3) 共通事項  
試験に使用する表面仕上材  
種類: タイルカーペット  
繊維素材: ナイロン100%  
パイル形態: ループパイル  
パイル長: 3.0mm~4.0mm  
パッキン素材: 塩化ビニル樹脂  
全厚: 6.0mm~7.0mm  
単位質量: 4.0kg/㎡~6.4.0kg/㎡  
人体耐電圧: 2KV以下 (20.2.3)

令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
鶴岡市建設部 建築課 設計承認済				
(工事名)	第三学区放課後児童クラブ新築工事			
	木造特記仕様書 (その6)			
	HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社			
				7
				A

○ トイレブース (20.2.5)

表面材の材質	脚部		ドアエッジ	
	形状	材質	形状	材質
・メラミン樹脂系化粧板 ○ ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	○標準	○アルミニウム製	・ステンレス製 ・表面材と同材

(品質・性能)  
(1) パネル

項目	品質・性能
表面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。
裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
心材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。
枠材	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっきエッジ材を施した材料とする。
小口	防水処理を施す。

(2) 構造金物

項目	品質・性能
柱木	JIS A 6512「可動間仕切」の表9に対応する材質のうち、耐食性のあるものとする。
脚部(脚金、楯木)	
壁見切り金物	
頭つなぎ等	

(3) 付属金物

項目	品質・性能
ヒンジ	耐食性のあるものとする。
ラッチセット	病食の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。
戸当り	戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。

(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切」の5. b)による。  
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひっかき性・開閉耐久性

項目	品質・性能			
	耐薬品性及び耐汚染性	耐引っかき性	開閉耐久性	
メラミン樹脂系化粧板及びメラミン樹脂系単一材	JIS K 6902「熱硬化性樹脂系化粧板試験方法」15.2 B 法の表6に示された耐汚染性のうち材料番号3.6.7.8.9.10.17.の試験結果の判定は、「変化なし」であるものとする。また、材料番号1.2.4.5.11.12.13.14.15.18.は、「変化なし又は軽微な変化」であるものとする。又は、これらと同等以上の性能を有するものであるものとする。	—	JIS A 4702「ドアセット」9.4開閉繰り返し試験によるスイングドア(開閉回数10万回)を満足していること及び試験終了時点で構造金物、固定金具等に緩みがないこと。	
低圧メラミン樹脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧板MDF。ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。			
ポリエステル樹脂系加工化粧板	JAS「合板の農林規格」第8条特殊加工化粧板に示された耐汚染性B試験において、試験片の表面に色が残らないこと。	JAS「合板の農林規格」第8条特殊加工化粧板に示された耐引っかき性B試験において、きずの深さの平均値が10μm以内であること。		
ポリエステル樹脂系化粧板MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。			
ポリエステル樹脂系化粧板パーティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合していること。			

(試験方法)  
(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法 第一部：ドア用金物」に規定する試験による。  
(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。  
パネルの材料のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外

(11.2.2)(19.2.2)

施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	・塩化ビニル製	・300×300	・7.0
	・セラミックタイル	・300×300	・
	・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・
屋外	○セラミックタイル	・300×300	・
	・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	・300×300	・

ブロックパターンは JIS T 9251 による

○ 視覚障害者用床タイル

○ 階段滑り止め (20.2.6)

材種	幅 (mm)	取付け工法	端部フラットエンド
○ ステンレス製 (SUS304)	○ 約35	※ 接着工法 ※ 埋込み工法	○ あり ○ ビニル製 ○ ステンレス製

材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
○ 集材材	・クリアラッカー ○ ポリウレタン	○ 35 ○ 45		
・ビニル製ハンドレール				

(20.2.8)

種類	寸法 (mm)	色彩	形式
・黒板	※ 焼付け	※ 緑 ・黒	・平面 ・曲面
・ホワイトボード	ほうろう	白	・平面 ・曲面

取付箇所 (手洗い水飲み)  
寸法 (mm) ○ 図示  
厚さ (mm) ※ 5

(20.2.10)

区分	材質	寸法・形状 (mm)	厚さ (mm)	取付高さ (mm)	備考
・衝突防止表示 (・両面・片面)	※ ステンレス製 ・図示	・30φ	・市販品	・図示	
○ 室名札	・アクリル板	・図示	・5	・図示	
○ ピクトグラフ	・アクリル板	・図示	・5	・図示	
・とびら番号	・アクリル板	・図示	・5	・図示	
・庁舎案内板	・アクリル板	・図示	・5	・図示	
・各階案内板	・アクリル板	・図示	・5	・図示	

案内用図記号は JIS Z 8210 による  
誘導標識、非常用進入口等の表示  
※消防法に適合する市販品  
色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による

形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	寸法	取付箇所
○ 横形	○ 手動 ○ 電動	※ ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※ アルミニウム合金製	※ 25	※ 鋼製	・図示	・図示
・縦形	・手動 ・電動	※ 2本操作コード式 1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示	・図示

アルミスラット 焼付け塗装仕上げ  
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は○とする。

(20.2.12)

(20.2.13)

材種	操作方式	遮光性能	寸法 (mm)	取付箇所	備考 (参考価格)
・ポリエステル	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示	

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーン  
その他の材料は製造所の仕様による。

○ カーテン (20.2.14)

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考 (参考価格)
○ シングル ・ダブル	○ 片引き ・引分け ○ 電動 ・ひも引き ○ 手引き	○ フランスひだ ・箱ひだ ・つまみひだ ・プレーンひだ ・片ひだ		・図示	

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は○とする。  
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり  
※300mm以上

(20.2.14)  
カーテンレール

材種 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成型材  
・ステンレス製

形式 ○シングル  
○片引き  
・ダブル  
・引分け

強さによる区分  
※10-90  
※アルマイト  
※角形

ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ (mm) ・90×150 ○120×80 ○120×150  
・150×80 ・図示

材質 ○集材材 (仕上げ: )  
・アルミニウム製 押し型材 (市販品)  
表面処理 ・C-1  
・C-2 (・アンパー ・ブロンズ  
・ブラック系 ・ステンカラー)

皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.1による

鋼製 (仕上げ: )

材種	寸法	形式	外枠	内枠
○ アルミニウム製	・450×450 ・800×600	・一般形 ・屋内外用 ・気密形	・縁縁タイプ ・目地タイプ	○ 縁縁タイプ ○ 目地タイプ

(品質・性能)  
内外枠の材質 アルミニウム製  
JIS H 4100 A6063S又は同等の性能を有するもの  
表面処理 陽極酸化皮膜 JIS H 8601 (AA6) 又は同等の性能を有するもの  
(外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの)  
内枠及び外枠のコーナーピース  
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの  
外枠の取付け金物  
鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの  
内枠の仕上げ材取付金物  
アルミニウム及びアルミニウム合金押し型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの  
耐久性能 (繰り返し開閉試験)  
(1) 50回、100回、300回の内蓋の垂れ下がりが、0.5mm以内。  
(2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。  
枠の寸法許容差 ±0.5mm  
外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内

(試験方法)  
内蓋 (内枠) の繰り返し開閉試験  
(1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。  
吊り金物は、外枠を天井地下取付け用チャンネルに直接留付ける方式 (天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式) とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定用天井地下開口補強に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。  
なお、野縁の種類は、19形とし仕上材は、せっこうボード厚さ9.5mm (JIS A 6901「せっこうボード製品」のGB-Rの難燃2級又は発熱性2級以上) 二重張りとする。  
(2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。  
(3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下がり状態を測定する。

○ 床点検口

材種	寸法	形式	備考
○ アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・800×600	○ 一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ○ 鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものである

(品質・性能) 以下のもの又は同等のものとする

使用部位	材料	屋内外用	屋内用
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金 押し型材	JIS H 4100 A6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602 の B種 又は JIS H 8601 の AA15	
	ステンレス鋼製	JIS G 4305 の SUS304, SUS430J1L, SUS443J1 (表面処理) H/L 又は 2 B 仕上げ程度	JIS G 4305 の SUS430 (表面処理) H/L 又は 2 B 仕上げ程度
	鋼材	-	公共建築工事標準仕様書 表 18.3.1 及び表 18.3.2 のおし止め塗料塗りの防錆処理を行ったもの
二重蓋の中蓋	鋼鉄 その他	JIS G 5501 の F0150, F0200 強化ビニル樹脂製等	
目地材	黄銅 ステンレス	JIS H 3100 の C2600, C2720, C2801 JIS H 3250 の C3602, C3604 JIS G 4305 の SUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308 の SUS304	
底板材 コーナーピース 底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305 の SUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308 の SUS 304	JIS G 4305 の SUS430
	アルミニウム板	JIS H 4001 (A1100P H24) (表面処理) 陽極酸化塗装複合膜 JIS H 8601 (AA15) JIS H 8602 (B)	-

令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
鶴岡市建設部 建築課 設計承認済				
(工事名)	第三学区放課後児童クラブ新築工事			
	木造特記仕様書 (その7)			
	HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社			
				8 A

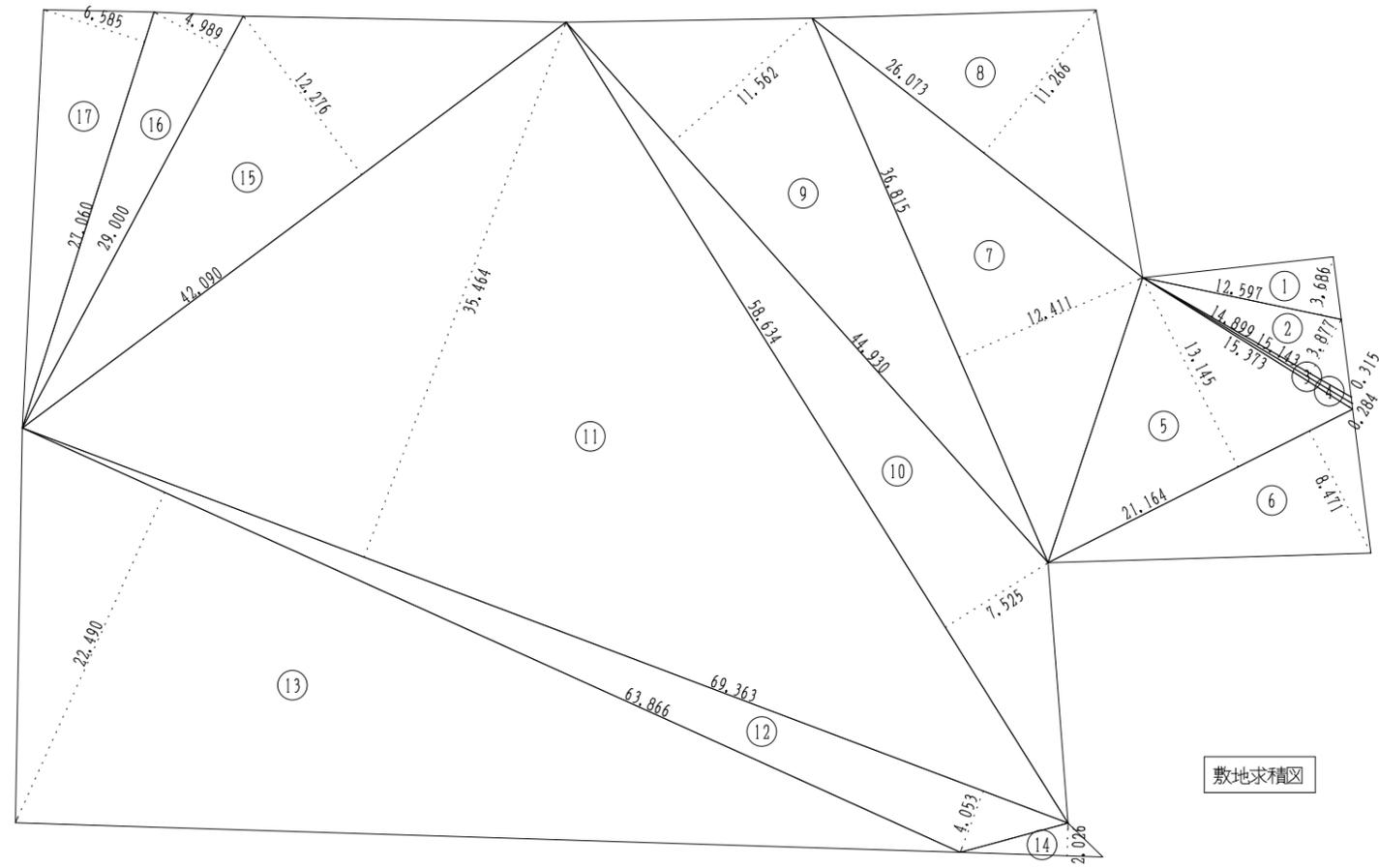
底板材 コーナーピース 底板補強材	鋼材	-	鋼板又は JIS G 3113 によ ミン樹脂付塗装若しくは、 公共建築工事標準仕様書 表 18.3.1 及び表 18.3.2 のど 止め塗料塗り等の防錆処理を 行ったもの																																																				
			パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロレン、スポン ジラバー、エチレンプロピレン等 枠の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの																																																			
アンカー材 取手	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出材形・合金鋼鉄製、 ステンレス鋼製品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出材などで被覆した、合 成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものと する																																																						
錠	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする																																																						
蓋の耐荷重性能	蓋中央部に荷重 Pn=1,000N において残留たわみが点検口 の有孔径の 0.08%以内 であること 受け枠・蓋その他に使用上支障がないこと 破壊荷重は、荷重値の Pn の2倍以上であること																																																						
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内																																																							
(試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm 以下とする。 試験は、蓋枠の四周を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加 圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した 後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受 け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法(mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">○流し台</td> <td>1200</td> <td>550</td> <td>800</td> <td rowspan="3">市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>1500</td> <td>600</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>1800</td> <td>650</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">○コンロ台 ○IH ヒーター</td> <td>600</td> <td>550</td> <td>620</td> <td rowspan="3">市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600</td> <td>670</td> </tr> <tr> <td></td> <td>650</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○つり戸棚</td> <td>1200</td> <td>450</td> <td>500</td> <td rowspan="2">市販品</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td></td> <td>700</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○水切り</td> <td>1200</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="2">市販品 ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>900</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>600</td> <td></td> <td></td> <td>○1段式</td> </tr> </tbody> </table>					材種	寸法(mm)			備考	W	D	H	○流し台	1200	550	800	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	1500	600	850	1800	650		○コンロ台 ○IH ヒーター	600	550	620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製		600	670		650		○つり戸棚	1200	450	500	市販品	900		700	○水切り	1200	-	-	市販品 ステンレス製	900				600			○1段式
材種	寸法(mm)			備考																																																			
	W	D	H																																																				
○流し台	1200	550	800	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																																																			
	1500	600	850																																																				
	1800	650																																																					
○コンロ台 ○IH ヒーター	600	550	620	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																																																			
		600	670																																																				
		650																																																					
○つり戸棚	1200	450	500	市販品																																																			
	900		700																																																				
○水切り	1200	-	-	市販品 ステンレス製																																																			
	900																																																						
	600			○1段式																																																			
品質・性能 JIS A 4420による 形状 ※図示																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上下式鎖内蓋式</td> <td>○標神品</td> <td>ステンレス製</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>○差し込み式</td> <td>スプリング式</td> <td>鋼製</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)	上下式鎖内蓋式	○標神品	ステンレス製	60	○差し込み式	スプリング式	鋼製																																								
形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(m)																																																				
上下式鎖内蓋式	○標神品	ステンレス製	60																																																				
○差し込み式	スプリング式	鋼製																																																					
フェンスの種類 ○ビニル被覆エキスパンドフェンス 樹脂塗装メッシュフェンス 鋼管フェンス アルミフェンス																																																							
高さ ○図示																																																							
窯業系 サイディング																																																							
サイディング材 (20.3.2)																																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>動き長さ 幅き幅</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面 仕上げ</th> <th>耐凍害 性能</th> <th>防火 耐火性能</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					種類	形状	動き長さ 幅き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火 耐火性能	備考 (参考価格)																																											
種類	形状	動き長さ 幅き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火 耐火性能	備考 (参考価格)																																																
張り方 ・縦張り ・横張り 換気口部の防水処理 ・図示 ※木造標準仕様書20.3.2(3)(ウ)(c)①から④までによる 現場塗装用サイディングの地下処理及び仕上げ 通気胴縁 樹種 ・※杉 通気胴縁の防錆処理方法 ( )																																																							

○ 複合金属 サイディング	サイディング材 (20.3.3)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>有効幅 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面材 しん材の種類</th> <th>防火 耐火性能</th> <th>備考 (参考価格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○鋼板</td> <td>縦葺き</td> <td>300</td> <td>4000</td> <td>0.4</td> <td></td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防火 耐火性能	備考 (参考価格)	○鋼板	縦葺き	300	4000	0.4		不燃		
種類	形状	有効幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	表面材 しん材の種類	防火 耐火性能	備考 (参考価格)															
○鋼板	縦葺き	300	4000	0.4		不燃																
A L Cパネル(薄 形パネル)工事	薄形パネル (20.4.2,3)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>パネルの区分</th> <th>形状</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>幅(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般パネル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コーナーパネル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					パネルの区分	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	一般パネル					コーナーパネル						
パネルの区分	形状	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)																		
一般パネル																						
コーナーパネル																						
○ 街きよ、縁石 及び側溝	街きよ、縁石、側溝 (21.3.1,2)(表21.3.1)																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○縁石</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>○U形側溝</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>○U形側溝ふた</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table>					種類	形状、寸法	○縁石	・図示	・L形側溝	・図示	○U形側溝	・図示	○U形側溝ふた	・図示		・図示					
種類	形状、寸法																					
○縁石	・図示																					
・L形側溝	・図示																					
○U形側溝	・図示																					
○U形側溝ふた	・図示																					
	・図示																					
○ 埋戻し土	埋戻し土 (21.2.1)																					
	○山砂 ※B種																					
22章 舗装工事	○ 路床																					
	路床の材料 (22.2.2,3,5)(表22.2.1)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○ 盛土</td> <td>○ A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td>建設汚泥から再生した処理土</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシャーラン</td> <td>クラッシャーラン</td> </tr> <tr> <td>切込み砂利</td> <td>砂</td> </tr> <tr> <td>○ 凍上抑制層</td> <td>再生クラッシャーラン</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>○ フィルター層</td> <td>砂</td> <td>図示</td> </tr> </tbody> </table>					種別	材料	厚さ(mm)	○ 盛土	○ A種	B種	D種	建設汚泥から再生した処理土	再生クラッシャーラン	クラッシャーラン	切込み砂利	砂	○ 凍上抑制層	再生クラッシャーラン	図示	○ フィルター層	砂	図示
種別	材料	厚さ(mm)																				
○ 盛土	○ A種	B種																				
	D種	建設汚泥から再生した処理土																				
	再生クラッシャーラン	クラッシャーラン																				
	切込み砂利	砂																				
○ 凍上抑制層	再生クラッシャーラン	図示																				
○ フィルター層	砂	図示																				
<p>路床安定処理 安定処理の方法 ・置き換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種</p>																						
<p>種類 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 ・ kg/? (目標CBR ・3以上 ) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60 g / m<sup>2</sup> 以上 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 9.8 N / 5cm (10 kgf / 5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10<sup>-4</sup> cm/sec 以上</p>																						
<p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 路床締固め度試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない (22.3.2,3,5)(表22.3.1)</p>																						
路盤の厚さ ・図示																						
路盤材料																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">砕石</td> <td>○クラッシャーラン</td> </tr> <tr> <td>・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再生材</td> <td>○クラッシャーラン</td> </tr> <tr> <td>○粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・クラッシャーラン鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> </tr> </tbody> </table>					種類		砕石	○クラッシャーラン	・粒度調整砕石	再生材	○クラッシャーラン	○粒度調整砕石	・クラッシャーラン鉄鋼スラグ		・粒度調整鉄鋼スラグ		・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ					
種類																						
砕石	○クラッシャーラン																					
	・粒度調整砕石																					
再生材	○クラッシャーラン																					
	○粒度調整砕石																					
・クラッシャーラン鉄鋼スラグ																						
・粒度調整鉄鋼スラグ																						
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																						

○ アスファルト 舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ (22.4.2~6)(表22.4.4) ※図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト ( ・60~80 ・80~100 ) ・ストリートアスファルト 骨材 ○道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材																																			
	加熱アスファルト混合物等の種類 ○密粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・密粒度アスファルト混合物 (13F)																																			
○ カラー舗装	シールコートの乳剤の種類 試験 ・PK-1 ・PK-2 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない																																			
	舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.6.2~4)																																			
○ ブロック系 舗装	○加熱系カラー舗装 (22.8.2,3) 構成・厚さ ○図示 加熱系混合物の結合材 ○アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物 顔料の添加量 ( % ) 着色骨材 ( ) 自然石 ( ) ・常温系カラー舗装 工法 ・ニート工法 ・塗布工法 着色部の下部 ・アスファルト舗装 ・コンクリート舗装																																			
	○コンクリート平板舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通平板(N)</td> <td>300角</td> <td></td> <td>モルタル</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>透水平板(P)</td> <td></td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し</td> </tr> <tr> <td>保水性平板(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考	普通平板(N)	300角		モルタル	表面加工	透水平板(P)		※60	※砂	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し	保水性平板(M)															
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考																																
普通平板(N)	300角		モルタル	表面加工																																
透水平板(P)		※60	※砂	・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し																																
保水性平板(M)																																				
○ 流し台 ユニット	クッション材 ・空練りモルタル ※砂 普通平板は (再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水平 平板は (透水性コンクリート) とする。 仕上がり面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平 板間の段差は3mm以内とする。																																			
	○インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状 寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">透水性ブロック(P)</td> <td rowspan="2">車路</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2">※80</td> <td rowspan="2">※5.0</td> <td rowspan="2">表面加工</td> </tr> <tr> <td>保水性ブロック(M)</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td rowspan="2">歩行者用 通路</td> <td rowspan="2">図示</td> <td rowspan="2">※60</td> <td rowspan="2">※3.0</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>透水性ブロック(P)</td> </tr> <tr> <td>保水性ブロック(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					種類	部位	形状 寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	備考	透水性ブロック(P)	車路	図示	※80	※5.0	表面加工	保水性ブロック(M)	※普通ブロック(N)	歩行者用 通路	図示	※60	※3.0		透水性ブロック(P)	保水性ブロック(M)						※普通ブロック(N)				
種類	部位	形状 寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> )	備考																															
透水性ブロック(P)	車路	図示	※80	※5.0	表面加工																															
						保水性ブロック(M)																														
※普通ブロック(N)	歩行者用 通路	図示	※60	※3.0																																
透水性ブロック(P)																																				
保水性ブロック(M)																																				
※普通ブロック(N)																																				
○ 車止めさく	クッション材 ・空練りモルタル ※砂 歩行者用通路に使用する普通ブロックは (再生材料を用いた 舗装用ブロック)、透水性ブロックは (透水性コンクリ ート) とする。 仕上がり面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキ ングブロック間の段差は3mm以内とする。																																			
	砂利敷き (22.9.2) 種別 ・A種(施工範囲: ・図示 ・通路 ) ・B種(施工範囲: ・図示 ・建物周囲その他 )																																			
○ フェンス	土壤の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない 電気伝導度 (EC) の試験 ・行う ・行わない																																			
	植栽地盤の 整備 (23.2.2,4)																																			
○ 窯業系 サイディング	樹木の植栽地盤の整備 ・適用する ・適用しない																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ 樹木</td> <td rowspan="4"></td> <td>樹高12m以上</td> <td rowspan="4">・ 養液り部分 ・ 植栽部分</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>( ・ ※100 )</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>樹高 7m以上~12m未満</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>( ・ ※80 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ 芝、地被類</td> <td rowspan="3"></td> <td>樹高 3m以上7m未満</td> <td rowspan="3">・ 植栽部分 ・ 図示</td> <td>・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>( ・ ※60 )</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>樹高 3m未満</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>( ・ ※50 )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	・ 樹木		樹高12m以上	・ 養液り部分 ・ 植栽部分	・ 適用する	( ・ ※100 )	・ 適用しない	樹高 7m以上~12m未満	・ 図示	( ・ ※80 )		・ 芝、地被類		樹高 3m以上7m未満	・ 植栽部分 ・ 図示	・ 適用する	( ・ ※60 )	・ 適用しない	樹高 3m未満	・ 図示			( ・ ※50 )			
植栽	工法	有効土層の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																
・ 樹木		樹高12m以上	・ 養液り部分 ・ 植栽部分	・ 適用する																																
		( ・ ※100 )		・ 適用しない																																
		樹高 7m以上~12m未満		・ 図示																																
		( ・ ※80 )																																		
・ 芝、地被類		樹高 3m以上7m未満	・ 植栽部分 ・ 図示	・ 適用する																																
		( ・ ※60 )		・ 適用しない																																
		樹高 3m未満		・ 図示																																
		( ・ ※50 )																																		
植栽地盤の排水設備 ・設ける ( ・ ※図示 ) ・ 設けない																																				

○ 植込み用土	・ 現場発生土の良質土 ・ 客土 (23.2.3)														
	○ 土壌改良材 (23.2.3)														
○ 樹木	土壌改良材の適用 ・適用する ・適用しない														
	種別及び指定量等 ・パーク堆肥 施工箇所 ・図示 ※植栽範囲 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり ( ・50L ) ・汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 図示 施工箇所 ・図示 ※植栽範囲 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり ( ・10L ) 材料 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」 の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植 害試験の調査の結果、害が認められないものとする														
○ 支柱	○ 園庭：ソイレックス路盤 (23.3.2)														
	樹種、寸法、株立数等 ・ ※図示 (23.3.2)														
○ 幹巻き用材料	支柱材 ・ 真竹 ※丸太(間伐材) 図示 (23.3.2,3)														
	防汚処理方法 ・ 図示 ※加圧式防汚処理丸太材 形式 ・ 図示 (23.3.2)														
○ 芝	材料 ・ わら及びこも ※幹巻き用テープ (23.4.2,3)														
	種類 ・ ノシバ ※コウライシバ (23.4.2,3)														
○ 吹付けは種	芝張りの工法 平地 ・ べた張り ※目地張り 法面 ・ 目地張り ※べた張り														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子量(g/m<sup>2</sup>)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">※ 洋芝種(採取後2年以内) ※ 発芽率80%以上</td> </tr> </tbody> </table>				種子の種類	発芽率	種子量(g/m <sup>2</sup> )	備考					※ 洋芝種(採取後2年以内) ※ 発芽率80%以上		
種子の種類	発芽率	種子量(g/m <sup>2</sup> )	備考												
※ 洋芝種(採取後2年以内) ※ 発芽率80%以上															
○ 地被類	新植、 芝等の枯保証、 移植樹木の 枯損処置 (23.3.4,6)(23.4.7)														
	新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯損償 の期間 ・ ※引渡しの日から1年 移植樹木の枯損処置を行う期間 ・ ※引渡しの日から1年 (23.4.2)														
令和7年8月29日															
担当 主査 課長補佐 課長															
鶴岡市建設部 建築課 設計承認済															
(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事				9											
木造特記仕様書(その8)				A											
HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社															

<p>① 官公署その他への届出手続等</p> <p>概成工期 (1.2.1)</p> <p>電気保安技術者 (1.3.3)</p> <p>施工条件</p> <p>工事の一時中止</p> <p>発生材の処理等 (1.3.11)</p>	<p>(1.1.3) [1.1.3] 受注者は完了検査(中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意すること。</p> <p>工事期限より 日前</p> <p>※適用する ・適用しない</p> <p>※次の事項以外は工事補足説明事項による。          工所用車両の駐車場          ※構内          資機材置場          ※構内          建設発生土の仮置場(埋戻し及び盛土用)          ※構内          基本計画書の作成          1) 契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。          なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。          2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。</p> <p>・現場において再利用をするもの( )          ・発注者に引渡しを要するもの(・金属類 ・PCB含有物 )          ・特別管理産業廃棄物(・廃石綿 ・PCB含有物 )          ・特定建設資材の分別解体等及び再資源化等          本工事は、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令又は都道府県が条例例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。          工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。          また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。</p> <p>分別解体等の方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th rowspan="2">作業内容</th> <th colspan="2">分別解体等の方法</th> </tr> <tr> <th>手作業</th> <th>手作業、機械作業併用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・解体工事</td> <td>・造成等の工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・基礎の工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・増築工事</td> <td>・基礎ぐいの工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・上部構造部分の工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">・工作物</td> <td>・外装の工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・屋根の工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・建築設備工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・内装等の工事</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・その他( )</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・特定建設資材廃棄物の発生材の処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>特定建設資材廃棄物の種類</th> <th>再資源化等をする施設の名称・住所 ( km )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び鉄から成る建設資材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アスファルト</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・特定建設資材廃棄物以外の発生材の処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>再資源化</th> <th>処理施設の名称・住所 ( km )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>※する ・しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別解体等の方法		手作業	手作業、機械作業併用	・解体工事	・造成等の工事	・	・	・基礎の工事	・	・	・増築工事	・基礎ぐいの工事	・	・	・上部構造部分の工事	・	・	・工作物	・外装の工事	・	・	・屋根の工事	・	・	・建築設備工事	・	・	・内装等の工事	・	・	・その他( )	・	・	・	・	・	特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称・住所 ( km )	・コンクリート		・コンクリート及び鉄から成る建設資材		・木材		・アスファルト		・コンクリート		種類	再資源化	処理施設の名称・住所 ( km )		※する ・しない		<p>① 技能士</p> <p>下表の技能検定の職種及び作業の種別を適用する。(1.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>圧送施工</td> <td>コンクリート圧送工作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>鉄工</td> <td>構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック建築</td> <td>ブロック建築</td> <td>コンクリートブロック工作業</td> </tr> <tr> <td>エーエルシーパネル工事</td> <td>エーエルシーパネル工事</td> <td>エーエルシーパネル工作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水施工</td> <td>アスファルト防水工作業 ウレタンゴム系塗膜防水工作業 アクリルゴム系塗膜防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 セメント系シート防水工作業 シーリング防水工作業 改質アスファルトシート トーチ工防水工作業 FRP防水工作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>大工工作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びといた工事</td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スレート施工</td> <td>スレート工作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>鋼製下地工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自動ドア施工</td> <td>自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>金属製カーテンウォール工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サッシ施工</td> <td>ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>ガラス工作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>プラスチック系床仕上工作業 カーペット系床仕上工作業 ボード仕上工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面表示施工</td> <td>溶融ペイントハンドマーカ工作業 加熱ペイントマシンマーカ工作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>造園工作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 室内空気中の化学物質の濃度測定 (1.5.9)</p> <p>施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの室内濃度を測定し、報告すること。</p> <p>測定対象室及び測定箇所数 (採取サンプルは、アルデヒド用1個、VOC用1個の計2個で1箇所とする。)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>階</th> <th>室名</th> <th>箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1・2F</td> <td>保育室</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1・2F</td> <td>多目的ホール</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>職員室</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>会議室</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計( 8 )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>① 完成時の提出図書 (1.7.1~3) [1.8.1~3]</p> <p>工事完成時に下記の図書を監督職員に提出する。なお、当該建築物の取得する施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は発注者に移譲する。</p> <p>完成図等</p> <p>・完成図 表1.7.1のうち施工図及び施工計画書を除くもの    作成方法 ※CADで新規作成する    ・既存CADデータの修正    提出物 CADデータ一式 2部    原図 A2 1部    (2つ折りケース収納)    陽画複写 A1 1部    (2つ折り製本)</p> <p>・施工図 表1.7.1のうち施工図    提出物 CADデータ一式 2部    原図 A2 1部    (2つ折りケース収納)    (製本図書で原図として提出できないものは、原図にかわるもの)    陽画複写 A2 1部    (2つ折り製本)</p>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	型枠工事作業		圧送施工	コンクリート圧送工作業	鉄骨工事	鉄工	構造物鉄工作業		とび	とび作業	ブロック建築	ブロック建築	コンクリートブロック工作業	エーエルシーパネル工事	エーエルシーパネル工事	エーエルシーパネル工作業	防水工事	防水施工	アスファルト防水工作業 ウレタンゴム系塗膜防水工作業 アクリルゴム系塗膜防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 セメント系シート防水工作業 シーリング防水工作業 改質アスファルトシート トーチ工防水工作業 FRP防水工作業	石工事	石材施工	石張り作業	タイル工事	タイル張り	タイル張り作業	木工事	建築大工	大工工作業	屋根及びといた工事	建築板金	内外装板金作業		スレート施工	スレート工作業	金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工作業		建築板金	内外装板金作業	左官工事	左官	左官作業	建具工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	ガラス工作業		自動ドア施工	自動ドア施工作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	金属製カーテンウォール工作業		サッシ施工	ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	ガラス工作業	塗装工事	塗装	建築塗装作業	内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工作業 カーペット系床仕上工作業 ボード仕上工作業		表装	壁装作業	排水工事	配管	建築配管作業	舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカ工作業 加熱ペイントマシンマーカ工作業	植栽工事	造園	造園工作業	階	室名	箇所数	備考	1・2F	保育室	4		1・2F	多目的ホール	2		1F	職員室	1		2F	会議室	1				計( 8 )		<p>① 施工計画書 表1.7.1のうち施工計画書    提出物 A4 1部 (ファイルとじ)</p> <p>・国有財産台帳付属図面    図面 案内図、配置図(外構図)、求積図、平面図、屋根伏図、仕上表    作成方法 ※CADで新規作成する    ・既存CADデータの修正    ・既存完成図の修正(下記のCADデータの提出は不要)    提出物 原図 A3 1部    (作成については監督員の指示による)    CADデータ一式 2部</p> <p>① 保安に関する資料</p> <p>① 「管理者のための建築物保安の手引き」(建設大臣官房官庁営繕部監修) 1冊</p> <p>① 建築物等の利用に 関する説明書 : 「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」に基づき作成する。    提出物 A4判ファイル綴込み 2部 (関連工事と合本する。)</p> <p>① 保安に関する資料 : 機器取扱説明書、機器製作図、機器性能試験成績書、官公署届出書類、主要材料・機器一覧表等    提出物 A4判ファイル綴込み 1部</p> <p>① 機器取扱説明書 : 宿舍等で共用部分を除く部分に設置した機器の取扱説明書をまとめる。    提出物 A4判ファイル綴込み 1部</p> <p>① 次のものを監督職員に提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格</th> <th>撮影箇所数</th> <th>提出部数</th> <th>原板の大きさ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">① アルバム(カラー・キャビネ判) (ビニルレザー張り)に金文字入れ (表紙、台紙共 295×305)</td> <td>外部( )</td> <td rowspan="2">※2・4</td> <td rowspan="2">※100×125以上 ・24×36以上</td> </tr> <tr> <td>内部( )</td> </tr> <tr> <td>① 全紙パネル (木製枠パネル 530×420)</td> <td>外部( )</td> <td>※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>① 広報用(カラー、キャビネ判)</td> <td>外部(1)</td> <td>※5</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">① 電子データ</td> <td>外部( )</td> <td rowspan="2">※2</td> <td rowspan="2">※200万画素以上 ・300dpi以上</td> </tr> <tr> <td>内部( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>撮影業者は建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者とする。    電子データは、RGB(フルカラー)、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。</p> <p>① 設備工事との取合い</p> <p>施工範囲 工事区分表による    施工図 設備機器の位置、取り合いなどを検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>① 設計GL</p> <p>※図示 ・現状平均地盤</p> <p>・契約後VE</p> <p>・本工事は契約後VE方式対象工事とする。    受注者がVE提案を行う対象は、〇〇工のうち〇〇に関する施工(または材料)とする。</p> <p>① 電子納品</p> <p>・本工事は電子納品対象工事とし、対象書類は工事完成図(及び工事写真)とする。    なお、提出する書類等は山形県電子納品取扱要領に基づき提出しなければならない。</p>	分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)	① アルバム(カラー・キャビネ判) (ビニルレザー張り)に金文字入れ (表紙、台紙共 295×305)	外部( )	※2・4	※100×125以上 ・24×36以上	内部( )	① 全紙パネル (木製枠パネル 530×420)	外部( )	※2		① 広報用(カラー、キャビネ判)	外部(1)	※5		① 電子データ	外部( )	※2	※200万画素以上 ・300dpi以上	内部( )	<p>① 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>・構内指定の場所に敷き均し    ・構内指定の場所にたい積    ① 構外指定の場所に搬出    (提出調書等を監督職員に提出する。)    受入場所 :    搬出距離 : km (DID地区 ・有 ・無 )    受入条件 :</p>									
	工程			作業内容	分別解体等の方法																																																																																																																																																																																																									
手作業		手作業、機械作業併用																																																																																																																																																																																																												
・解体工事	・造成等の工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・基礎の工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
・増築工事	・基礎ぐいの工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・上部構造部分の工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
・工作物	・外装の工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・屋根の工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・建築設備工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・内装等の工事	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・その他( )	・	・																																																																																																																																																																																																											
	・	・	・																																																																																																																																																																																																											
特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称・住所 ( km )																																																																																																																																																																																																													
・コンクリート																																																																																																																																																																																																														
・コンクリート及び鉄から成る建設資材																																																																																																																																																																																																														
・木材																																																																																																																																																																																																														
・アスファルト																																																																																																																																																																																																														
・コンクリート																																																																																																																																																																																																														
種類	再資源化	処理施設の名称・住所 ( km )																																																																																																																																																																																																												
	※する ・しない																																																																																																																																																																																																													
	※する ・しない																																																																																																																																																																																																													
	※する ・しない																																																																																																																																																																																																													
	※する ・しない																																																																																																																																																																																																													
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																																																																																																												
仮設工事	とび	とび作業																																																																																																																																																																																																												
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業																																																																																																																																																																																																												
コンクリート工事	型枠施工	型枠工事作業																																																																																																																																																																																																												
	圧送施工	コンクリート圧送工作業																																																																																																																																																																																																												
鉄骨工事	鉄工	構造物鉄工作業																																																																																																																																																																																																												
	とび	とび作業																																																																																																																																																																																																												
ブロック建築	ブロック建築	コンクリートブロック工作業																																																																																																																																																																																																												
エーエルシーパネル工事	エーエルシーパネル工事	エーエルシーパネル工作業																																																																																																																																																																																																												
防水工事	防水施工	アスファルト防水工作業 ウレタンゴム系塗膜防水工作業 アクリルゴム系塗膜防水工作業 合成ゴム系シート防水工作業 塩化ビニル系シート防水工作業 セメント系シート防水工作業 シーリング防水工作業 改質アスファルトシート トーチ工防水工作業 FRP防水工作業																																																																																																																																																																																																												
石工事	石材施工	石張り作業																																																																																																																																																																																																												
タイル工事	タイル張り	タイル張り作業																																																																																																																																																																																																												
木工事	建築大工	大工工作業																																																																																																																																																																																																												
屋根及びといた工事	建築板金	内外装板金作業																																																																																																																																																																																																												
	スレート施工	スレート工作業																																																																																																																																																																																																												
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工作業																																																																																																																																																																																																												
	建築板金	内外装板金作業																																																																																																																																																																																																												
左官工事	左官	左官作業																																																																																																																																																																																																												
建具工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																																																																												
	ガラス施工	ガラス工作業																																																																																																																																																																																																												
	自動ドア施工	自動ドア施工作業																																																																																																																																																																																																												
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	金属製カーテンウォール工作業																																																																																																																																																																																																												
	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																																																																												
	ガラス施工	ガラス工作業																																																																																																																																																																																																												
塗装工事	塗装	建築塗装作業																																																																																																																																																																																																												
内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工作業 カーペット系床仕上工作業 ボード仕上工作業																																																																																																																																																																																																												
	表装	壁装作業																																																																																																																																																																																																												
排水工事	配管	建築配管作業																																																																																																																																																																																																												
舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカ工作業 加熱ペイントマシンマーカ工作業																																																																																																																																																																																																												
植栽工事	造園	造園工作業																																																																																																																																																																																																												
階	室名	箇所数	備考																																																																																																																																																																																																											
1・2F	保育室	4																																																																																																																																																																																																												
1・2F	多目的ホール	2																																																																																																																																																																																																												
1F	職員室	1																																																																																																																																																																																																												
2F	会議室	1																																																																																																																																																																																																												
		計( 8 )																																																																																																																																																																																																												
分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)																																																																																																																																																																																																											
① アルバム(カラー・キャビネ判) (ビニルレザー張り)に金文字入れ (表紙、台紙共 295×305)	外部( )	※2・4	※100×125以上 ・24×36以上																																																																																																																																																																																																											
	内部( )																																																																																																																																																																																																													
① 全紙パネル (木製枠パネル 530×420)	外部( )	※2																																																																																																																																																																																																												
① 広報用(カラー、キャビネ判)	外部(1)	※5																																																																																																																																																																																																												
① 電子データ	外部( )	※2	※200万画素以上 ・300dpi以上																																																																																																																																																																																																											
	内部( )																																																																																																																																																																																																													
<p>① 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>・構内指定の場所に敷き均し    ・構内指定の場所にたい積    ① 構外指定の場所に搬出    (提出調書等を監督職員に提出する。)    受入場所 :    搬出距離 : km (DID地区 ・有 ・無 )    受入条件 :</p>	<p>令和7年8月29日</p> <p>担当</p> <p>主査</p> <p>課長補佐</p> <p>課長</p> <p>鶴岡市建設部          建築課          設計承認済</p> <p>(工事名) 第三学区放課後児童クラブ新築工事</p> <p>木造特記仕様書(その9)</p> <p>HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社</p>	<p>10</p> <p>A</p>																																																																																																																																																																																																												



敷地求積図

申請区分	計算式	面積
①	申請部分 30.030x14.850	445.945500
②	申請部分 8.190x8.935	73.177650
③	申請部分 3.020x4.095	12.366900
計 (m <sup>2</sup> )		
(申請部分)		531.49
(申請以外)		0.00
合計		531.49

丸め 切り捨て

棟番号	申請区分	計算式	面積
①	1	申請部分 30.030x14.850	445.945500
②	1	申請部分 1.466x1.820	-2.668120
③	1	申請部分 8.190x8.935	73.177650
④	1	申請部分 1.200x4.095	4.914000
棟番号		申請部分 (m <sup>2</sup> )	計 (m <sup>2</sup> )
1		0.00521.36	521.36
合計			521.36

棟番号	申請区分	計算式	面積
⑤	1	申請部分 30.030x13.650	409.909500
⑥	1	申請部分 8.190x7.735	63.349650
棟番号		申請部分 (m <sup>2</sup> )	計 (m <sup>2</sup> )
1		0.00473.25	473.25
合計			473.25
		申請部分 (m <sup>2</sup> )	計 (m <sup>2</sup> )
合計 (1階+2階)			994.61

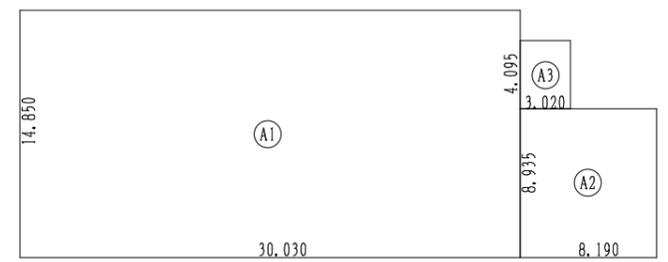
丸め 切り捨て

室名	底辺(m)	高さ(m)	面積(m <sup>2</sup> )
保育室1~4	12.000	5.915	70.9800
図書コーナー	2.560	2.275	5.8240
入口	1.820	1.820	3.3124
計			83.4288
キッチン	4.550	1.820	8.2810
倉庫	6.370	1.820	11.5934
WC	2.560	3.640	9.3184
クールダウン室 兼楽器演奏室1・2	1.470	3.865	5.68155
相談室1・2	2.730	3.865	10.55145
職員休憩室兼更衣室	3.640	3.865	14.0686
多目的ホール1・2	10.010	5.915	59.20915
廊下1F・2F	7.840	2.050	16.0720
ホール1F・2F	9.100	4.095	37.2645
風除室	1.200	4.095	4.9140
静養室兼相談室	1.820	4.095	7.4529
2F図書コーナー	2.730	1.820	4.9686
階段室1	9.100	1.820	16.5620
階段室2	3.080	5.915	18.2182
	1.630	1.820	2.9666
1階床面積 (m <sup>2</sup> )			521.36 m2
2階床面積 (m <sup>2</sup> )			473.25 m2
合計 (m <sup>2</sup> )			994.61 m2

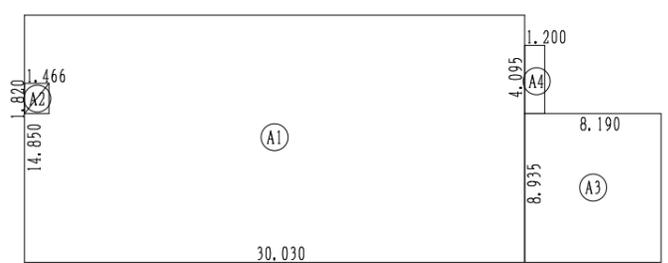
	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m <sup>2</sup> )
①	12.597	3.686	46.432542
②	14.899	3.877	57.763423
③	15.143	0.315	4.770045
④	15.373	0.284	4.365932
⑤	21.164	13.145	278.200780
⑥	21.164	8.471	179.280244
⑦	36.815	12.411	456.910965
⑧	26.073	11.266	293.738418
⑨	44.930	11.562	519.480660
⑩	58.634	7.525	441.220850
⑪	69.363	35.464	2459.889432
⑫	69.363	4.053	281.128239
⑬	63.866	22.490	1436.346340
⑭	8.849	2.026	17.928074
⑮	42.090	12.276	516.696840
⑯	29.000	4.989	144.681000
⑰	27.060	6.585	178.190100
倍面積	計		7317.023884
敷地面積 (m <sup>2</sup> )			3658.51

丸め 切り捨て

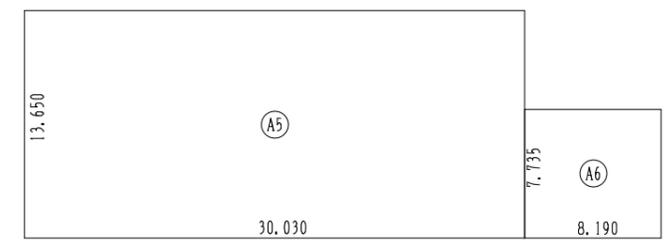
建築面積

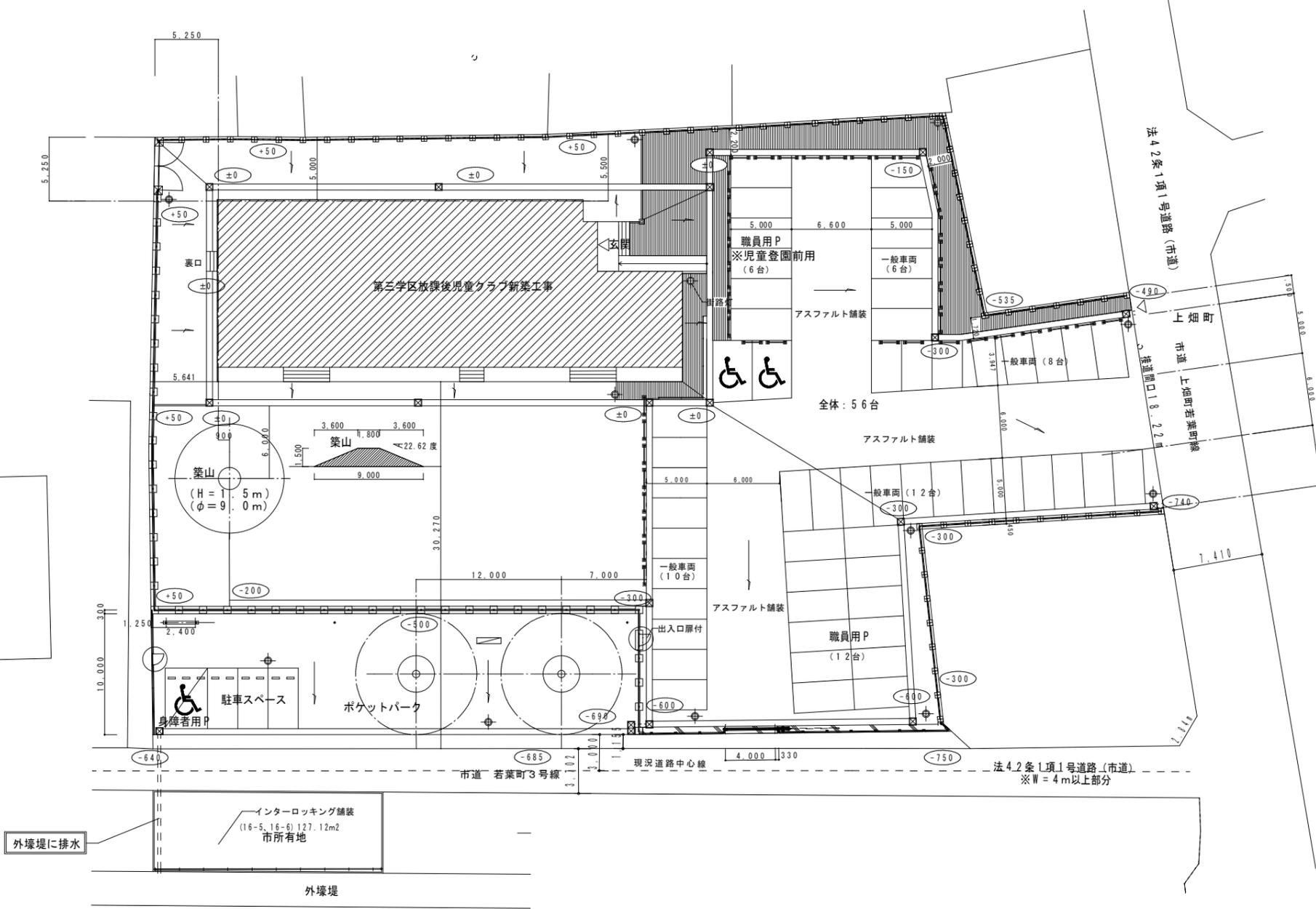


1階求積図

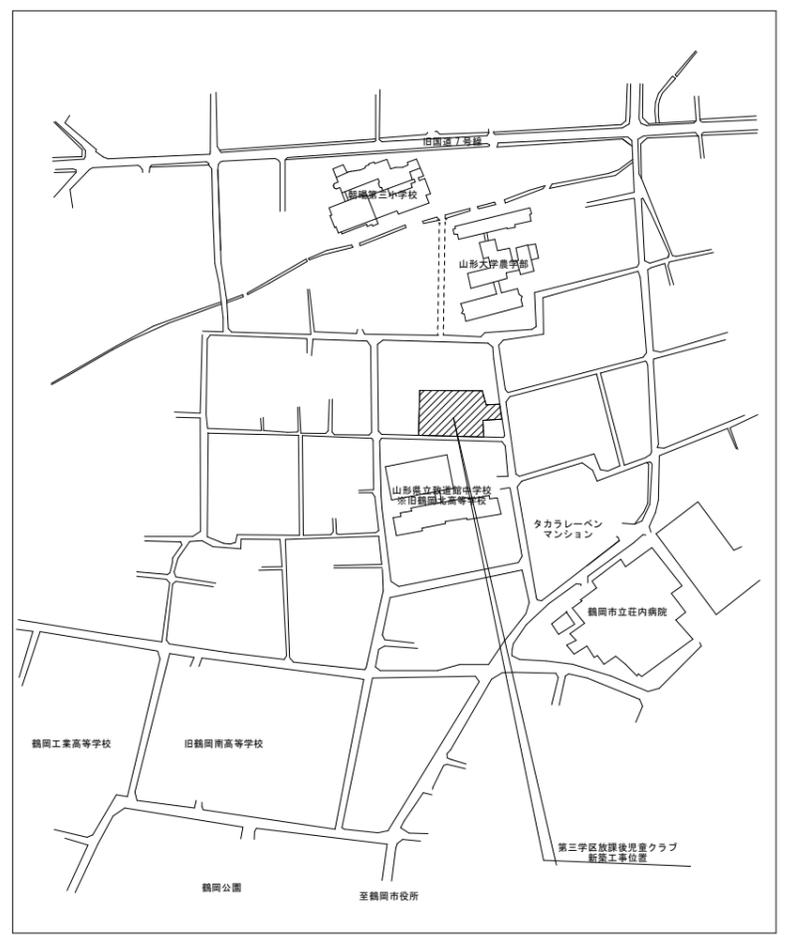


2階求積図





安倍家



案内図



配置図 S=1/300

訂正	令和7年8月18日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	配置図・案内図	図面番号	A-12
縮尺	1/300	区分	

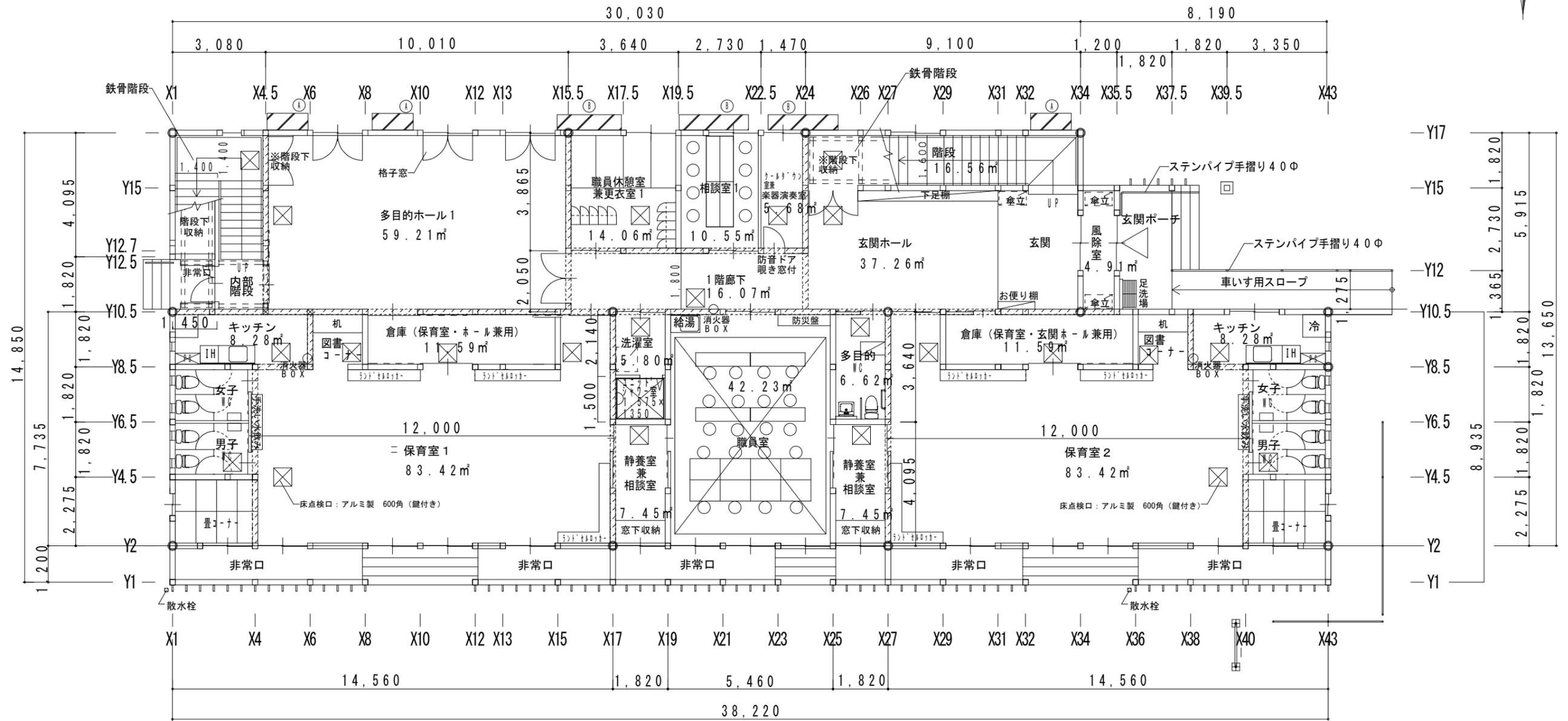
外部仕上表											
仕様書			特記事項								
屋根 (屋根勾配=10:2)	屋根	ガルバリウム鋼板段葺 t 0.4 (断熱材一体型) 250×2730		断熱材 (○を適用)	勾配屋根	・ ウレタンボード (防水紙貼) t =		・ 現場発泡ウレタン t =25	・ グラスウール t = 1 0 0 ( 2 4 K g )		
	破風板・鼻隠し	鶴岡産杉板 t 3 0 W=3 0 0 キシラデコール塗装			天井	・ フォームポリスチレン板 t =		・ 現場発泡ウレタン t =25	○ グラスウール t =100+100 ( 2 4 K g )		
	雪止め	ステンレス L-5 0 × 5 0 × 4 3 段			外壁	・ フォームポリスチレン板 t =		・ 現場発泡ウレタン t =25	○ グラスウール t =100+100 ( 2 4 K g )		
	防水シート	アスファルトルーフィング 2 2 k g 下葺き			1F床下	○ フォームポリスチレン板 t = 3 0		・ 現場発泡ウレタン t =25	・ グラスウール t = 1 0 0 ( 2 4 K g )		
	野地板	構造用合板 t 1 2 + 野地板合板 t 9			1F土間下	○ フォームポリスチレン板 t = 3 0		・ 現場発泡ウレタン t =			
外壁	2 階	耐震性合板 t 9+胴縁45×24+石膏ボード t 12.5+透湿防水シート+ガルバリウム鋼板縦張り t 0.4		シーリング	特記なき限りポリサルファイド系シーリングとする						
	1 階	耐震性合板 t 9+胴縁45×24+石膏ボード t 12.5+透湿防水シート+鶴岡産杉板 t 21W150縦張り キシラデコール塗装									
	基礎部分	コンクリート打放 はっ水塗料塗り									
	日よけルーバー	鶴岡産杉材 210×60@455 キシラデコール塗装									
軒天	軒天	石綿ケイ酸カルシウム板 t 5 EP塗		木材	隠ぺい柱材	見え掛り柱材 及 和室造作材	構造材	下地材	額縁等造作材	枠廻り造作材	その他
	ポーチ・非常口	鶴岡産杉板張り t 15 キシラデコール塗装			鶴岡産杉材	鶴岡産杉材	鶴岡産杉材 集成材	鶴岡産杉材	鶴岡産杉材	鶴岡産杉材	
開口部	樹脂複合断熱アルミサッシ (ペアガラス内部スクールテンパ)		防湿	1 F床下端にはポリフィルム t 0.15敷							
ポーチ	床: ノンスリップ磁気質タイル 1 5 0 角 段鼻タイル使用 手摺り: ステンレスパイプ 40φ t 2.5 軒天: 鶴岡産杉板張り t 15 キシラデコール塗装										
スロープ	床: ノンスリップ磁気質タイル 1 5 0 角 点字ブロック布設 手摺り: ステンレスパイプ 40φ t 2.5 一部 RCはっ水塗料塗り 軒天: 鶴岡産杉板張り t 15 キシラデコール塗装										
非常口	階段: コンクリートモルタル塗り ノンスリップタイプ張り 土間: コンクリート t 100 刷毛引き 手摺り: ステンレスパイプ 40φ t 2.5 軒天: 鶴岡産杉板張り t 15 キシラデコール塗装										
				凡例							
					鉄筋コンクリート造			A F A R	アスファルトフェルト 1 7 K g アスファルトルーフィング 2 2 K g		
外構					木 軸			G W	グラスウール		
駐車場: アスファルト舗装 駐車ライン 抜差し型車止めパイプ スチールフェンス一部ゲート付き					軽鉄間仕切			Vクロス Gクロス	ビニールクロス ガラスクロス (裏打品)		
排水路: コンクリートU型側溝 (蓋付一部グレーチング) 集水樋付き					CB (コンクリートブロック)			C MO	コンクリート モルタル		
人工強化竹垣高さ: 1.8m程度・ポケットパーク: 山桜2本・ベンチ1台・駐車スペース3台・身障者用1台				E P A E P	合成樹脂エマルジョンペイント (2回塗) アクリル系合成樹脂エマルジョンペイント (2回塗)			F P	フォームポリスチレン板 (B類1種)		
				S O P	合成樹脂調合ペイント (2回塗)			強化PB t 1 5 PB t 1 5	NM-8615 NM-8616		
外部金物			仕 様	C L 染色C L	クリアラッカー (2回塗) とのこ等着色の上クリアラッカー (2回塗)			P B t 1 2 . 5	NM-8612		
種 別	有	無		O S O S V	オイルステイン オイルステイン+ポリウレタン樹脂ワニス			P B t 9 . 5	QM-9819		
笠 木		○		P U 染色P U	ポリウレタン樹脂ワニス (2回塗) S O P 塗等所定時間の後拭取りの上ポリウレタン樹脂ワニス			F B 波型スレト	NM-8576		
ルーフドレイン		○		W P	木材保護着色ペイント (キシラデコール・サドリン程度) (2回塗)			F G B	NM-8313		
縦 樋	○		塩ビ樹脂製縦樋60φ	P B	石膏ボード			ケイカル板	NM-8578		
軒 樋	○		塩ビ樹脂製角型軒樋120	C P B	耐水石膏ボード			化粧石膏ボード t 9	QM-9821		
手 摺	○		ステンレス製40φ t 2.5 S U S 3 0 4	K B	コバネ又は構造用合板			岩綿吸音板	NM-8599		
タラップ		○		F B	石綿セメント板 (フレキシブル)			樹脂シート クロス (和紙模様 ・ビニール)	QM-9275 QM-9229		
館名板・文字	○		サンロイドチャンネル文字300角 t 20 (12文字) ※詳細については現場協議による	F G B	石綿セメント板 (硝子繊維板)			塗 料	NM-8585 QM-9816		
E X P ・ J カバー		○		R P B	石膏ラスボード			防火サイディング	PC030BE-9202 (窯業系サイディングPB裏貼 鉄骨外壁)		
床下換気口	○		土台パッキンt=20 W=150 1m当たり有効面積 75cm <sup>2</sup> 以上の換気口	T B シート	透湿防風シート			硝子繊維フェルト	NM-8673		
郵便受	○		メールボックス (既製品)	V H	ソフト巾木			フレキシ ブルボード	NM-9270		

(1階)室名	床		F L	巾木		壁				天井				C H	廻縁	備考
	下地	仕上		仕上	H	下地	内装制限	仕上	表面仕上	下地	内装制限	仕上	表面仕上			
風除室	MO	ノンスリップ磁気質タイル150角	-50	磁器タイル W150 H100	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2750	塩ビ	カーテン・郵便受け
玄関	MO	ノンスリップ磁気質タイル150角 御影石框 W=100 t30	-30	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2730	塩ビ	下足棚・御影石框・傘立て
玄関ホール	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	下足棚・傘立て
1階廊下	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	
階段	鉄板t6.5 モルタル t60	ワイヤメッシュ3.2Φ100角入り ノンスリップシートt2.5張り		木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等		塩ビ	手摺・ノンスリップ
職員室	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700 一部2400	塩ビ	給湯流し・キッチンパネル・吊戸棚・水切り棚 ・ブラインド・室名札
静養室兼 相談室 1・2	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2400	塩ビ	ブラインド・室名札
多目的WC	木組	構造用合板t12 構造用合板t12+長尺塩ビシート 張りt2.5	-0.5	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 鶴岡産杉板t18 OSV		木下地		石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り		2400	塩ビ	掃除用具入れ・カーテン・室名札・床天井点検口
シャワー室兼 洗濯室	木組	構造用合板t12 二重張り 長尺塩ビ シート張りt2.5 構造用合板t12 二重張りリシャワー	-0.5		100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 鶴岡産杉板t18 OSV ユニットシャワー		木下地		石膏ボードt12.5+t9.5 鶴岡産杉板t18 WP 石膏ボードt12.5+t9.5 ユニットシャワー		2400	塩ビ	シャワーユニット・室名札・床天井点検口
保育室1・2	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700 一部2400	塩ビ	ランドセルロッカー・手洗い水飲み流し・ミラー・水切り棚 ・ブラインド・室名札
畳コーナー1・2	木組	構造用合板t12+カバ無垢 フローリングt15(ウレタン塗装) 琉球畳敷きt30	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2500	塩ビ	ブラインド
図書コーナー	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2400	塩ビ	本棚
キッチン 1・2	木組	構造用合板t12+ 構造用合板t12+長尺塩ビシート 張りt2.5	-0.5	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 キッチンパネルt6.0貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 キッチンパネルt6.0貼り	器材 同等	2400	塩ビ	ステン流し・IHコンロ・吊戸棚・水切り棚 ・室名札・床天井点検口
男子女子WC 1・2	木組	構造用合板t12+ 構造用合板t12+長尺塩ビシート 張りt2.5	-0.5	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 鶴岡産杉板t18 OSV		木下地		石膏ボードt9.5 ビニールクロス貼り		2400	塩ビ	ピクトサイン・床天井点検口
倉庫1・2 (保育室 ホール兼用)	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2400	塩ビ	室名札・床天井点検口
多目的ホール1	木梁組	構造用合板t12+ 構造用合板t9+屋内スポーツ用 弾性シート張りt6.5	+0.5	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	3000	塩ビ	室名札・ブラインド
内部階段 通路	鉄板t6.5 モルタル t60	ワイヤメッシュ3.2Φ100角入り ノンスリップシートt2.5張り	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	手摺・ノンスリップ
職員休憩室 兼更衣室1	木梁組	構造用合板t12+カバ無垢 フローリングt15(ウレタン塗装) 琉球畳敷きt30	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	ロッカー・室名札・ブラインド
相談室1	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	室名札・ブラインド
1階ケルグン室 兼楽器演奏室	木組	構造用合板t12 カバ無垢フローリングt15 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 吸音クロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5 + H1200鶴岡産杉板t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボードt12.5+t9.5 吸音クロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	室名札・ブラインド
階段下収納	木梁組	構造用合板t12+ 構造用合板t12+ 長尺塩ビシート張りt2.5	+0.5	雑巾摺	25	木組		石膏ボードt12.5				段下鉄材 SP				

(2階) 室名	床		F L	巾木		壁			天井				C H	廻縁	備考	
	下地	仕上		仕上	H	下地	内装制限	仕上	表面仕上	下地	内装制限	仕上				表面仕上
2階玄関 玄関ホール	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74 + t9合板 t9 + 塩ビシート張り t2.5 構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	-0.5 ±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	3000	塩ビ	下足棚・傘立て
2階廊下	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	5000	塩ビ	
図書コナ	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	本棚
会議室	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	ブラインド・室名札
静養室兼相談室 3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	ブラインド・室名札
倉庫 A 3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	室名札
保育室 3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	ランドセルロッカー・手洗い水飲み流し・ミラー・水切棚 ・ブラインド・室名札
畳コナ 3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装) 琉球置敷き t30	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2500	塩ビ	ブラインド
図書コナ	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	ブラインド
キッチン3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 + 構造用合板 t9 + 塩ビシート張り t2.5	-0.5	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 キッチンパネル t6.0 貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 キッチンパネル t6.0 貼り	器材 同等	2400	塩ビ	ステン流し・IHコンロ・吊戸棚・水切り棚・室名札 ・床天井点検口
男子女子WC 3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 + 構造用合板 t9 + 塩ビシート張り t2.5	-0.5	木製OSV	100	木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 キッチンパネル t6.0 貼り	器材 同等	2400	塩ビ	ピクトサイン・床天井点検口
倉庫 B 3・4	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 + カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	室名札・床天井点検口
多目的ホール2	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t6 + 構造用合板 t9 + 屋内スポーツ用 弾性シート張り t6.5	+0.5	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700 5000	塩ビ	室名札・ブラインド
内部階段 ・通路	鉄板 t6.5 モルタル t60	ワイヤメッシュ3.2Φ100角入り ノンスリップシート t2.5張り	±0	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	手摺・ノンスリップ
職員休憩室 兼更衣室2	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装) 琉球置敷き t30	+13 ±0	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	ロッカー・室名札・ブラインド
相談室2	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 + カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 ビニールクロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	室名札・ブラインド
2階ガクウ室 兼楽器演奏室	木梁組	構造用合板 t15 + ユカテックW t74合板 t9 + カバ無垢フローリング t12 (ウレタン塗装)	±0	木製OSV		木組	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 吸音クロス貼り 石膏ボード t12.5 + t9.5 H1200鶴岡産杉板 t18 OSV	器材 同等	木下地	不燃	石膏ボード t12.5 + t9.5 吸音クロス貼り	器材 同等	2700	塩ビ	室名札・ブラインド

法チェック図-1											
室名・床面積	81.76+8.28	1階保育室 1・2 キッチン	81.76+8.28	2階保育室 1・2 キッチン	59.21	2階多目的ホール2	59.21	1階多目的ホール1	42.23	1階職員室	
排煙面積	1/50 1.800	0.77×0.6×3+ 0.77×0.3×2=1.848	1/50 1.800	0.77×0.6×5=2.31	1/50 1.185	0.75×0.36×6=1.62	1/50 1.185	0.77×0.70×3=1.617	1/50 0.85	0.77×0.6×2+ 0.77×0.3=0.977	
換気面積	1/20 4.592	0.77×1.4×3+ 0.77×2.2×2=6.622	1/20 4.592	0.77×1.4×5=5.39	1/20 2.961	0.77×1.8×3=4.158	1/20 2.961	0.77×1.8×3=4.158	1/20 2.12	0.77×2.2+ 0.77×1.4×2=3.85	
採光面積	1/7 12.87	(1.57×1.4×3+ 1.57×2.2×2)×3=40.506 AW4 0.67×0.9×3=1.809	1/7 12.87	1.57×1.4×5×3=32.97 AW4 0.67×0.9×3=1.809	1/7 8.459	(1.57×1.8×3+0.75 ×0.36×6)×3=30.294	1/7 8.459	1.57×1.8×3×3=25.434	1/7 6.04	(1.57×1.4×2+ 1.57×2.2)×3=23.55	
形状・寸法											
室名・床面積	42.23	2階会議室	7.45	静養室兼相談室	14.19	職員休憩室兼更衣室	10.65	相談室	5.73	クールダウン室兼 楽器演奏室	
排煙面積	1/50 0.85	0.77×0.6×2=0.924	1/50 0.149	0.77×0.6=0.462	1/50 0.284	0.77×0.6=0.462	1/50 0.213	0.77×0.6=0.462	1/50 0.115	0.595×0.6=0.357	
換気面積	1/20 2.12	0.77×1.4×2=2.156	1/20 0.373	0.77×1.4=1.078	1/20 0.724	0.77×1.4=1.078	1/20 0.544	0.77×1.4=1.078	1/20 0.287	0.595×1.4=0.833	
採光面積	1/7 6.04	1.57×1.4×2×3=13.188	1/7 1.065	1.57×1.4×3=6.594	1/7 2.131	1.57×1.4×3=6.594	1/7 1.522	1.57×1.4×3=6.594	1/7 0.86	1.22×1.4×3=5.129	
形状・寸法											
室名・床面積	74.55	風除室・玄関ホール・1階廊下・階段室	58.04	2階廊下・2階玄関ホール 図書コーナー	21.185	内部階段					
排煙面積	0.951	0.75×0.78×2=1.17	1/50 0.951	0.75×0.35×4=1.05	1/50 0.424	0.77×0.6=0.462					
換気面積	2.378	0.77×1.4+0.98×2.1=3.136	1/20 2.378	0.75×0.35×4+ 0.77×1.8=2.436	1/20 1.08	0.77×1.4+ 1.2×2.0=3.478					
採光面積											
形状・寸法											

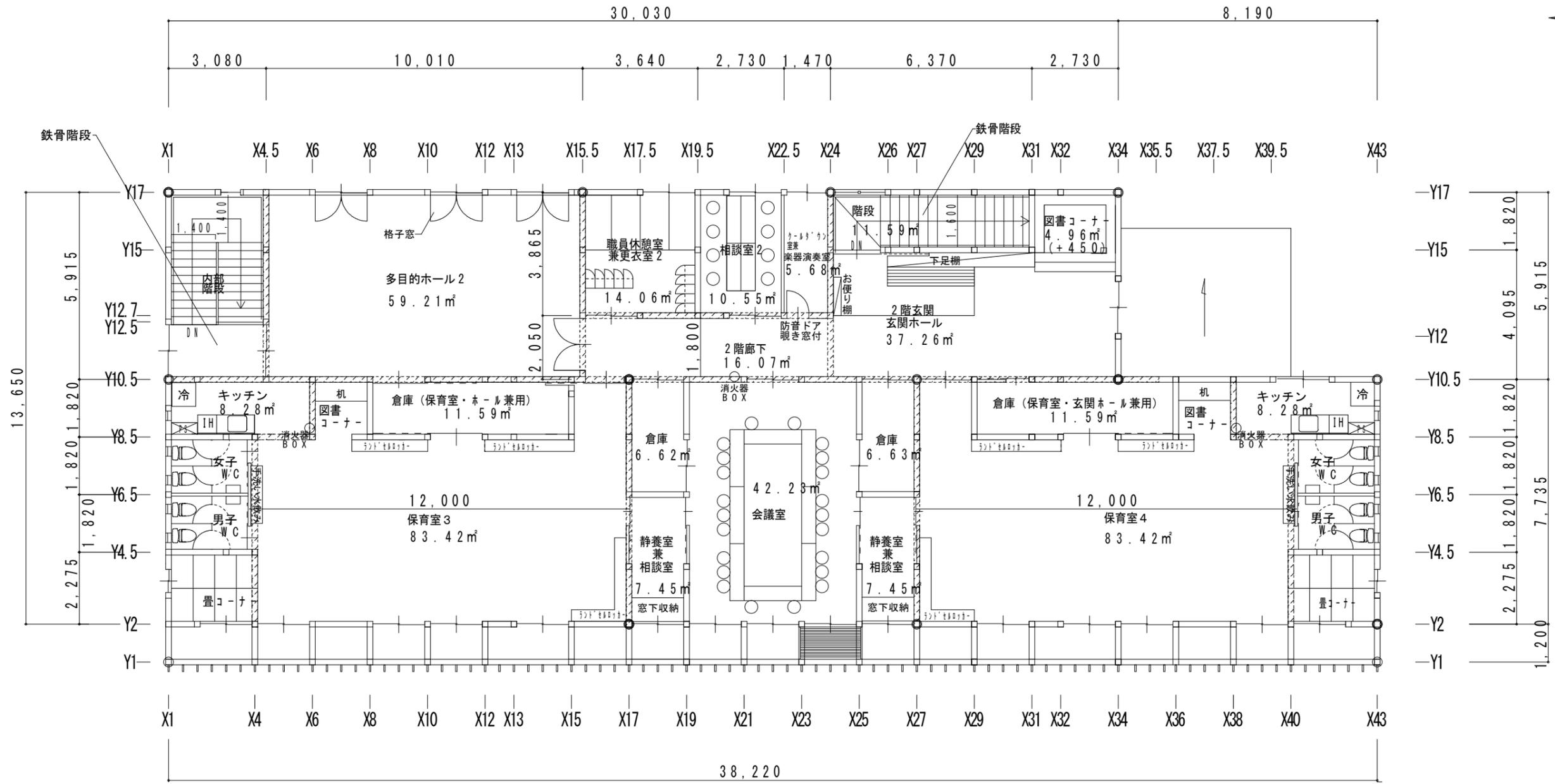
有効採光面積 = W × A  
W : 窓の面積  
A : 採光補正係数  
 $A = \frac{d}{h} \times \alpha - \beta$   
d : 窓の直上にある建築物の各部分から隣地境界線等までの水平距離  
h : 窓の中心から直上の建築物の各部分までの垂直距離  
ただし、A ≤ 3



凡例  
 ※防火上有効な間仕切り壁：小屋裏、天井裏に達せしめる事

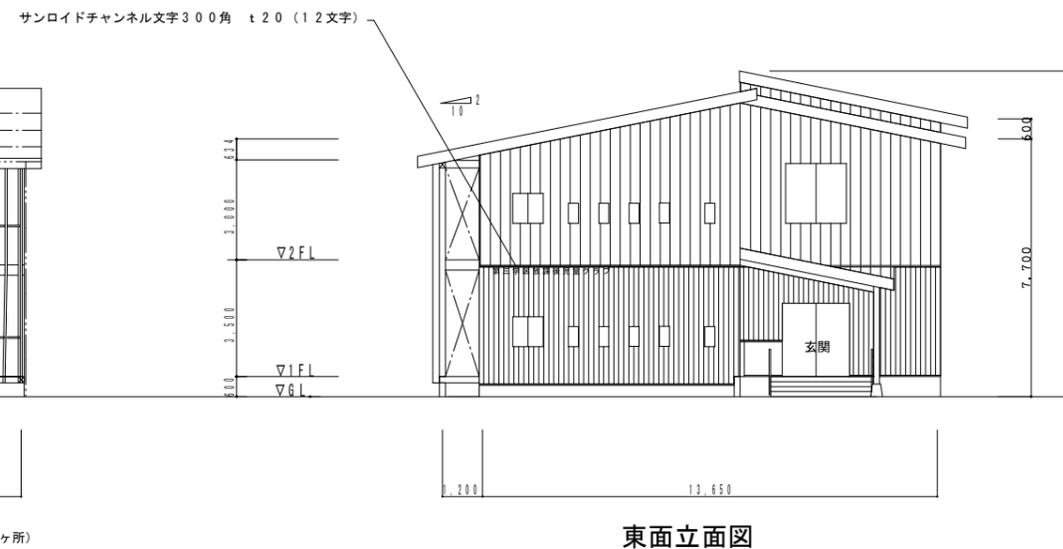
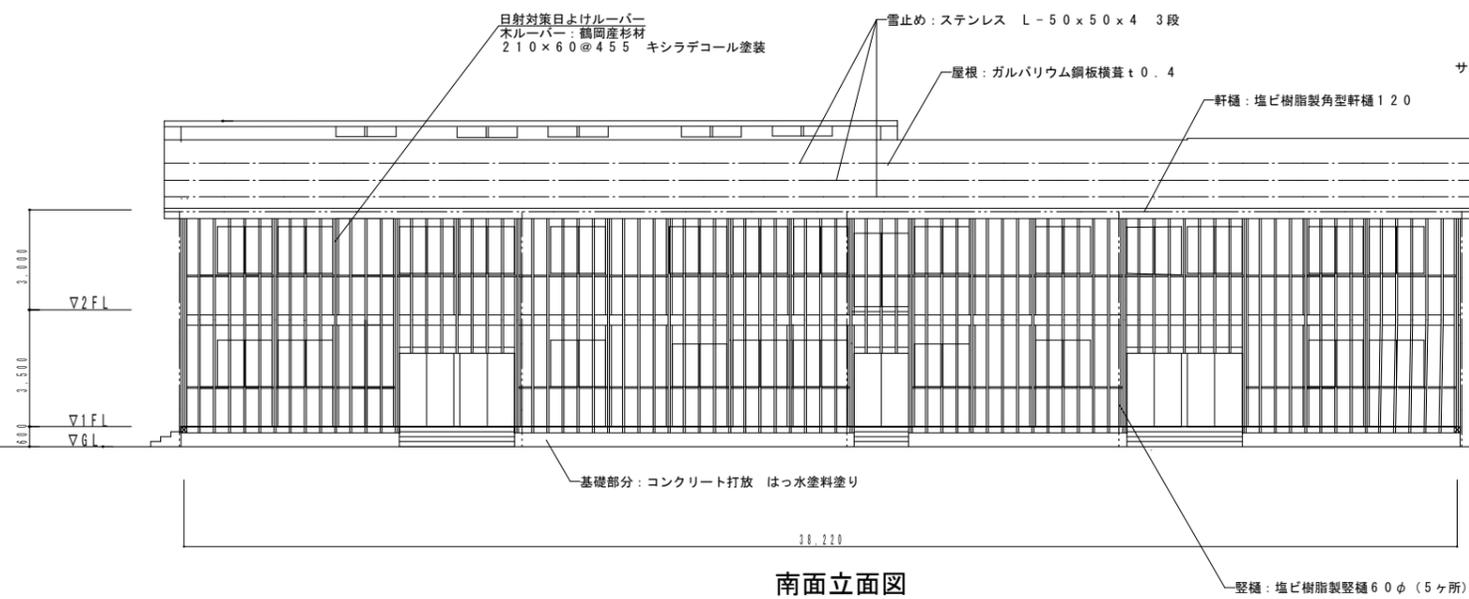
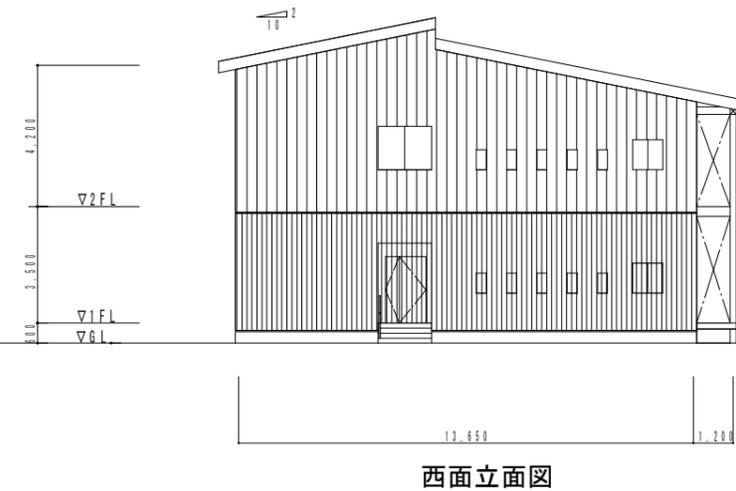
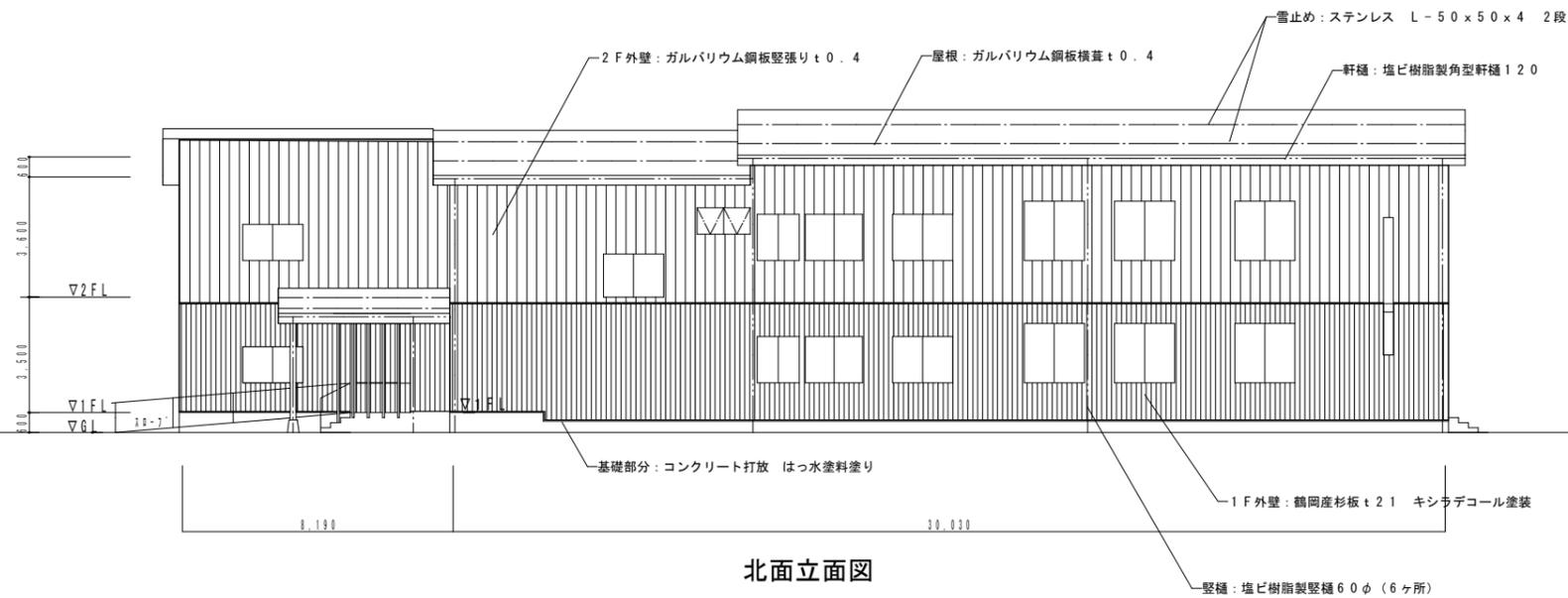
屋外機RC基礎寸法（建築工事）

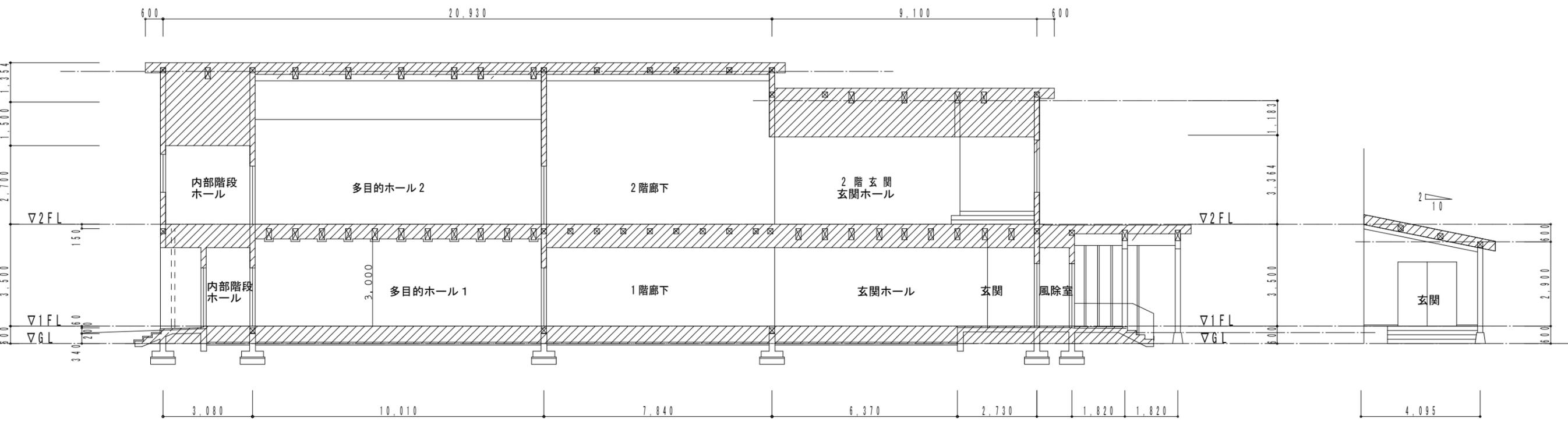
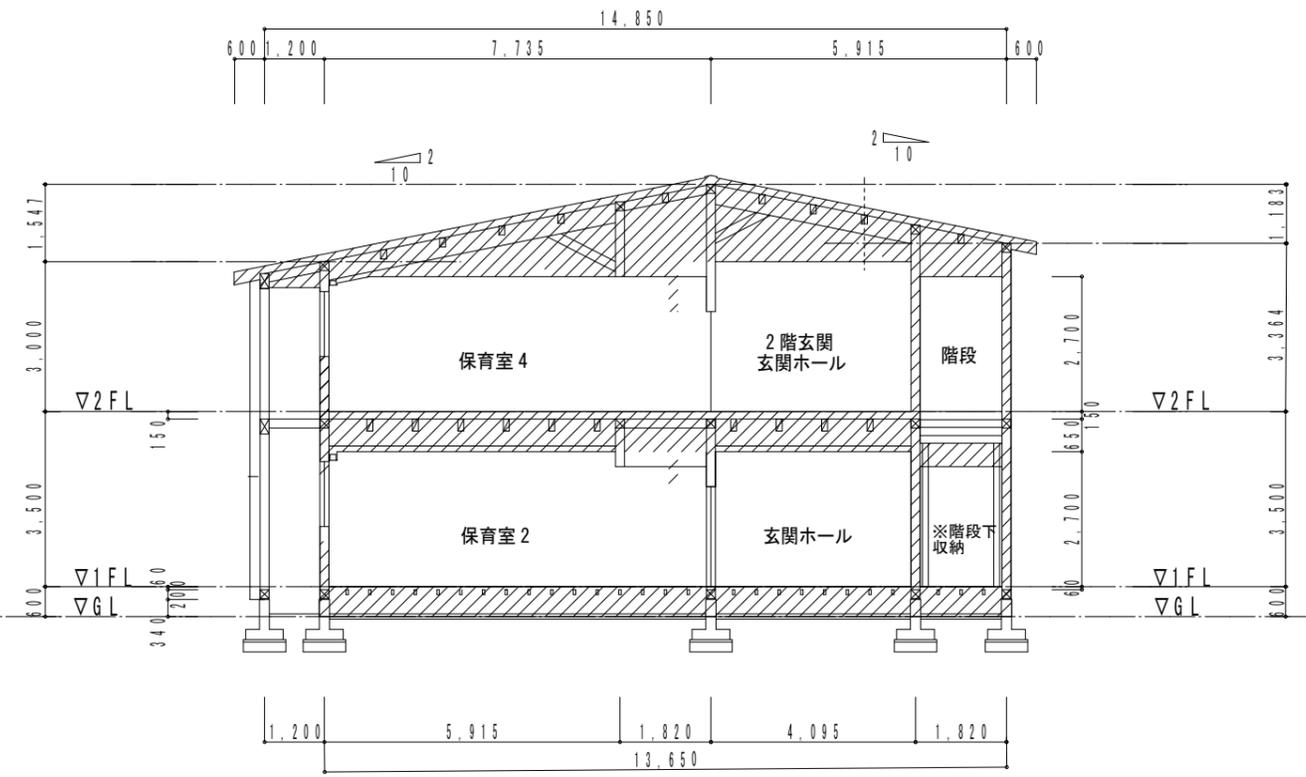
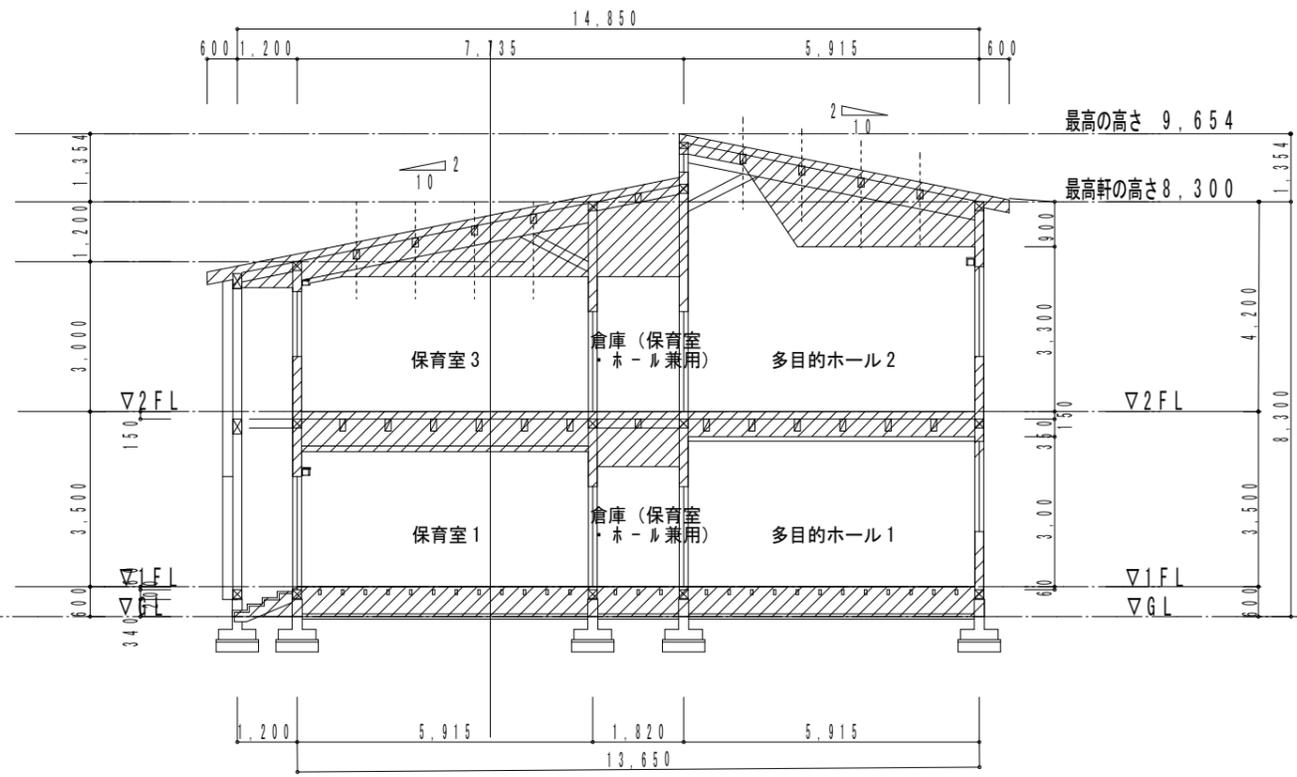
記号	幅 (W)	奥行 (D)	高さ (H)	鉄筋	数量
A	1350	600	150	D10 @200	3
B	2300	550	150	D10 @200	3



凡例  
 ※防火上有効な間仕切り壁：小屋裏、天井裏に達せしめる事

訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				



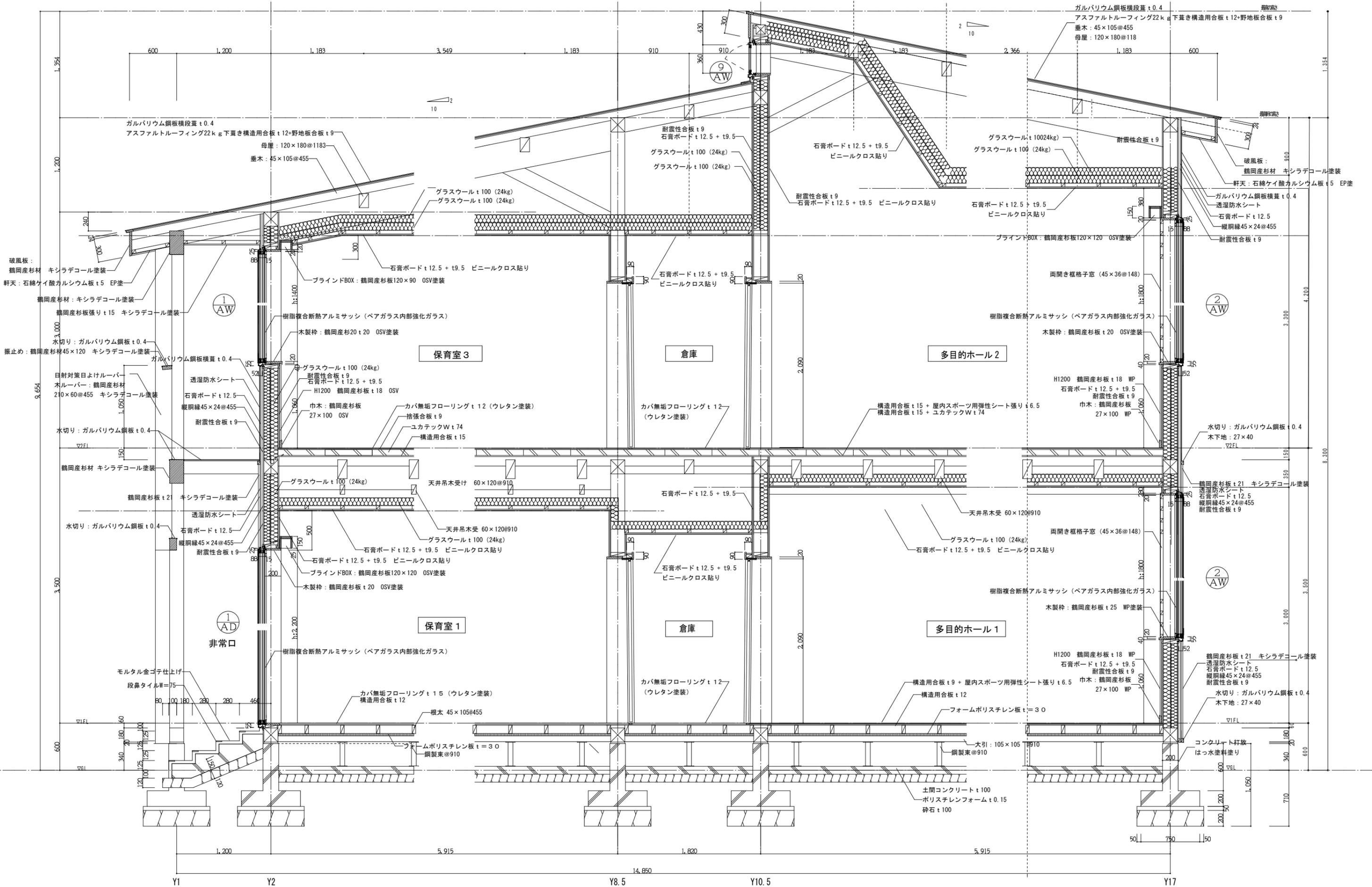


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL.(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	_____	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	_____					
	_____					
	_____					

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	断面図	図面番号	A-20
縮尺	1/100	区分	



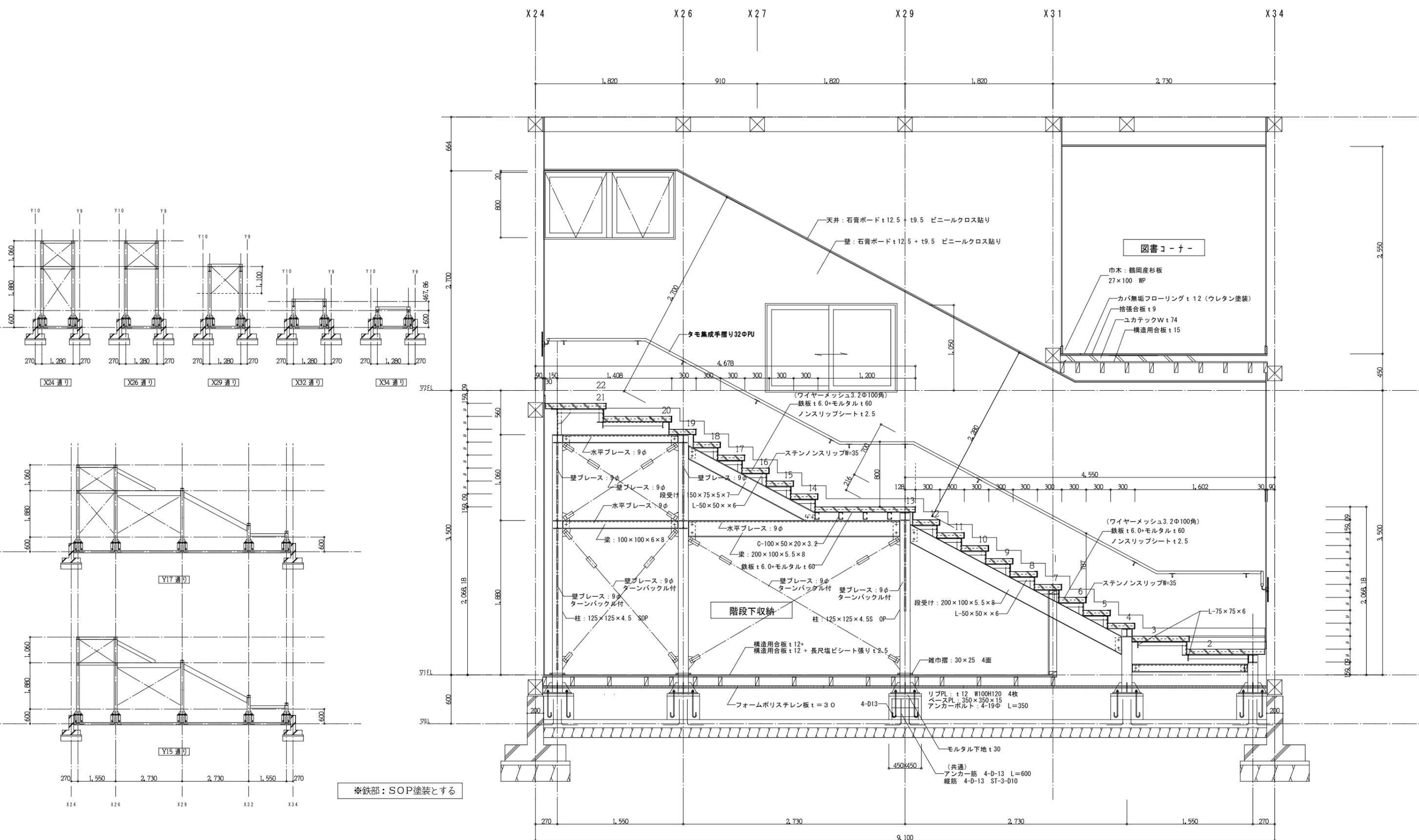
HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月18日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	矩計図	図原番号	A-21
縮尺	1/30	区分	





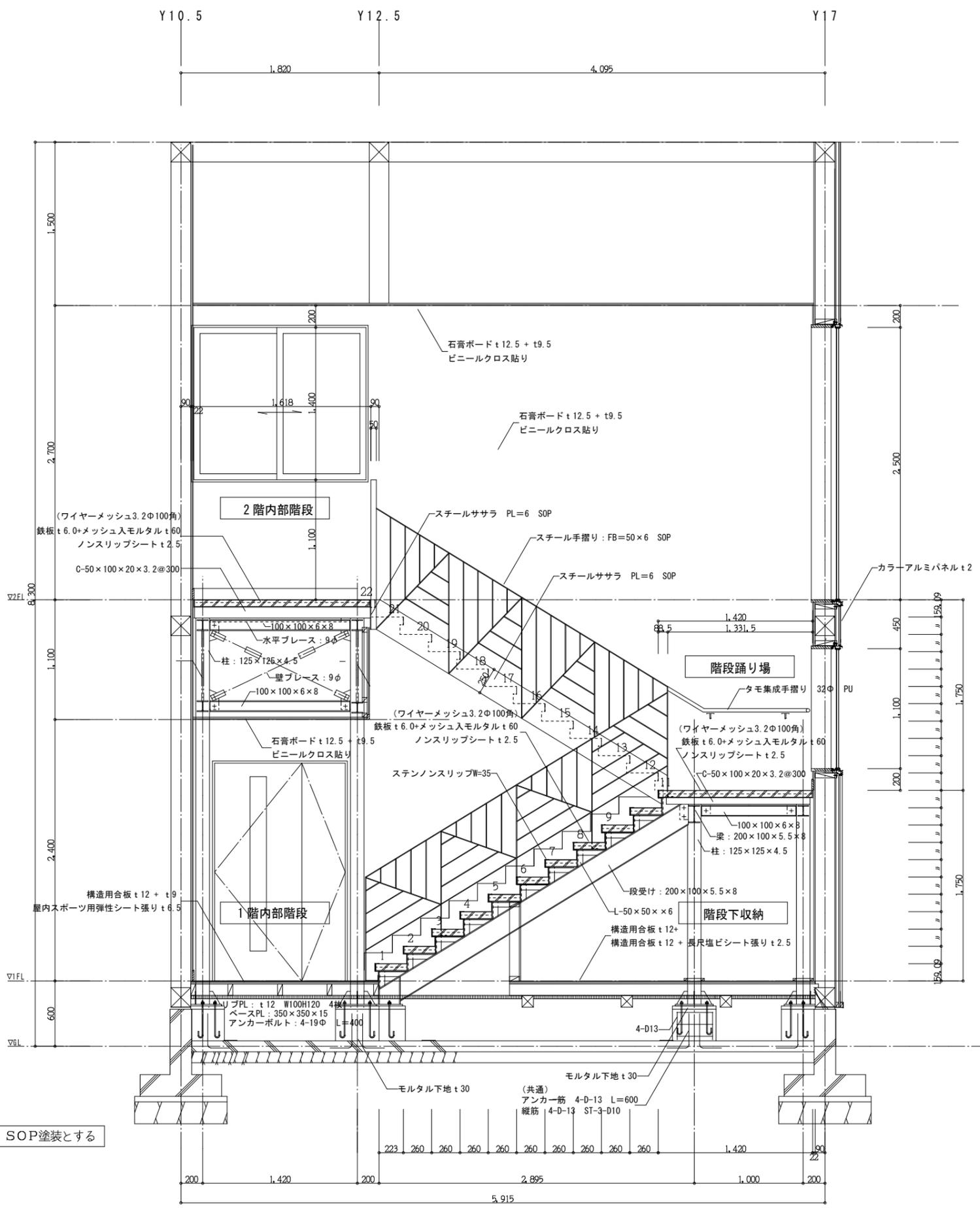
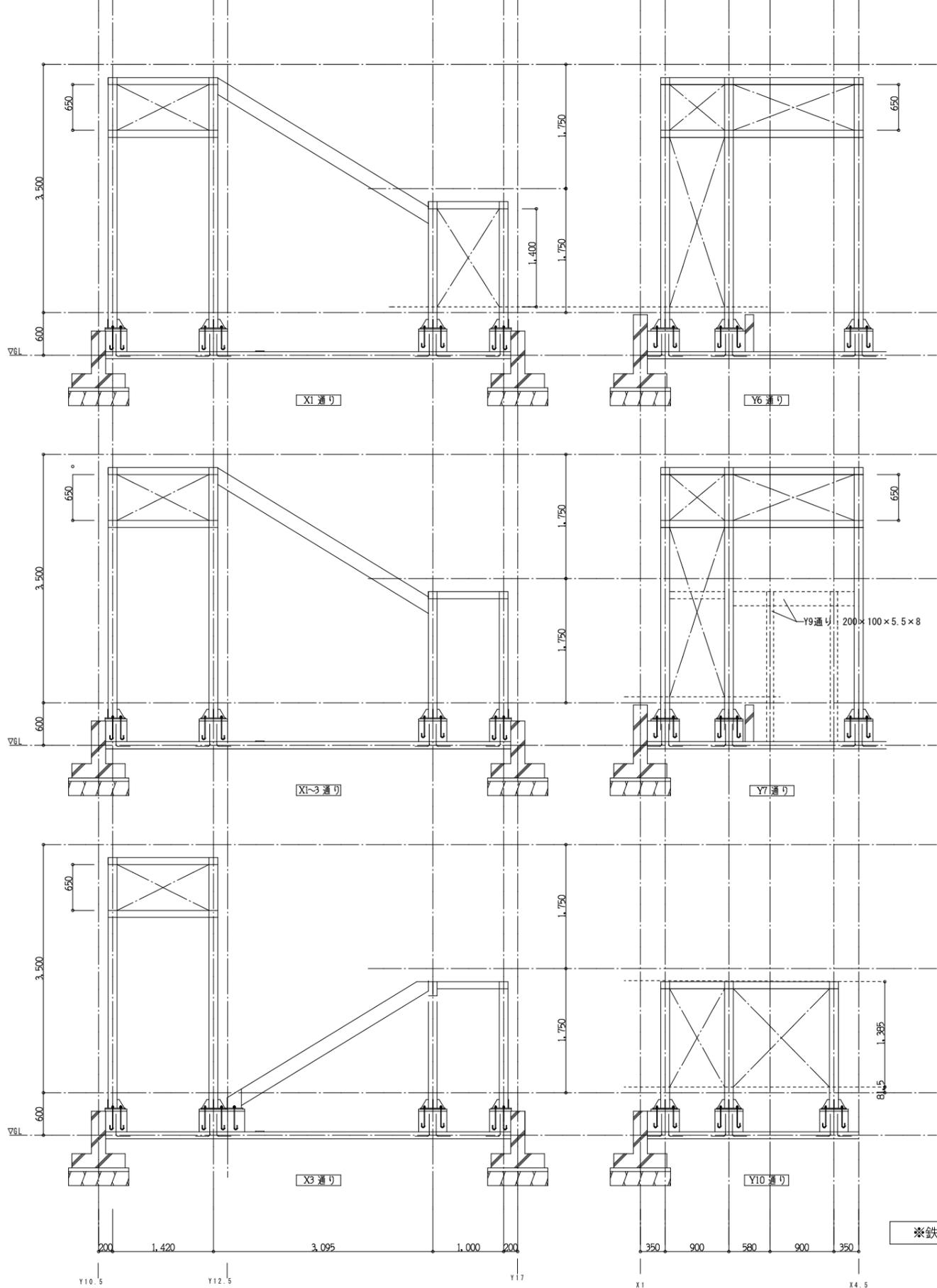
※鉄部：SOP塗装とする

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL.(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	階段詳細図・軸組図-1	図原番号	A-23
縮尺	1/30・1/100	区分	



※鉄部：SOP塗装とする

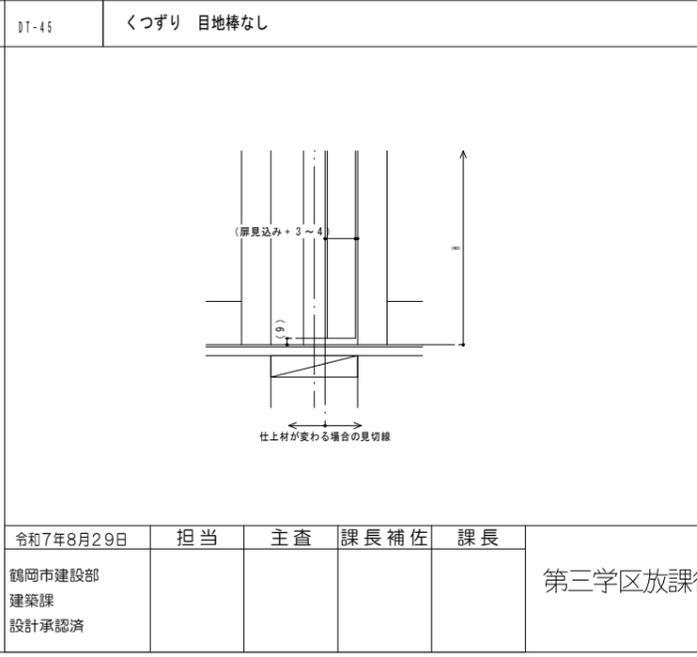
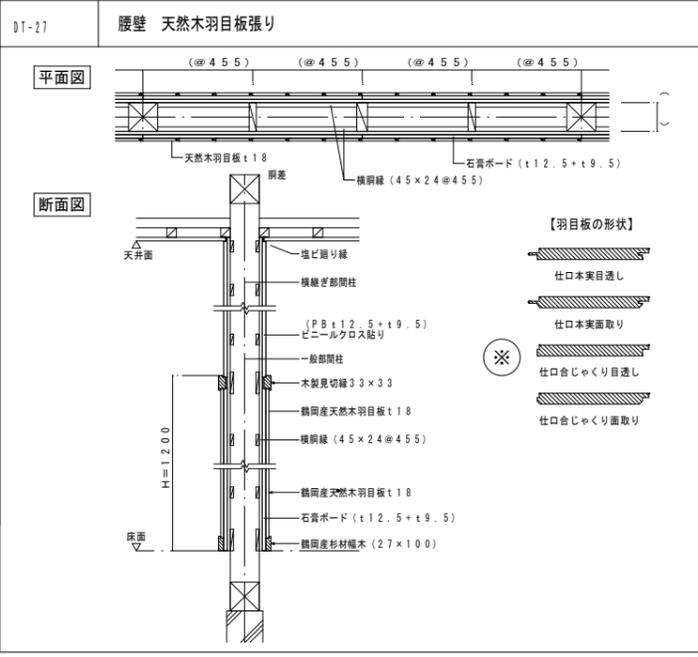
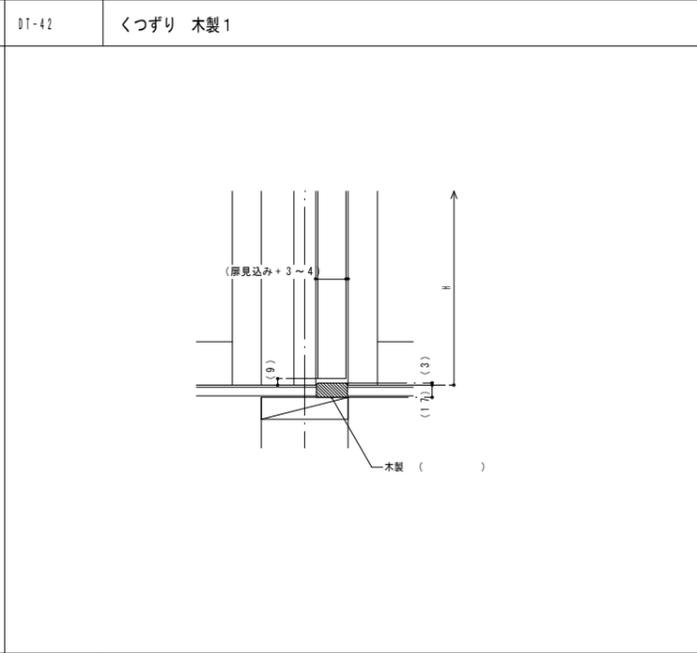
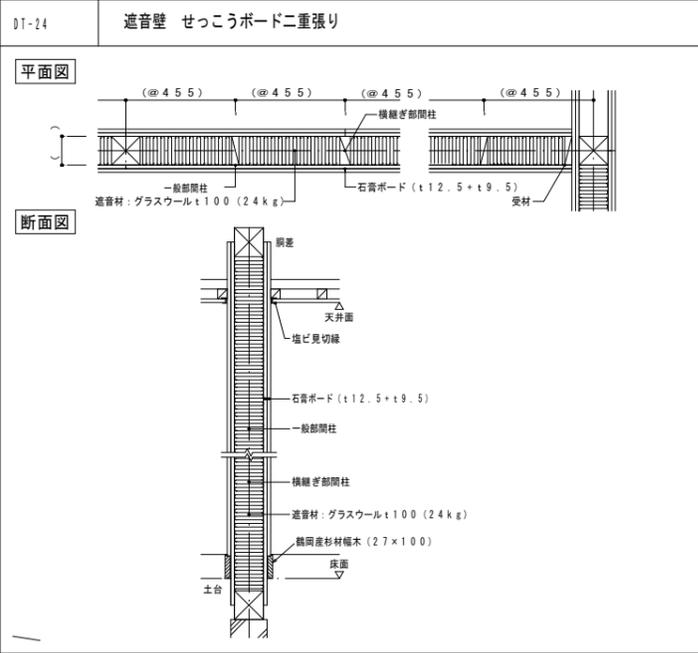
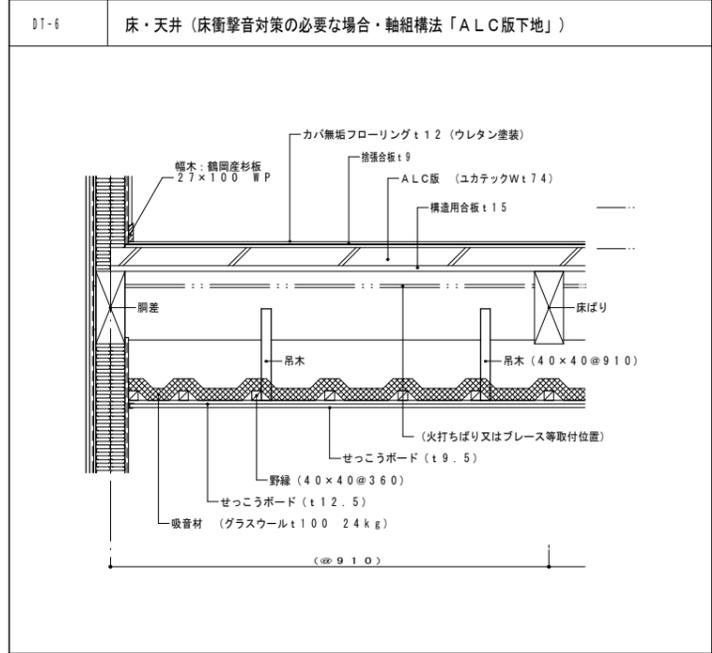
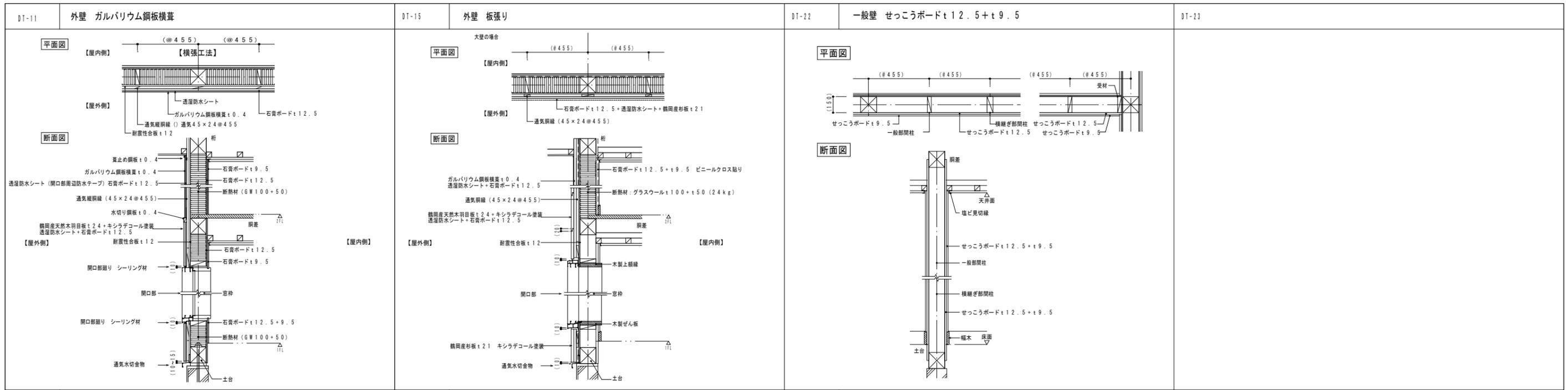
HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL.(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

構造用合板 t12  
 張り t2.5

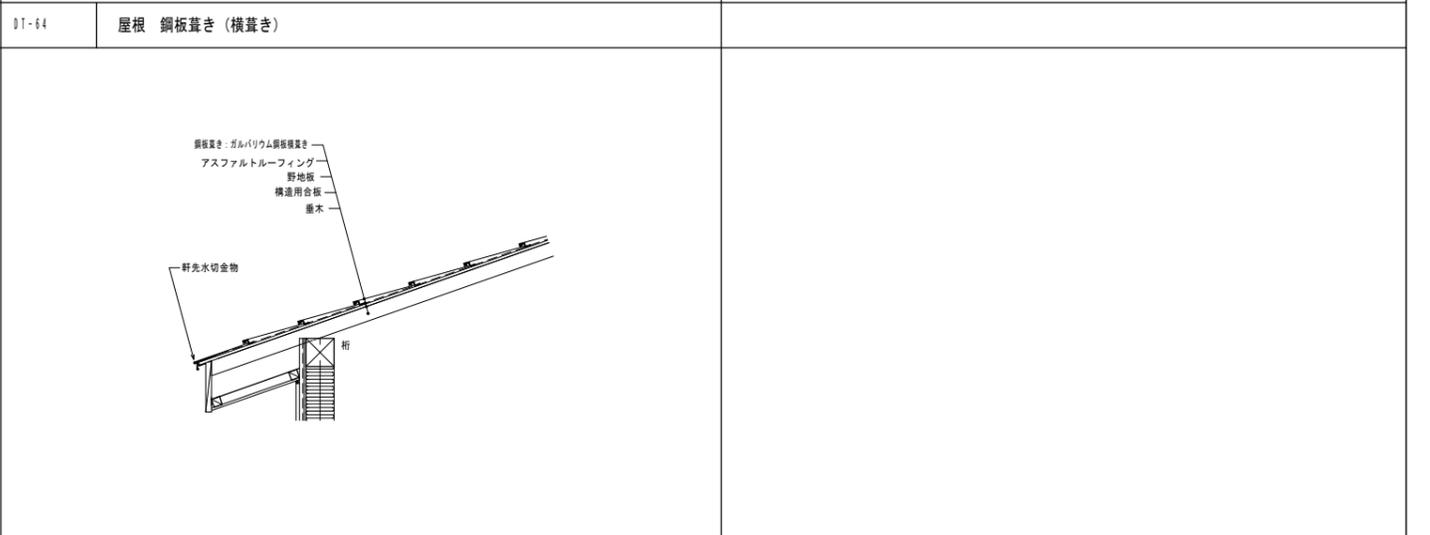
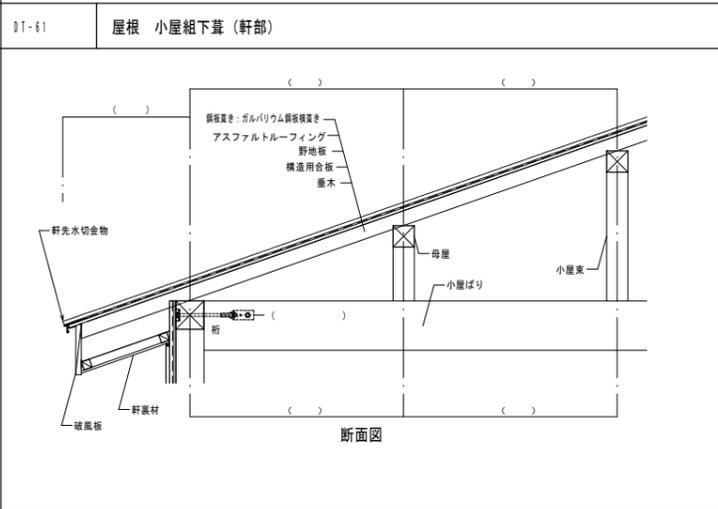
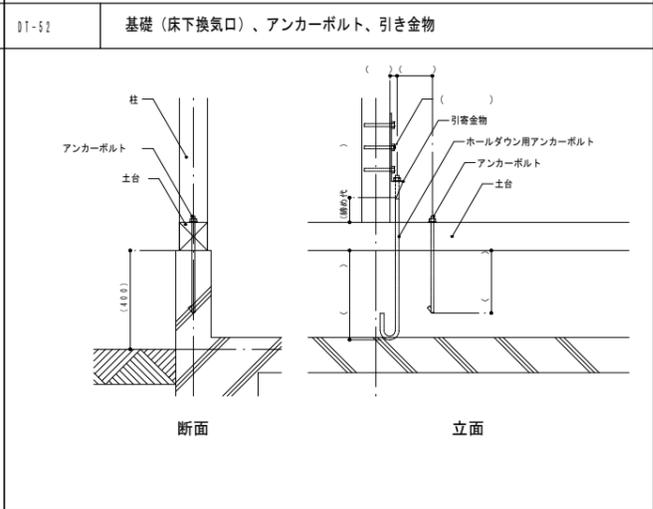
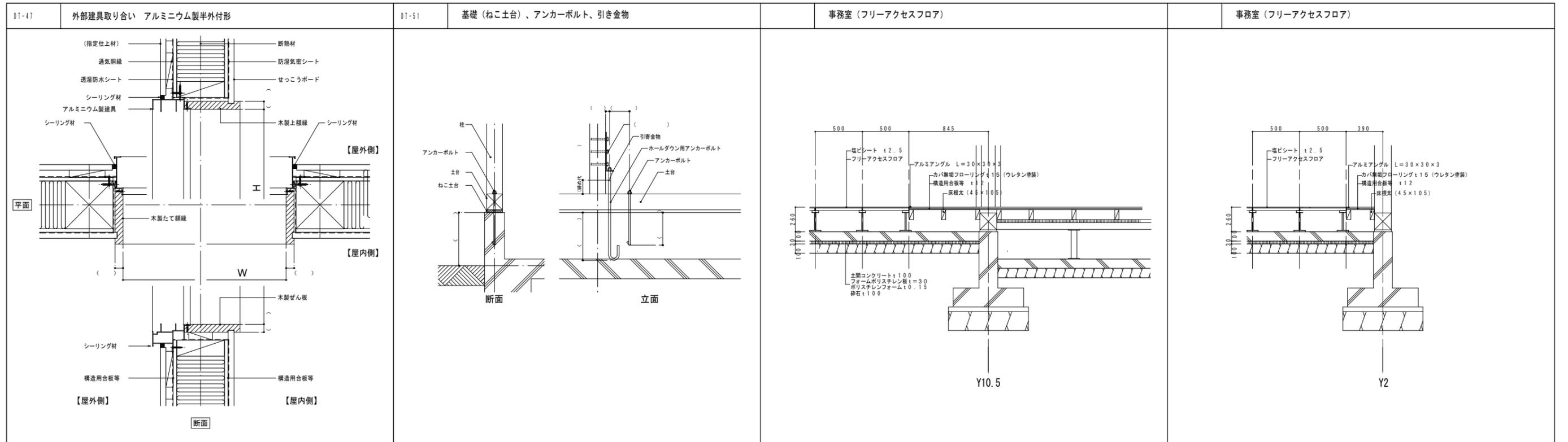
訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

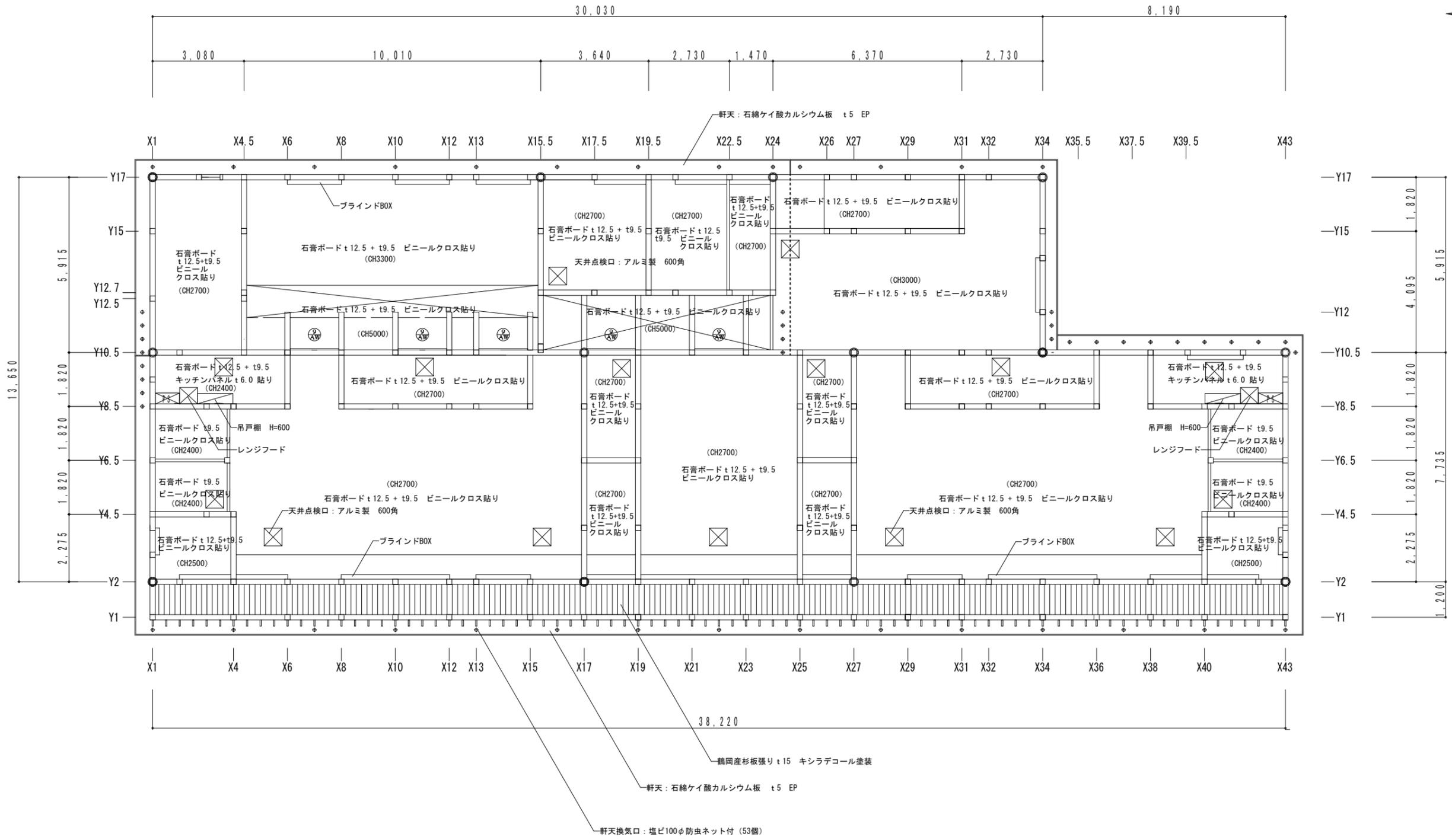
図面内容	階段詳細図・軸組図-2	図原番号	A-24
縮尺	1/30・1/50	区分	



令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長	第三学区放課後児童クラブ新築工事	木造詳細図 (その1)	25
鶴岡市建設部 建築課 設計承認済							A
							HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社





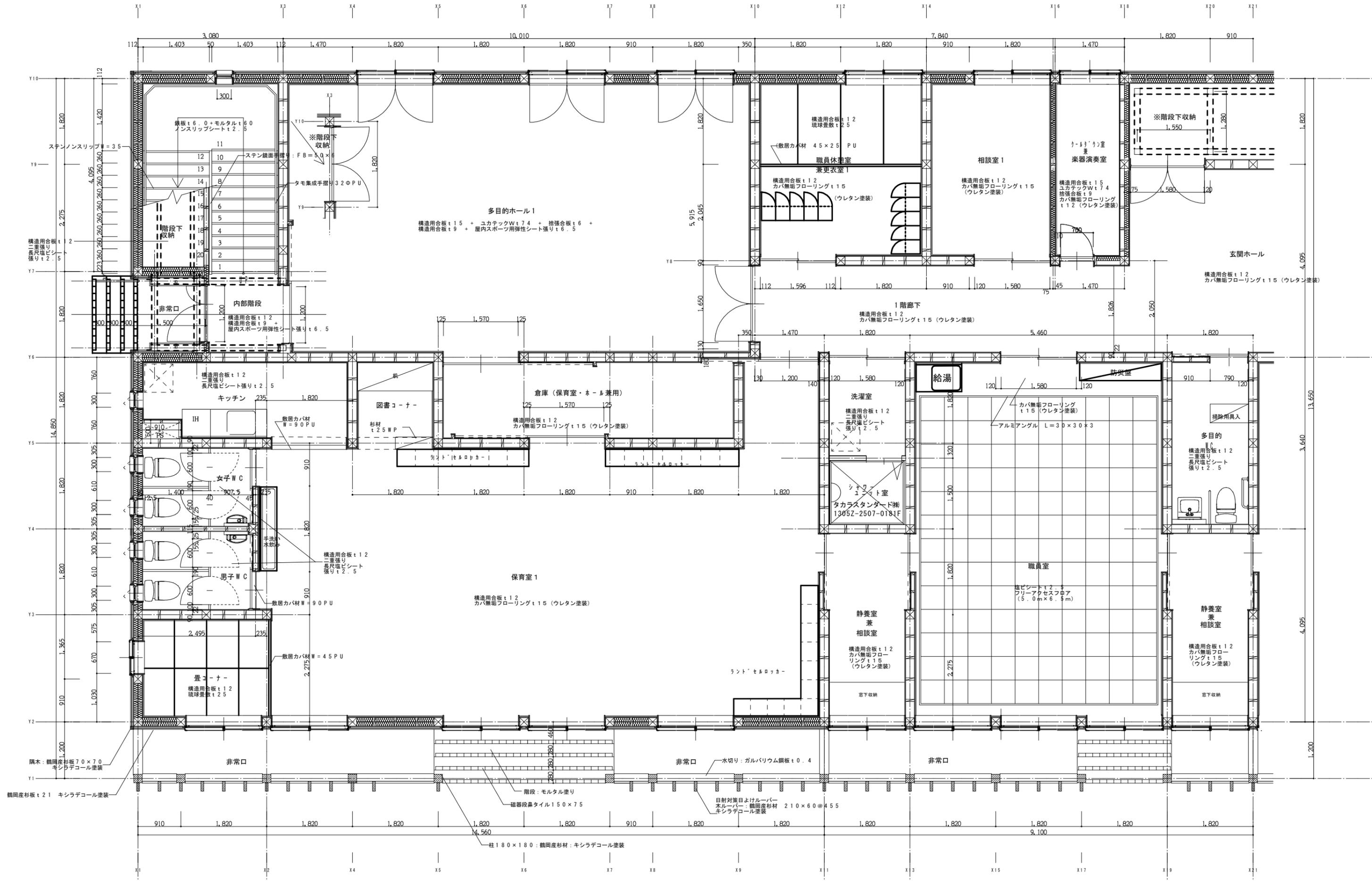


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	2階天井伏図	図面番号	A-28
縮尺	1/100	区分	

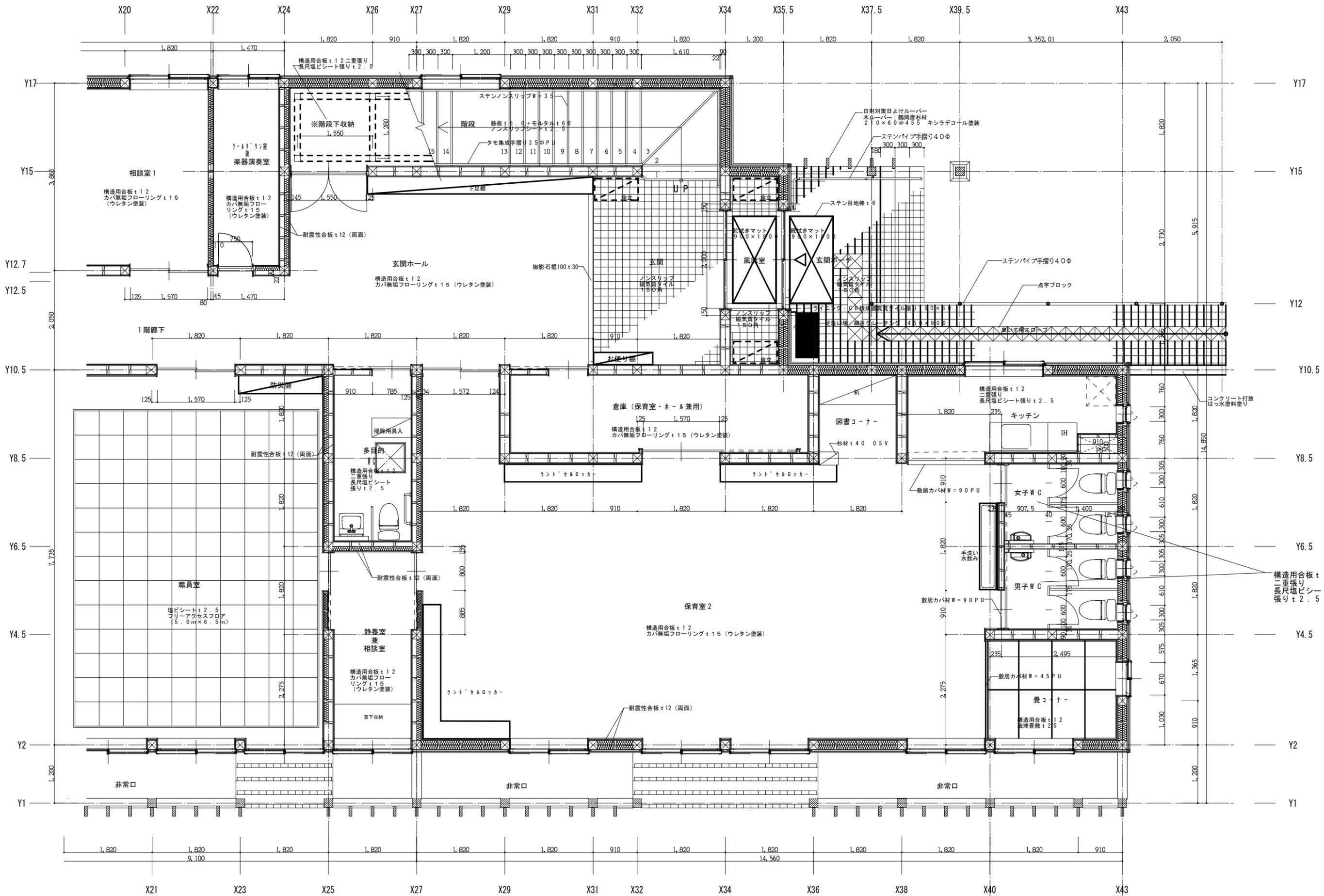


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL.(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	1階平面詳細図-1	図番	A-29
縮尺	1/50	区分	



HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL.(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

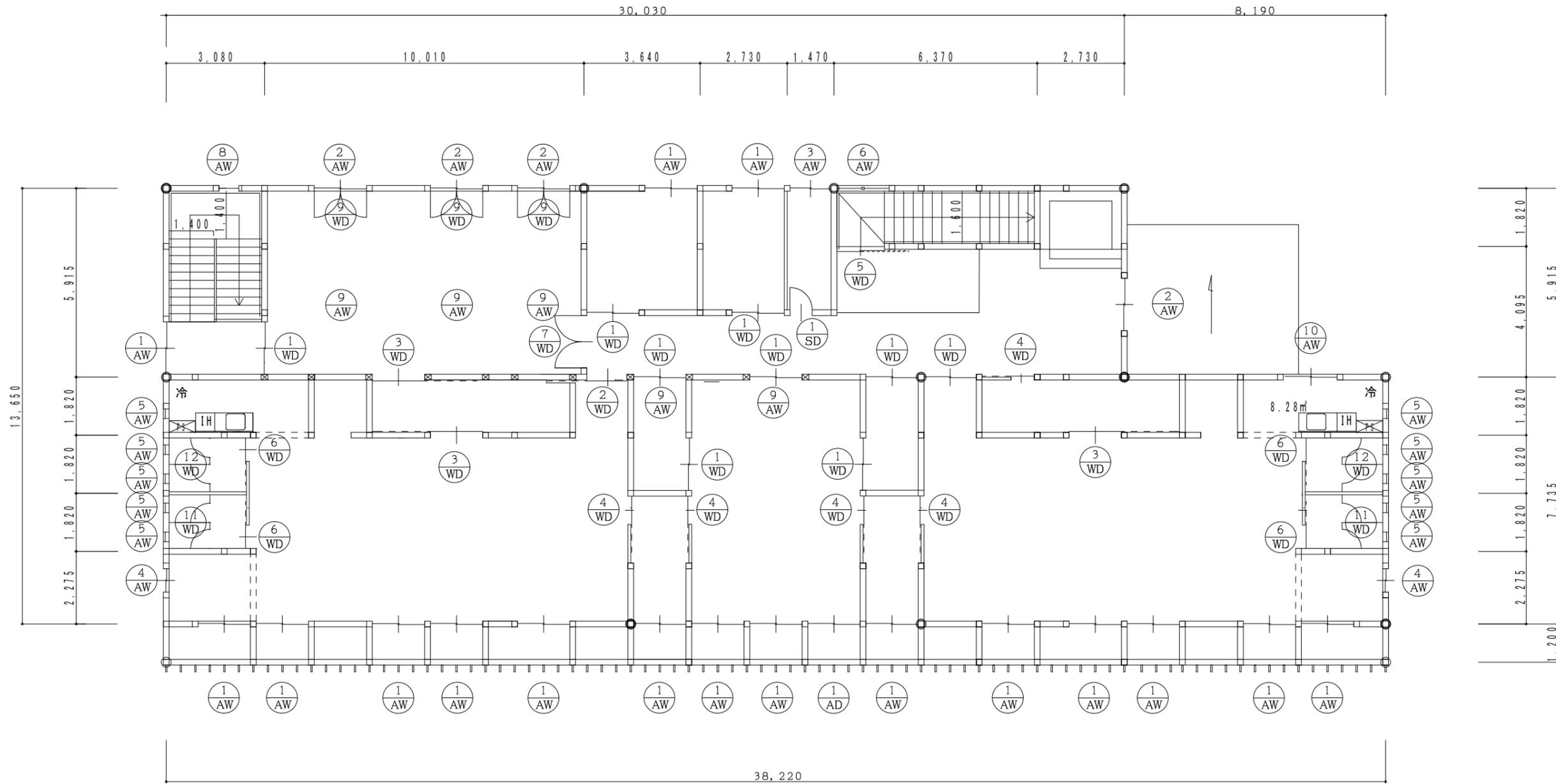
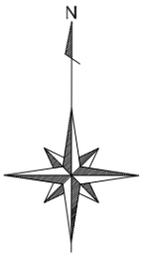
訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	1階平面詳細図-2	図面番号	A-30
縮尺	1/50	区分	



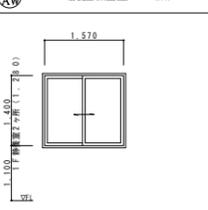
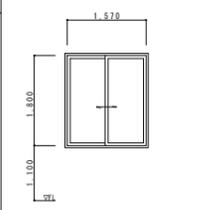
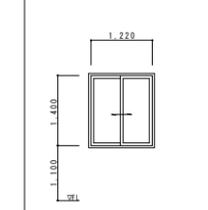
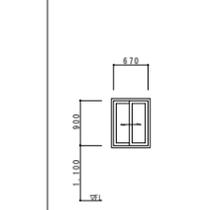
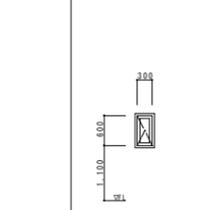
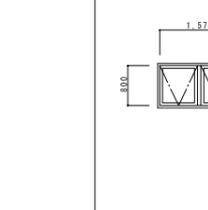
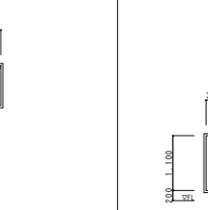
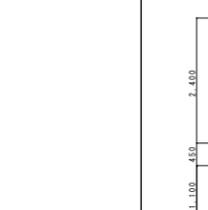
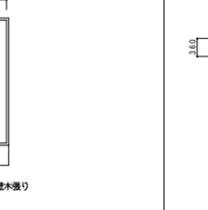
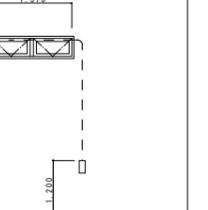
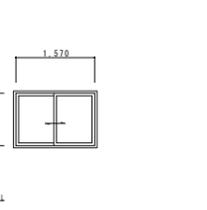
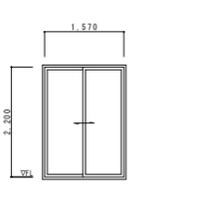
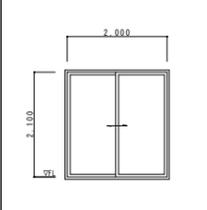
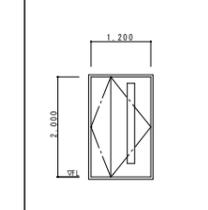
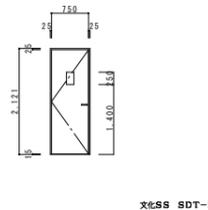
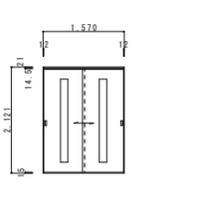
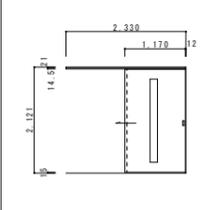
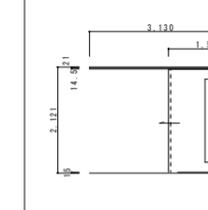
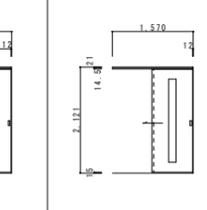
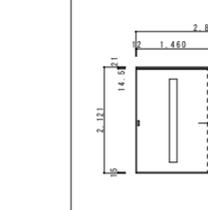
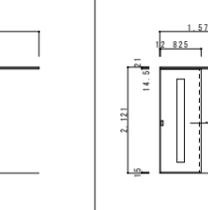
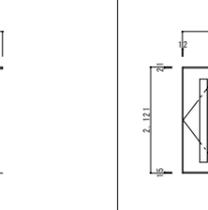
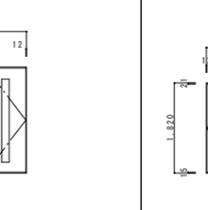
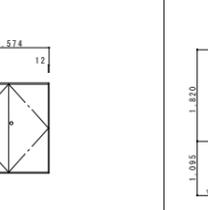
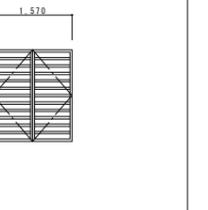
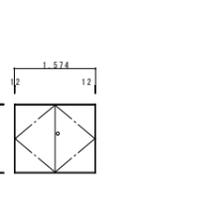
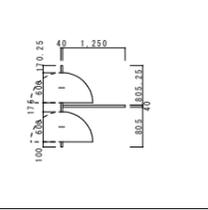
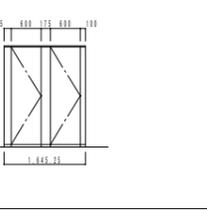
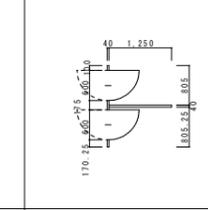
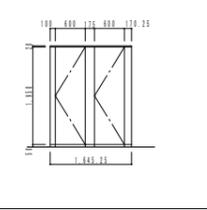




訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

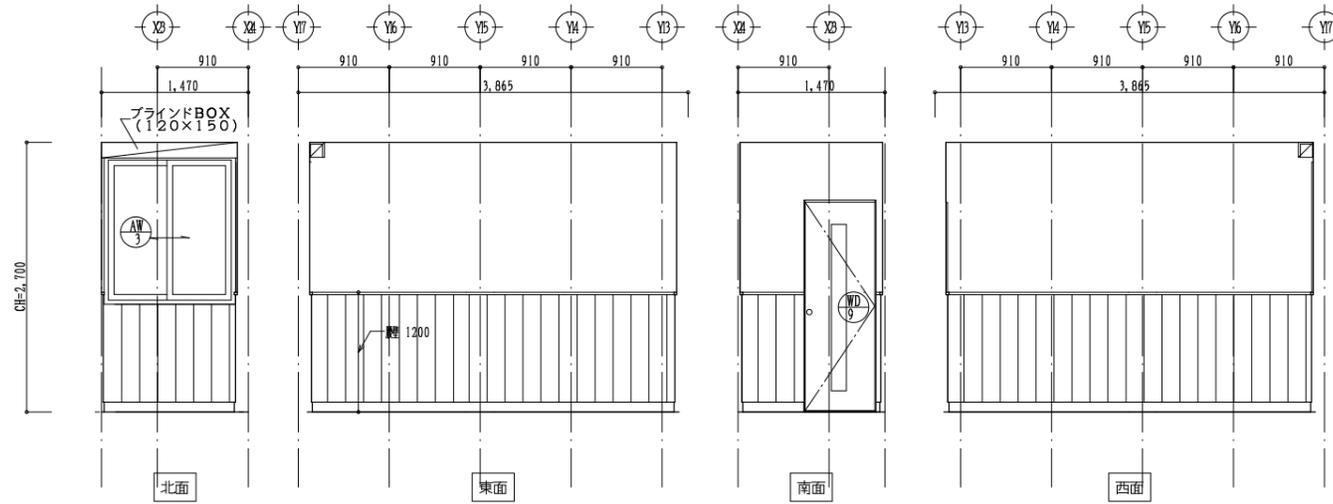
第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	2階建具キープラン	図面番号	A-33
縮尺	1/100	区分	

建具表-1		1 AW 保育室・その他 27ヶ所	2 AW 多目的ホール 2階式開放ホール 7ヶ所	3 AW クールデック・ワン室 保嬰室兼 2ヶ所	4 AW 畳コーナー 4ヶ所	5 AW キッチン 男子WC・女子WC 20ヶ所	6 AW 階段室 1ヶ所	7 AW 階段 1ヶ所	8 AW 階段 1ヶ所	9 AW 2階多目的ホール 5ヶ所	10 AW キッチン・階段 3ヶ所
形状・寸法											
形式	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)	樹脂複合新熱アルミサッシ (縦すり出し窓)	新熱アルミサッシ (外側し排煙型)	新熱アルミサッシ (縦めし窓)	新熱アルミサッシ (縦めし窓)	新熱アルミサッシ (外側し排煙型)	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)
見込	BB	BB	BB	BB	BB	BB	BB	BB	BB	BB	BB
金物	付属金物一式 複窓ブラインドW25	付属金物一式 複窓ブラインドW25	付属金物一式 複窓ブラインドW25	付属金物一式 複窓ブラインドW25	付属金物一式 複窓ブラインドW25	付属金物一式	付属金物一式 オペレーター金物	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式 オペレーター金物	付属金物一式 複窓ブラインドW25
硝子	ペアガラスt5+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt5+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt5+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt5+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt5+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt4+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt3+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt3+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt3+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt3+6+内部スクリーンt4	ペアガラスt3+6+内部スクリーンt4
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ
符号・数量	1 AW 保育室1・2 職員室・会議室 6ヶ所	2 AW 風除室・玄関 2ヶ所	3 AW 階段排出口 1ヶ所							10 AW クールデック・ワン室 保嬰室兼 2ヶ所	
形状・寸法											
形式	樹脂複合新熱アルミサッシ (引違い)	フロントアルミサッシ (引違い)	アルミドア (縦開き)							片開き樹脂ドア (ロックカール入り)	
見込	BB	70	70							40 枠巾100	
金物	付属金物一式 複窓ブラインドW35	付属金物一式 カーテン	付属金物一式 シリンダー錠 ドアチェック ステン下枠							付属金物一式 ステン下枠 レバーハンドル錠 ドアチェック 戸当り	
硝子	ペアガラスt5+6+内部スクリーンt4	透明強化ガラスt6	透明強化ガラスt4							透明ガラスt10	
仕上	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ								
符号・数量	1 WD 各室入口 1ヶ所	2 WD 保育室1・役員室3 1階多目的階段 3ヶ所	3 WD 倉庫 (保育室・ホール兼用) 6ヶ所	4 WD 野営室兼相談室 倉庫 (保育室・ホール兼用) 10ヶ所	5 WD 2階階段 1ヶ所	6 WD 男子WC・女子WC 8ヶ所	7 WD 多目的ホール 2ヶ所	8 WD 階段下収納 1ヶ所	9 WD 多目的ホール 6ヶ所	10 WD 内部階段下収納 1ヶ所	
形状・寸法											
形式	引違い上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片引き上吊りフラッシュ戸	片開き縦格子窓 (45×36φ14B)	片開きフラッシュ戸
見込	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	36
金物	付属金物一式 シリンダー錠	付属金物一式 錠錠	付属金物一式 錠錠	付属金物一式 錠錠	付属金物一式 錠錠	付属金物一式	付属金物一式 木製取手 ステン丁番 ドアチェック 戸当り	付属金物一式 ドアロック 丁番 フランス差し 戸当り	付属金物一式 ドアロック 丁番 フランス差し 戸当り	取手 ステン丁番 フランス差し	付属金物一式 ドアロック 丁番 フランス差し 戸当り
硝子	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	乳白アクリル板t3	-	-
仕上	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	プリント合板t4	木板 OSV	プリント合板t4
符号・数量	1 WD 男子WC トイレブース 4ヶ所		2 WD 女子WC トイレブース 4ヶ所								
形状・寸法											
形式	トイレブース		トイレブース								
見込	40		40								
金物	付属金物一式 非常時ドア駆動金物 ステン支柱 ステン巾木		付属金物一式 非常時ドア駆動金物 ステン支柱 ステン巾木								
硝子	-		-								
仕上	ポリ化粧合板t4		ポリ化粧合板t4								

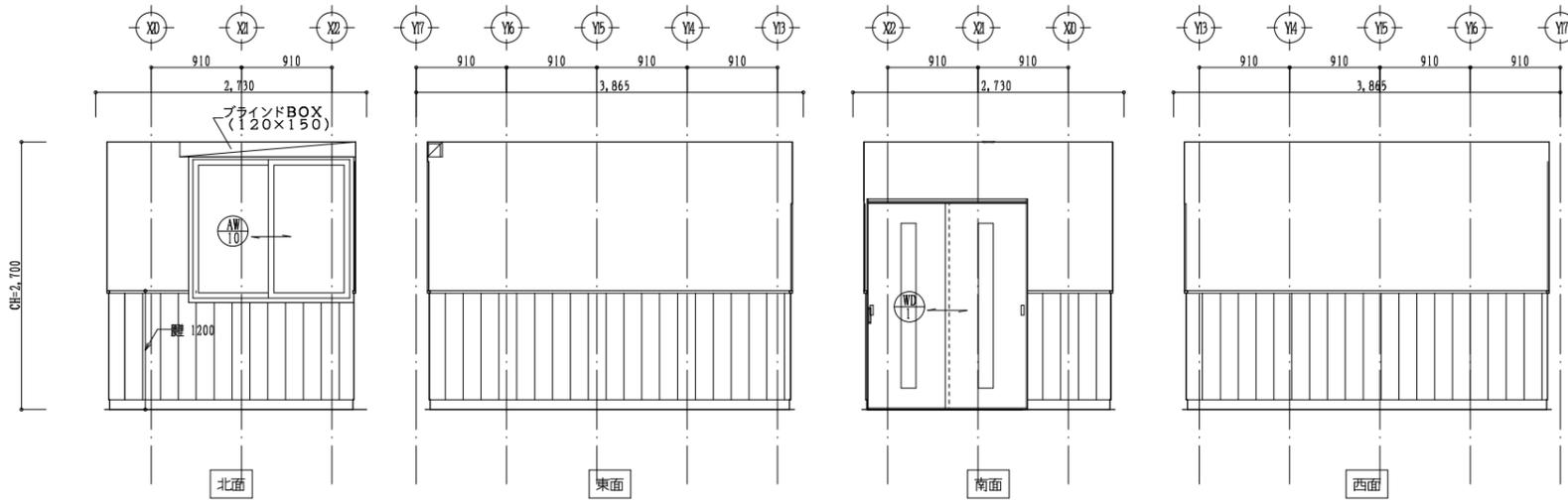


部屋名	1・2Fクールダ ウン室兼楽器演奏室
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板 t12
壁	ビ ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鏡面産杉板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビ ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



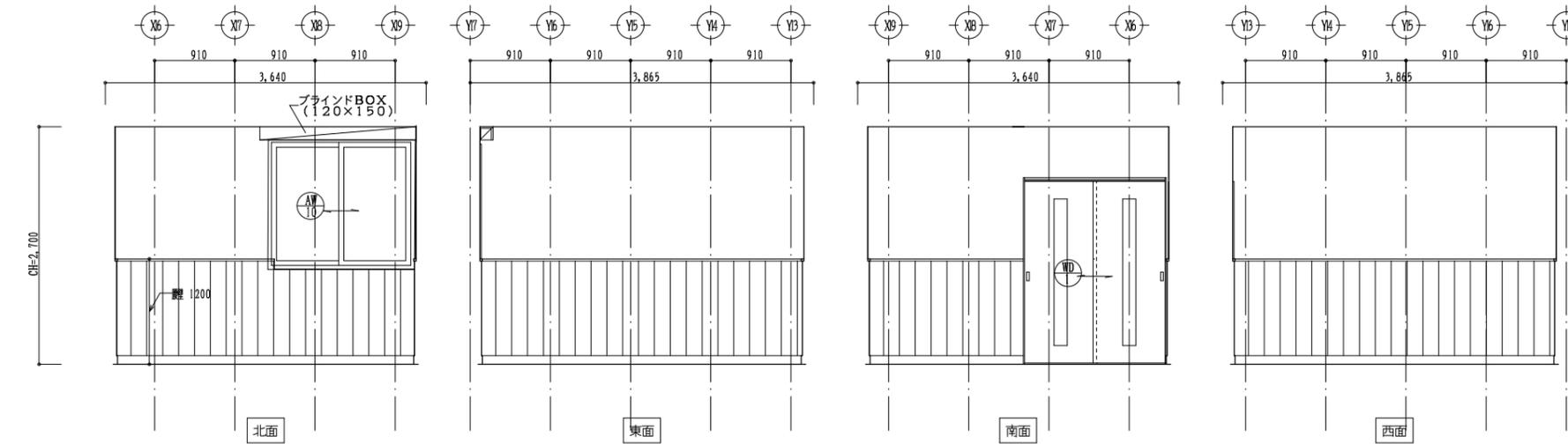
1階 クールダ ウン室兼楽器演奏室

部屋名	1・2F 相談室
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板 t12
壁	ビ ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鏡面産杉板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビ ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



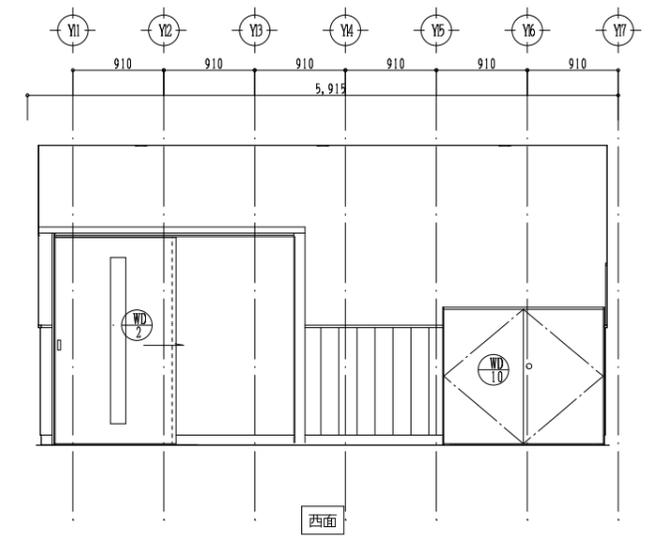
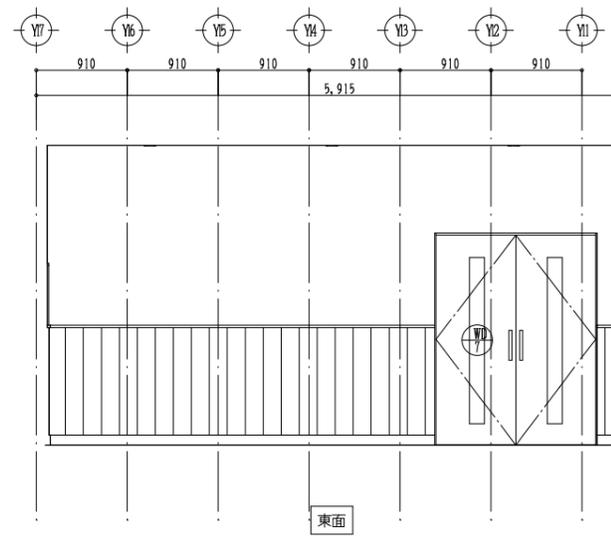
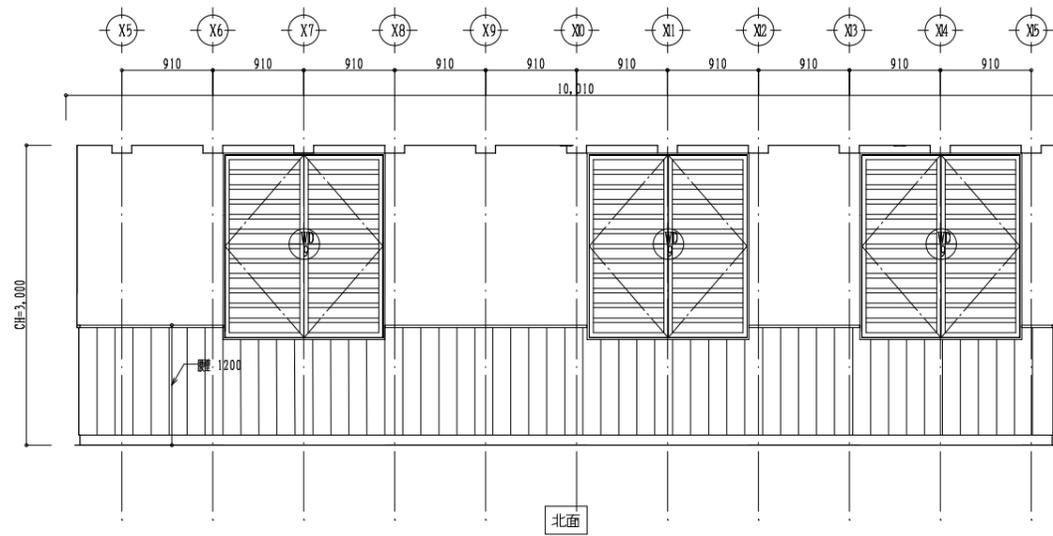
1階 相談室

部屋名	1・2F 職員休憩室兼更衣室
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装 (一部琉球畳)
床下地	構造用合板 t12
壁	ビ ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鏡面産杉板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビ ニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

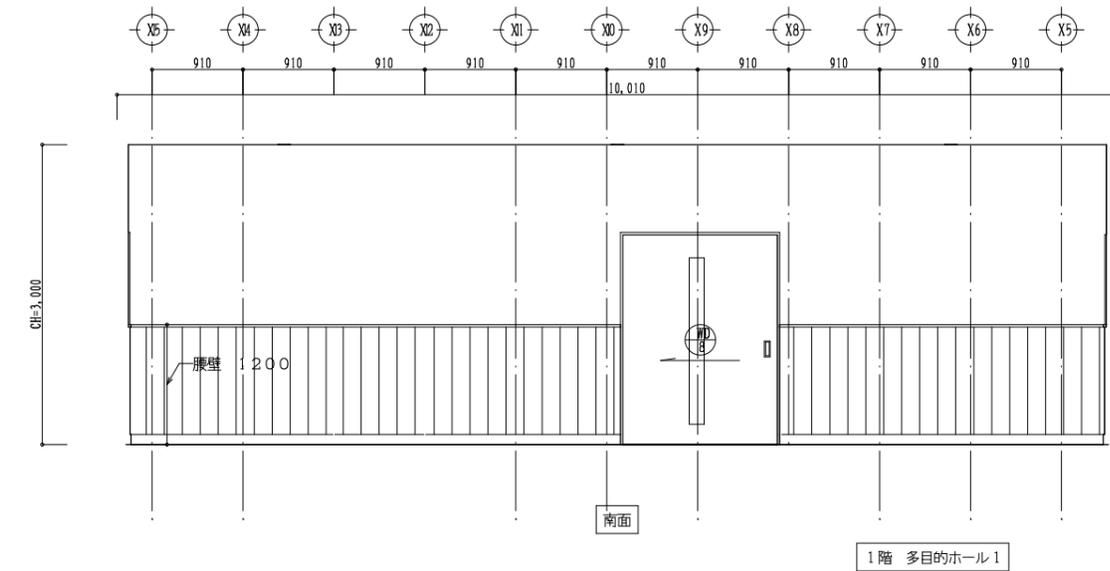


1階 職員休憩室兼更衣室 1

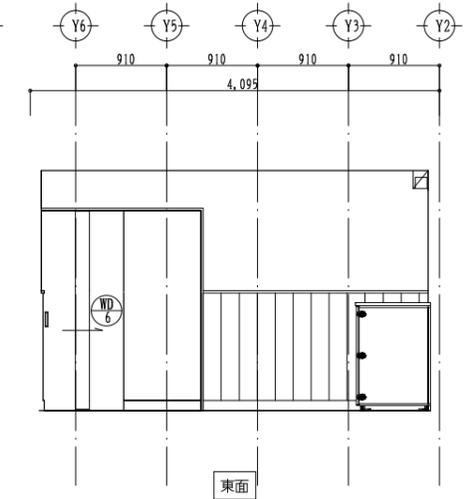
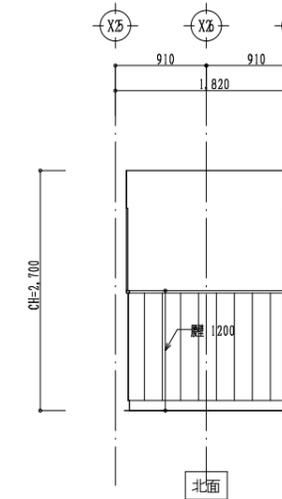
部屋名	1F 多目的ホール1
床	屋内スポーツ用弾性シートt6.5
床下地	構造用合板t12+構造用合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5
腰壁	鶴岡産杉板t18 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



1階 多目的ホール1

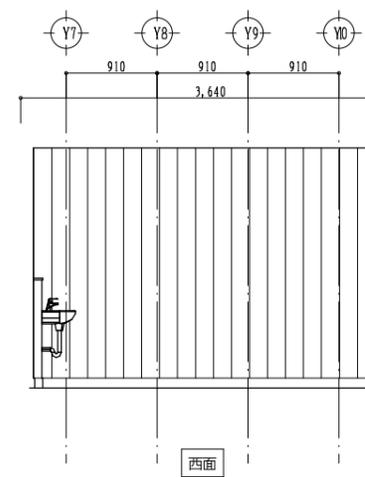
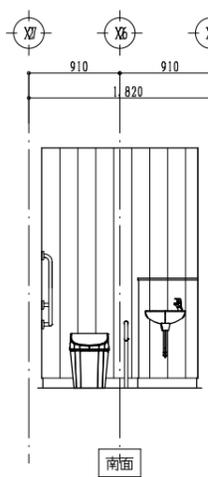
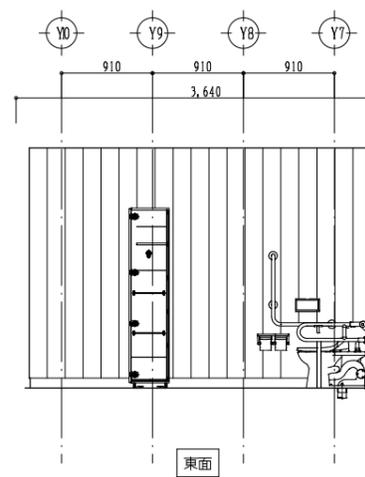
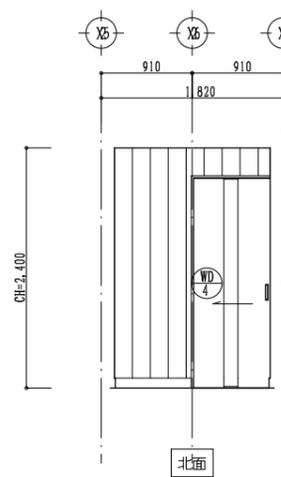


部屋名	1F 静養室兼相談室
床	カバ無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板t12
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5
腰壁	鶴岡産杉板t18 OSV 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

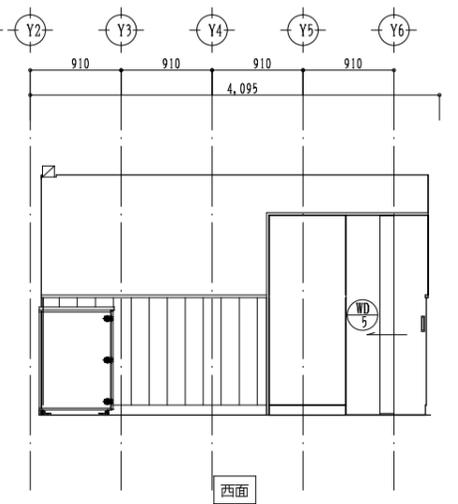
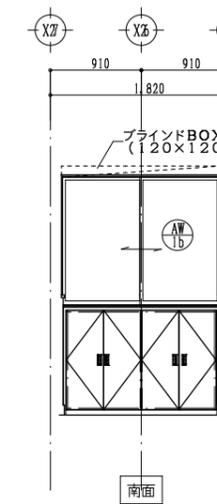


1階 静養室兼相談室

部屋名	1F 多目的WC
床	長尺塩ビシートt2.5
床下地	構造用合板t12+構造用合板t12
壁	鶴岡産杉板t18 OSV 石膏ボードt12.5+t9.5
腰壁	鶴岡産杉板t18 OSV 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

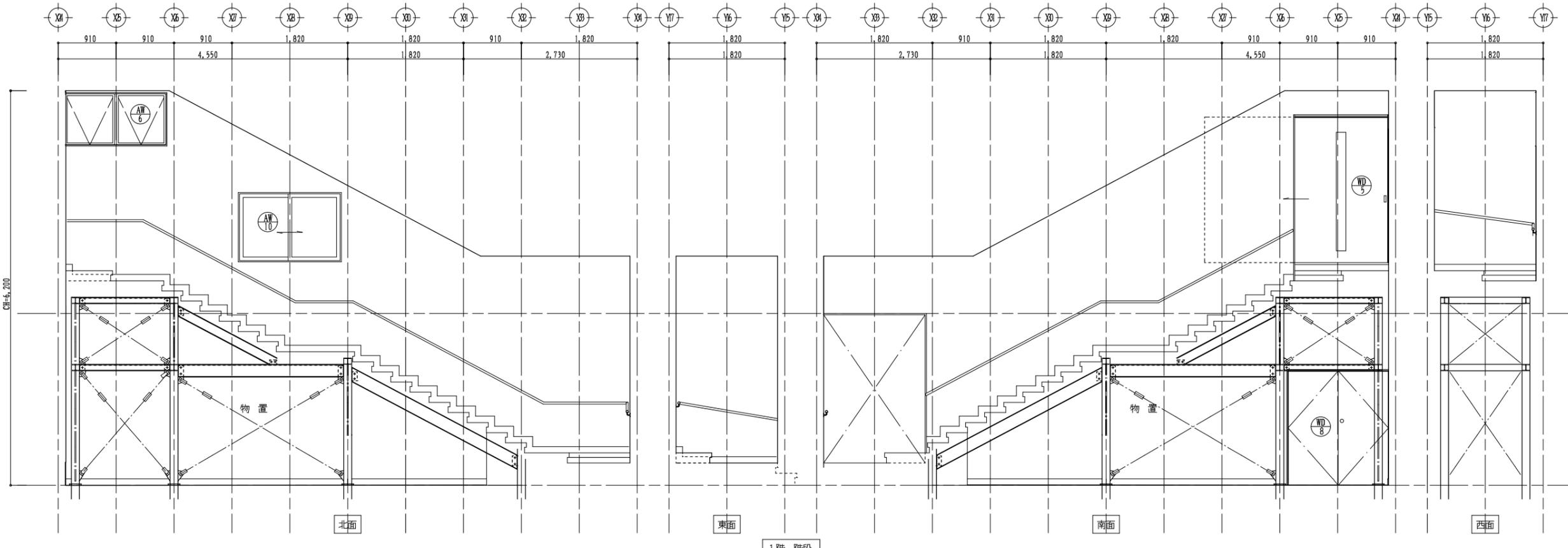


1階 多目的WC

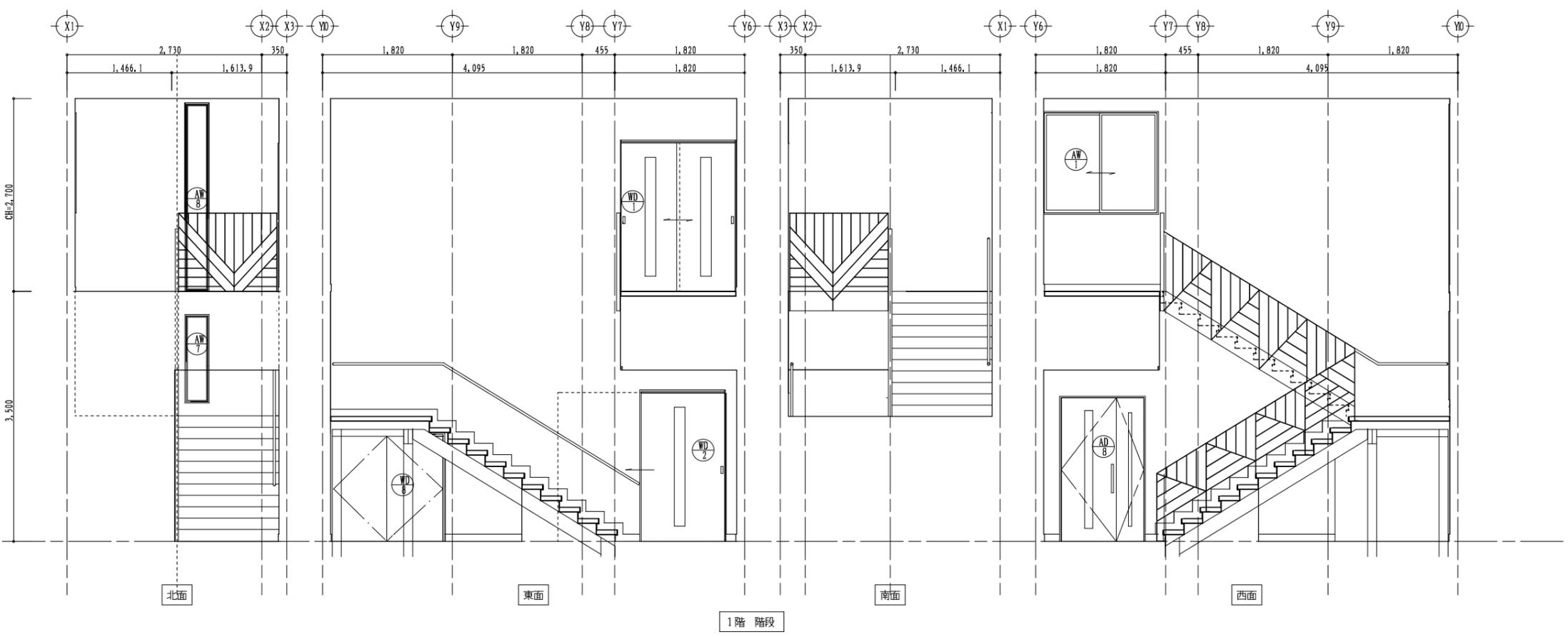


南面

西面

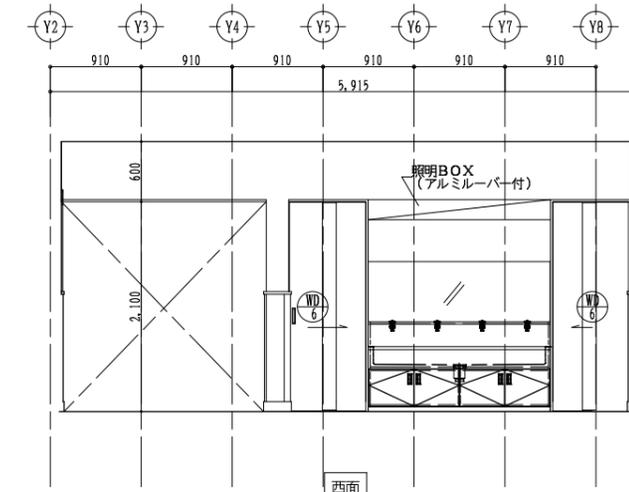
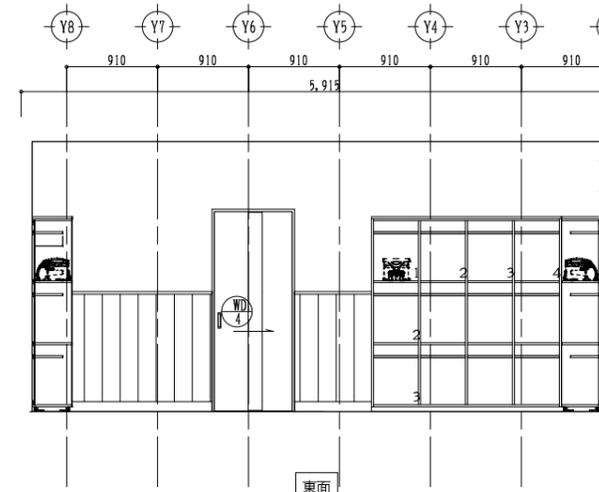
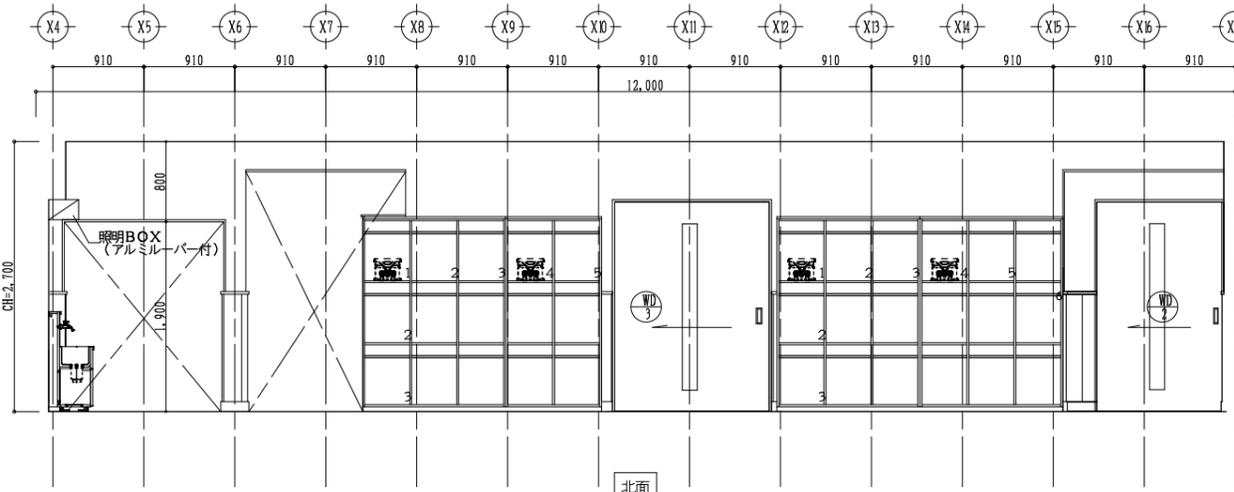


部屋名	直 階段 1
床	ワイヤメッシュ3.2Φ100角入り ノンスリップシートt2.5張り
床下地	鉄板t6.5+モルタルt60
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

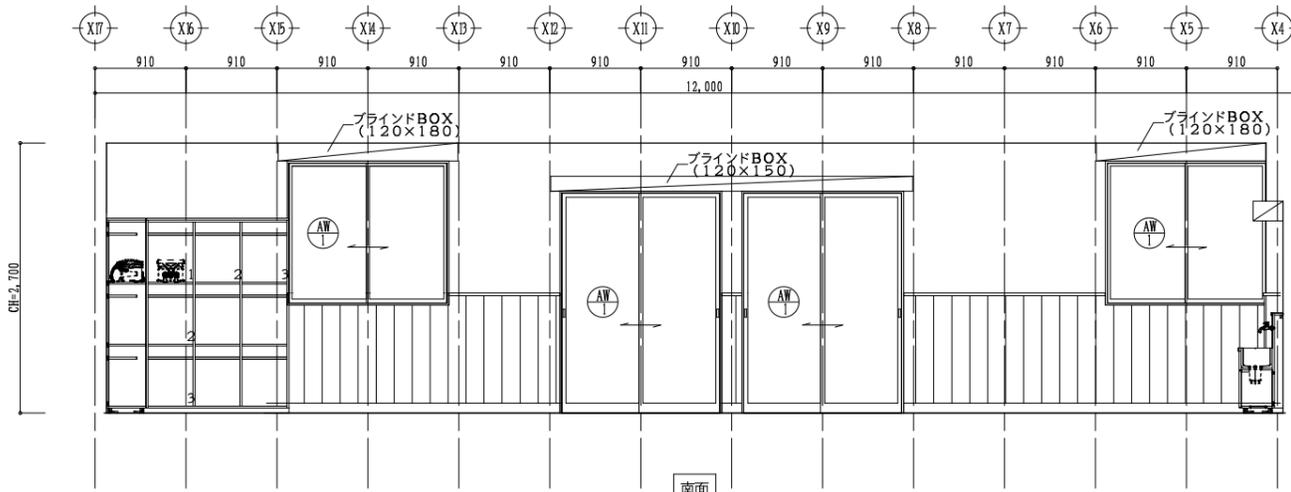


部屋名	折返し 階段 2
床	ワイヤメッシュ3.2Φ100角入り ノンスリップシートt2.5張り
床下地	鉄板t6.5+モルタルt60
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

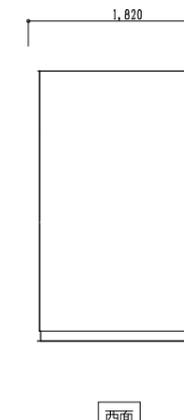
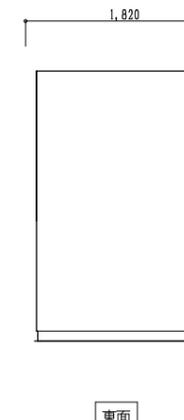
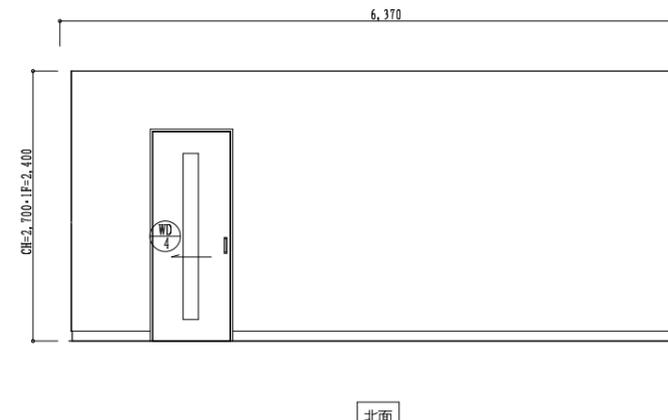
部屋名	1F 保育室1 (保育室2)
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板 t12
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	珪藻土珪砂板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



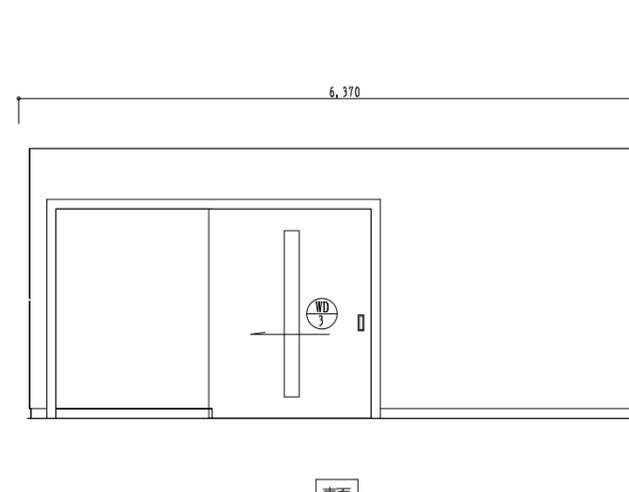
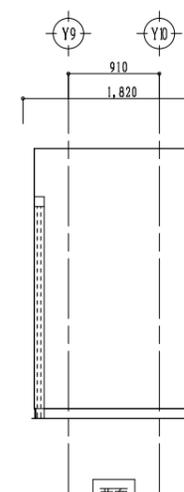
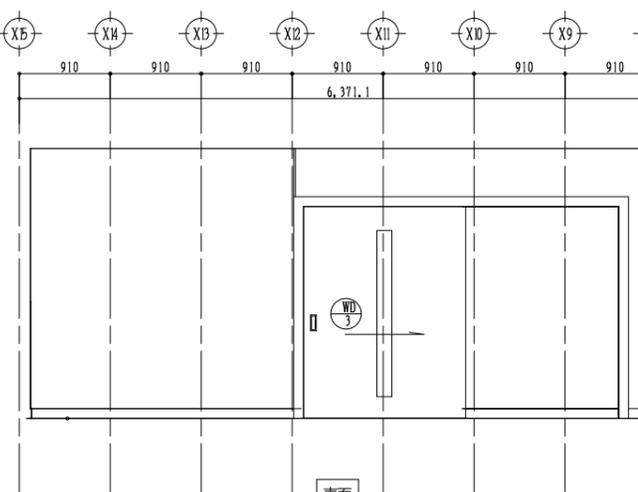
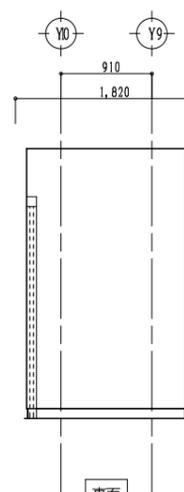
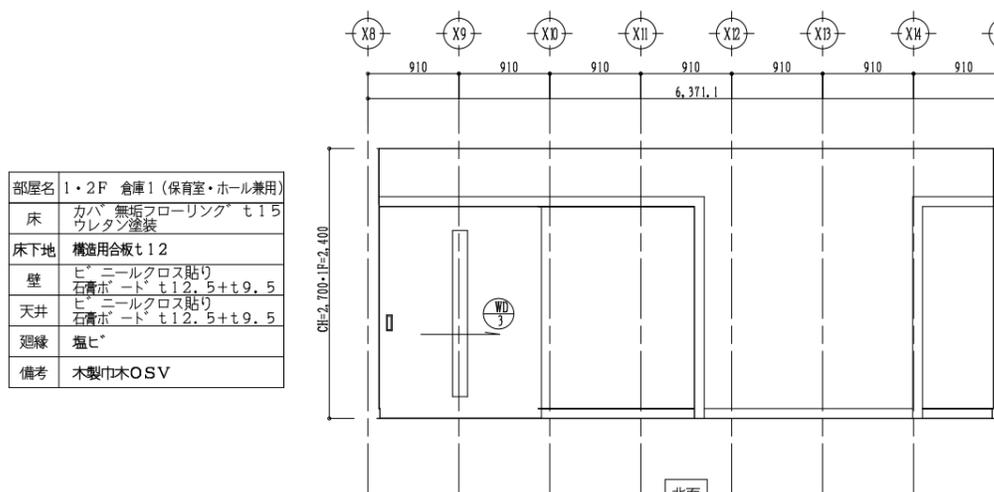
1階 保育室1



部屋名	1・2F 倉庫2 (保育室・ホール兼用)
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板 t12
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	珪藻土珪砂板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



倉庫2 (保育室・ホール兼用)

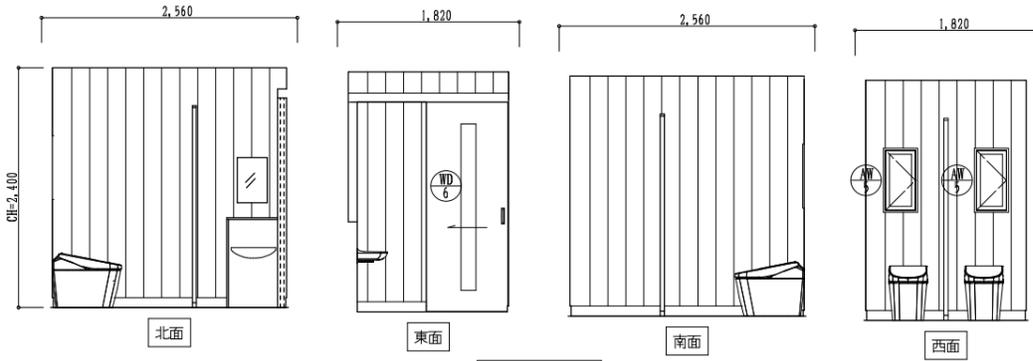


倉庫1 (保育室・ホール兼用)

倉庫2 (保育室・ホール兼用)

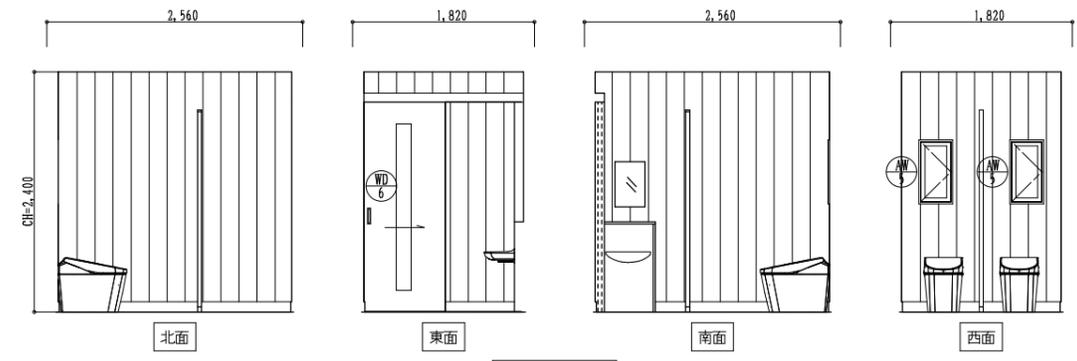
部屋名	1・2F 倉庫1 (保育室・ホール兼用)
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板 t12
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

部屋名	1・2F 男子WC
床	長尺塩ビシートt2.5
床下地	1F 構造用合板t12+構造用合板t12 2F 構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



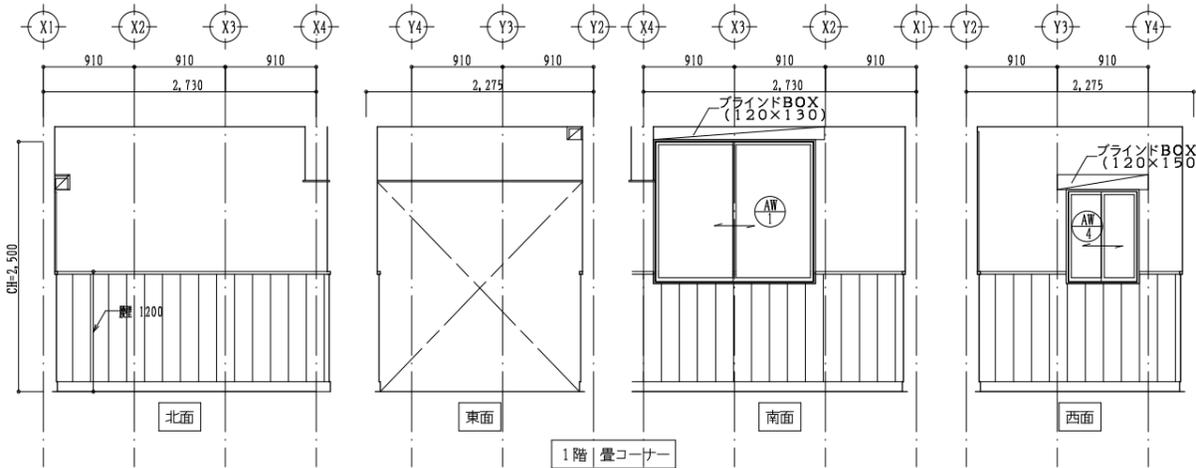
1階 男子WC

部屋名	1・2F 女子WC
床	長尺塩ビシートt2.5 構造用合板t12
床下地	1F 構造用合板t12+構造用合板t12 2F 構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



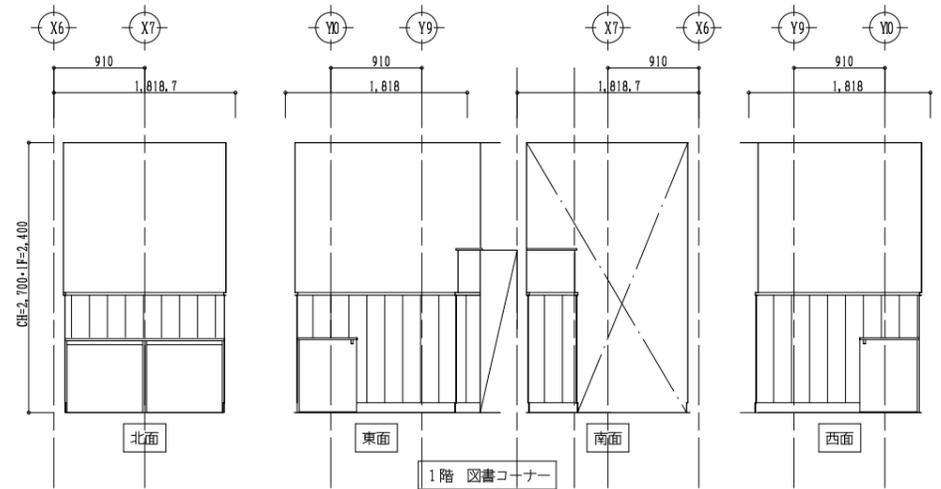
1階 女子WC

部屋名	1・2F 畳コーナー
床	琉球畳敷t52(敷居カバ材 45×52 ウレタン塗装)
床下地	1F 構造用合板t12 2F 構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
腰壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



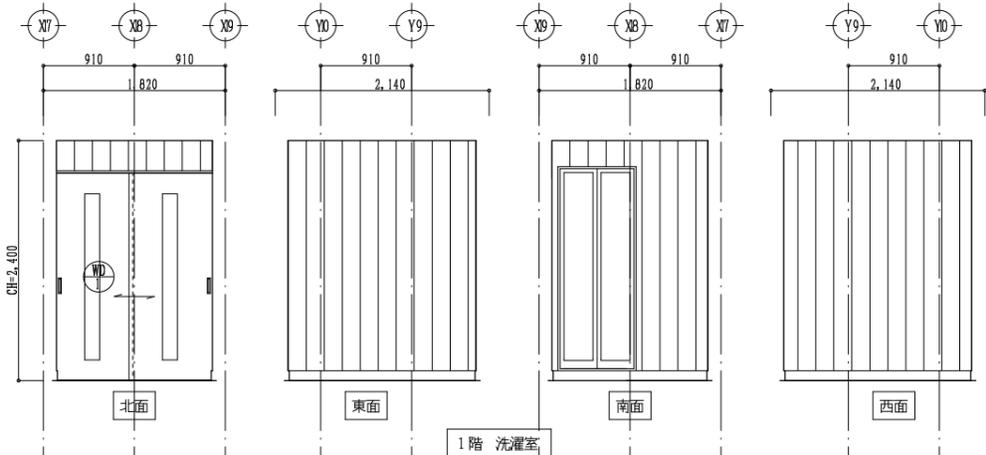
1階 畳コーナー

部屋名	1・2F 図書コーナー
床	カバ無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	1F 構造用合板t12 2F 構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
腰壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



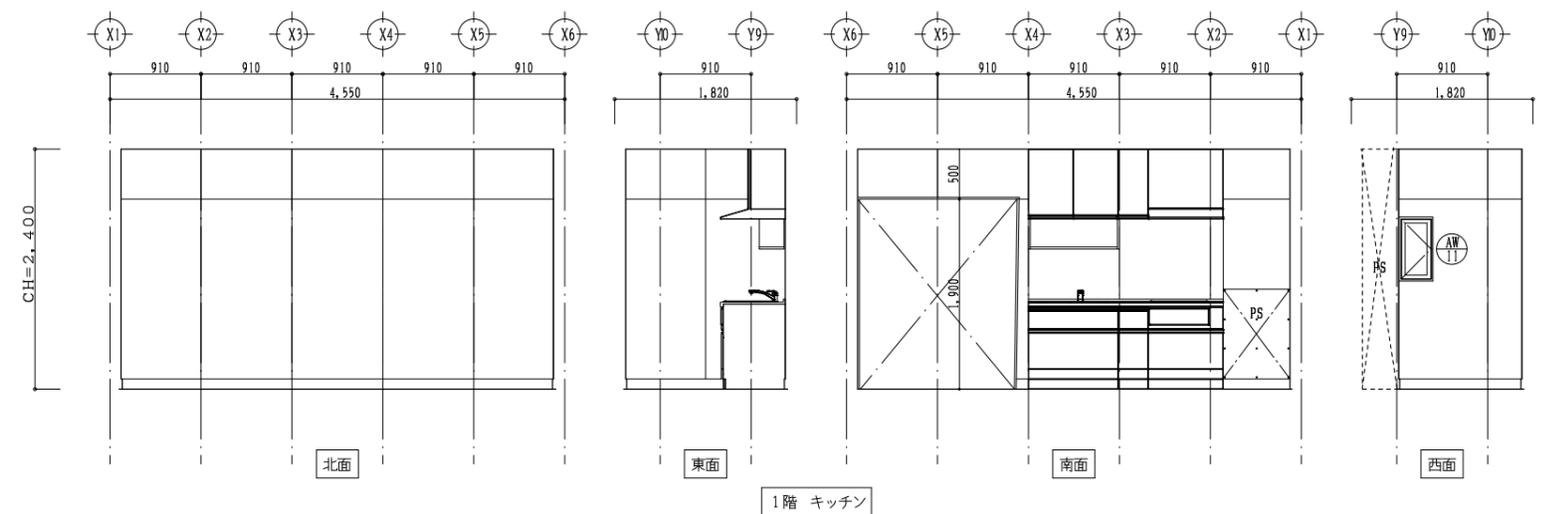
1階 図書コーナー

部屋名	1F 洗濯室
床	長尺塩ビシートt2.5
床下地	構造用合板t12+構造用合板t12
壁	珪藻土t18 石膏ボードt12.5+t9.5
天井	石膏ボードt12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

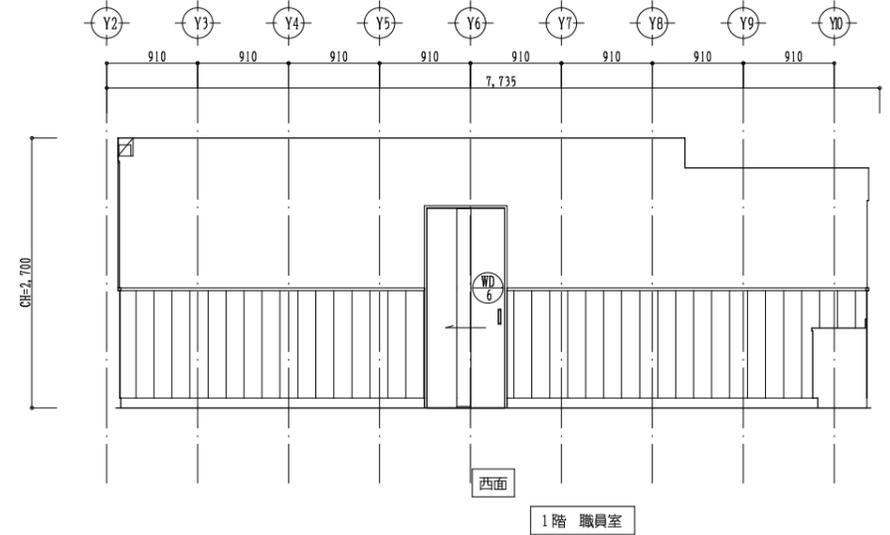
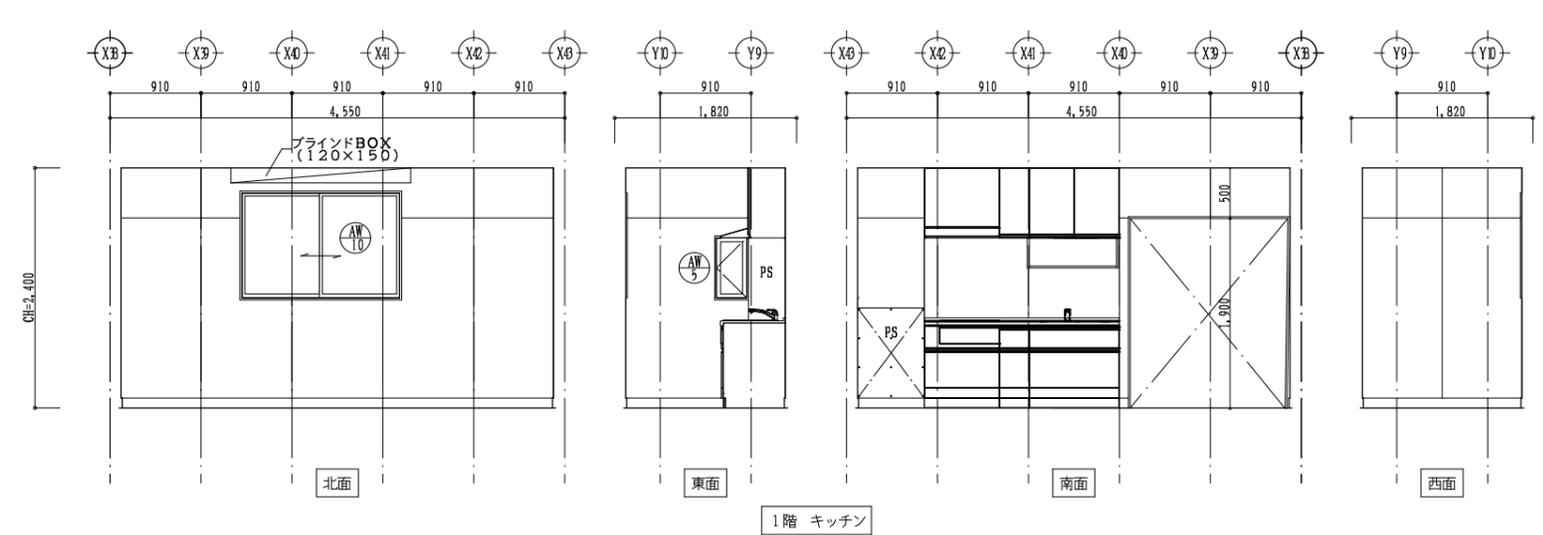


1階 洗濯室

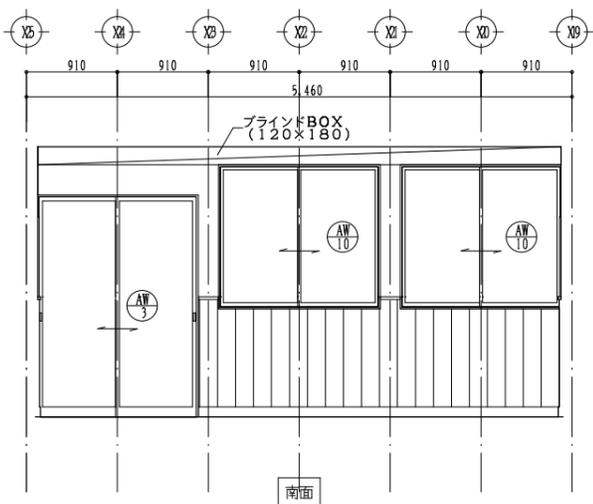
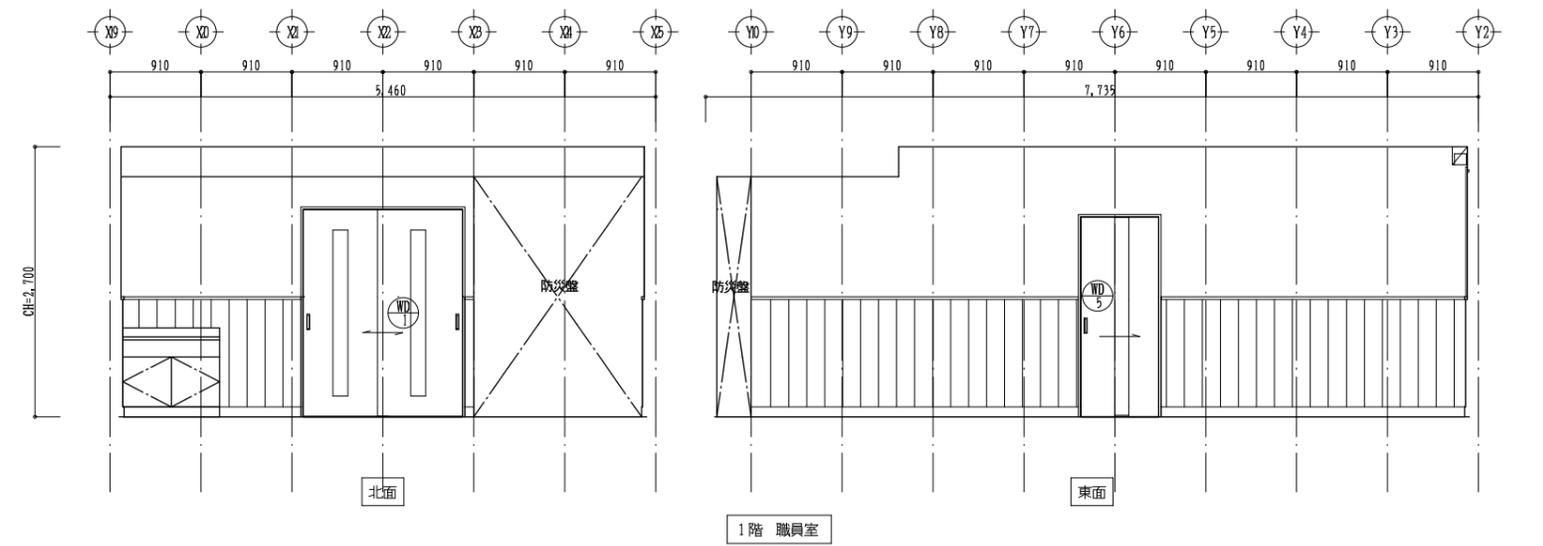
部屋名	1F キッチン 1
床	長尺塩ビシート t2.5
床下地	構造用合板 t12+構造用合板 t12
壁	キッチンパネル t6.0 貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	キッチンパネル t6.0 貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木 OSV



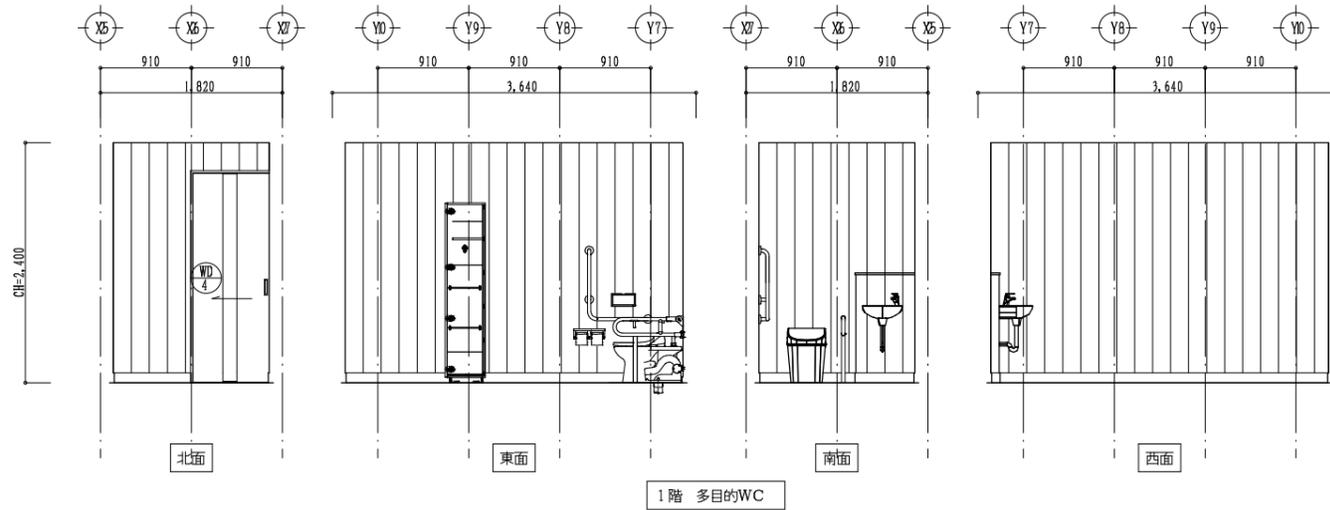
部屋名	1F キッチン 2
床	長尺塩ビシート t2.5
床下地	構造用合板 t12+構造用合板 t12
壁	キッチンパネル t6.0 貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	キッチンパネル t6.0 貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木 OSV



部屋名	1F 職員室
床	フリーアクセスフロア カバ無垢フローリング t15
床下地	土間コンクリート
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鏡面珪藻土 t8 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木 OSV

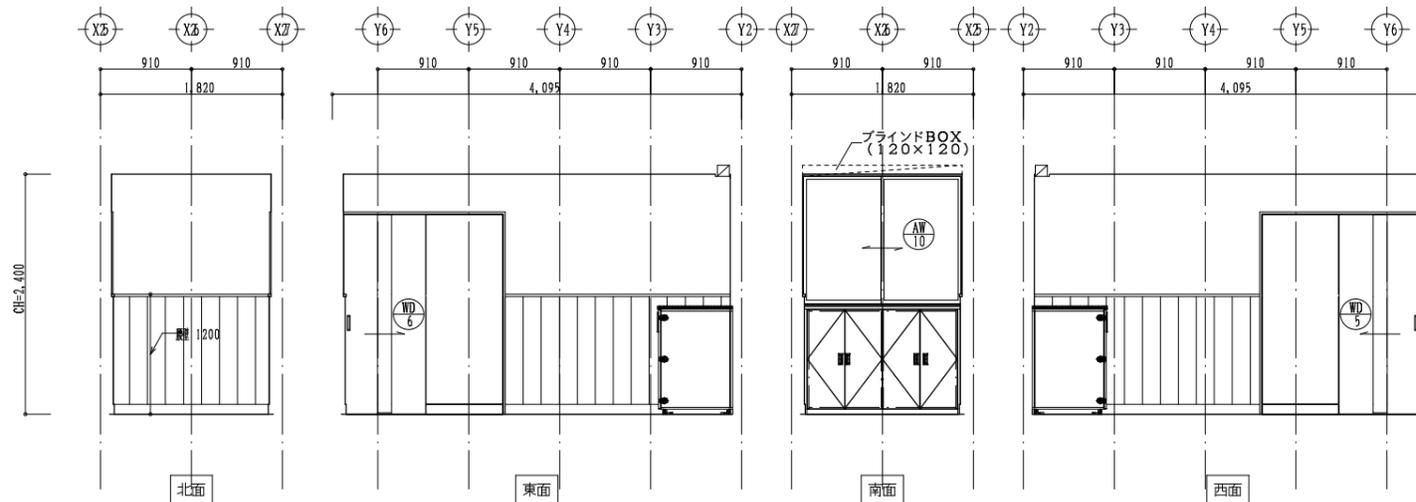


部屋名	1F 多目的WC
床	長尺塩ビシート t2.5
床下地	構造用合板 t12+構造用合板 t12
壁	鶴岡産杉板 t18 OSV 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鶴岡産杉板 t18 OSV 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ヒールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



1階 多目的WC

部屋名	1F 静養室兼相談室
床	カハ'無垢フローリング' t15 ワレタン塗装
床下地	構造用合板 t12
壁	ヒールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鶴岡産杉板 t18 OSV 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ヒールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

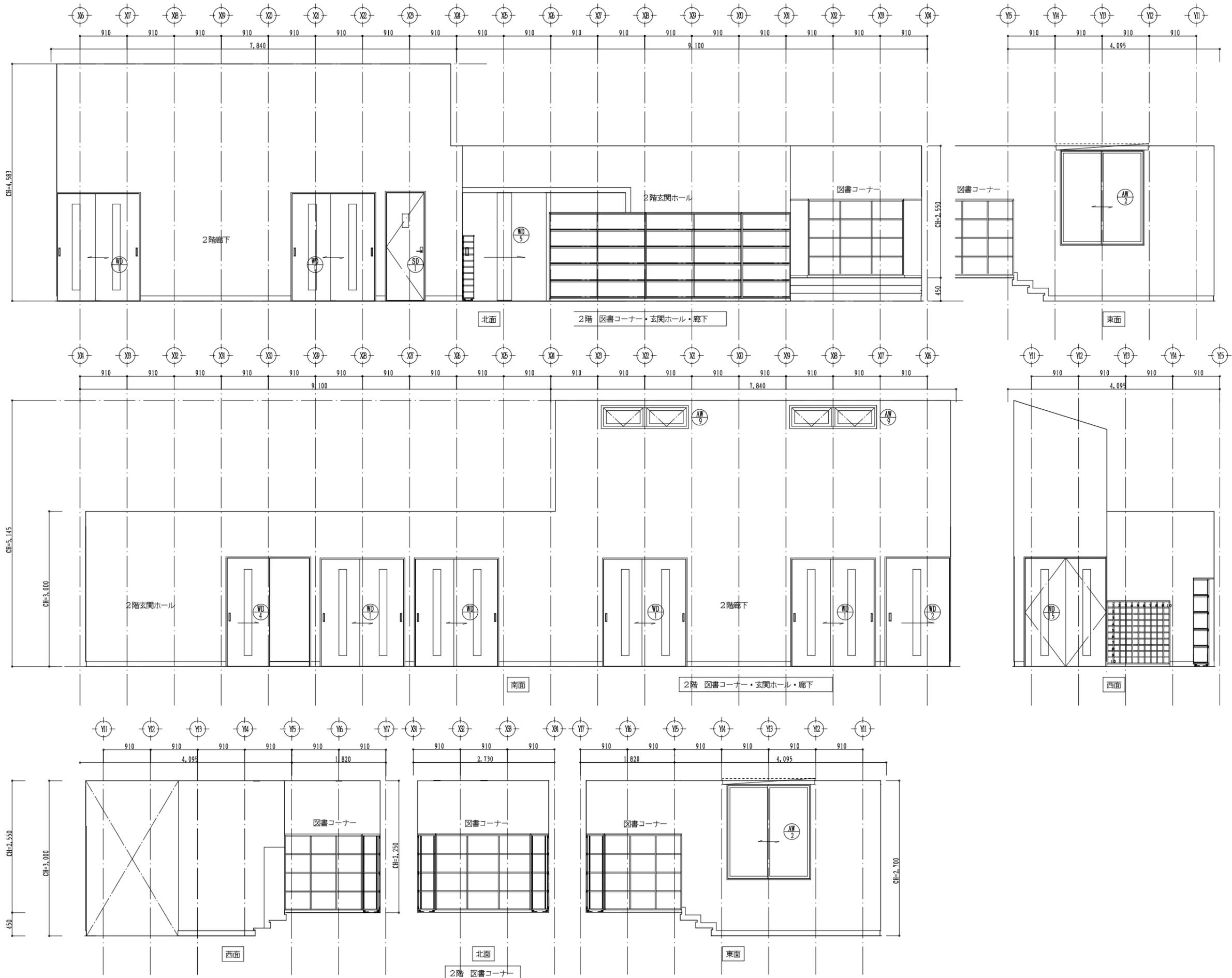


1階 静養室兼相談室

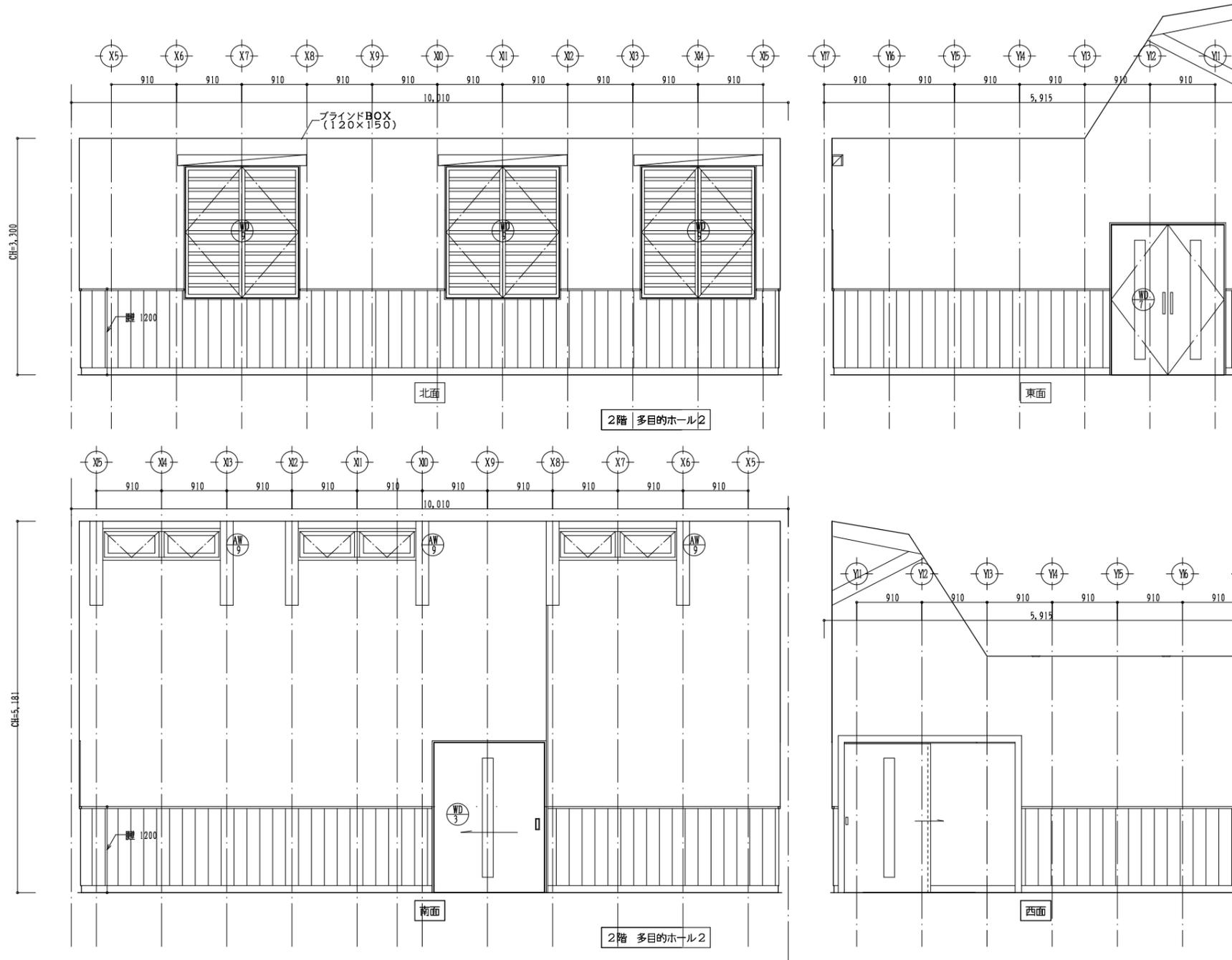
部屋名	2F 玄関ホール
床	長尺塩ビシート張りt2.5
床下地	構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ*
備考	木製巾木

部屋名	2F 廊下
床	カバ 無垢フローリング* t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ*
備考	木製巾木

部屋名	2F 図書コーナー
床	カバ 無垢フローリング* t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ*
備考	木製巾木



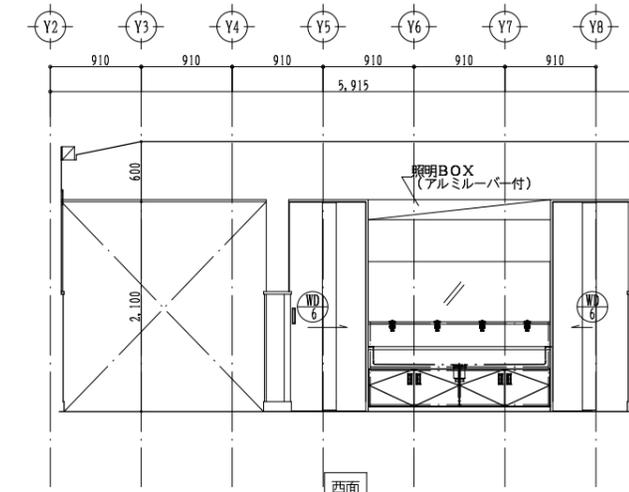
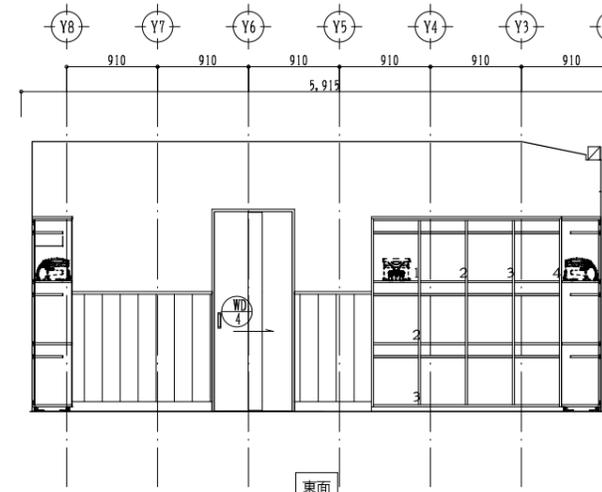
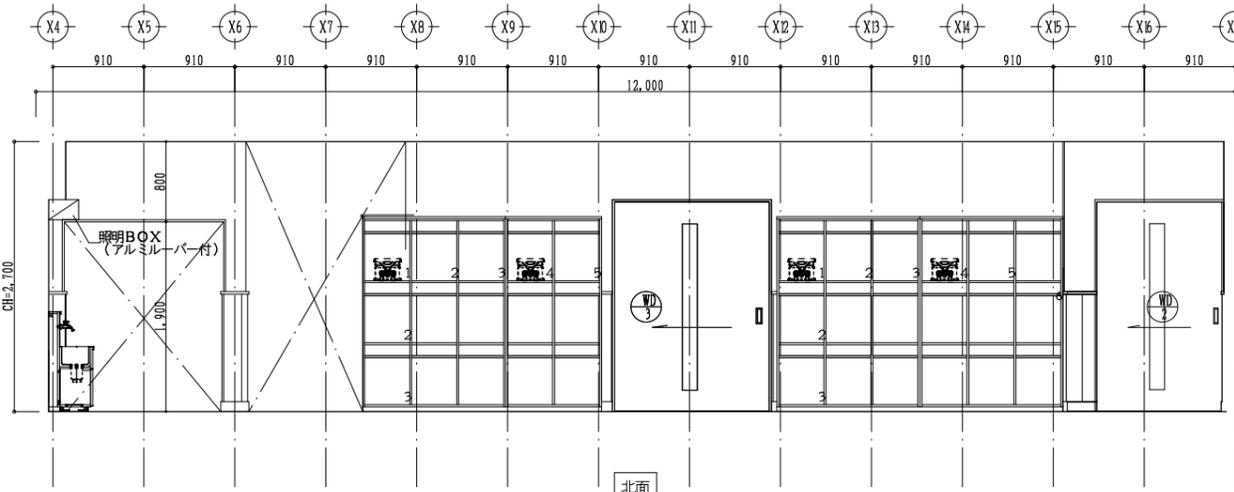
部屋名	2F 多目的ホール2
床	屋内スポーツ用弾性シートt6.5
床下地	構造用合板t15+ユカテックW t7.4+捨張合板t9+構造用合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鏡面産杉板t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製竹木



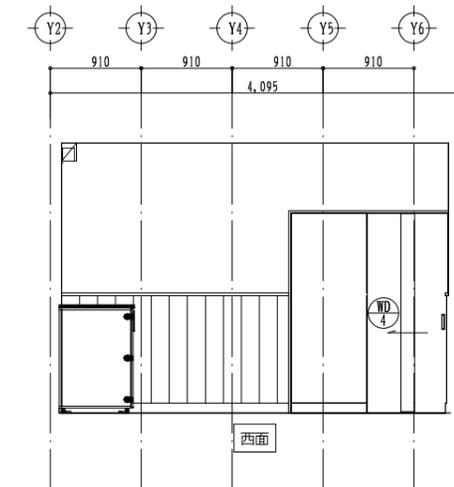
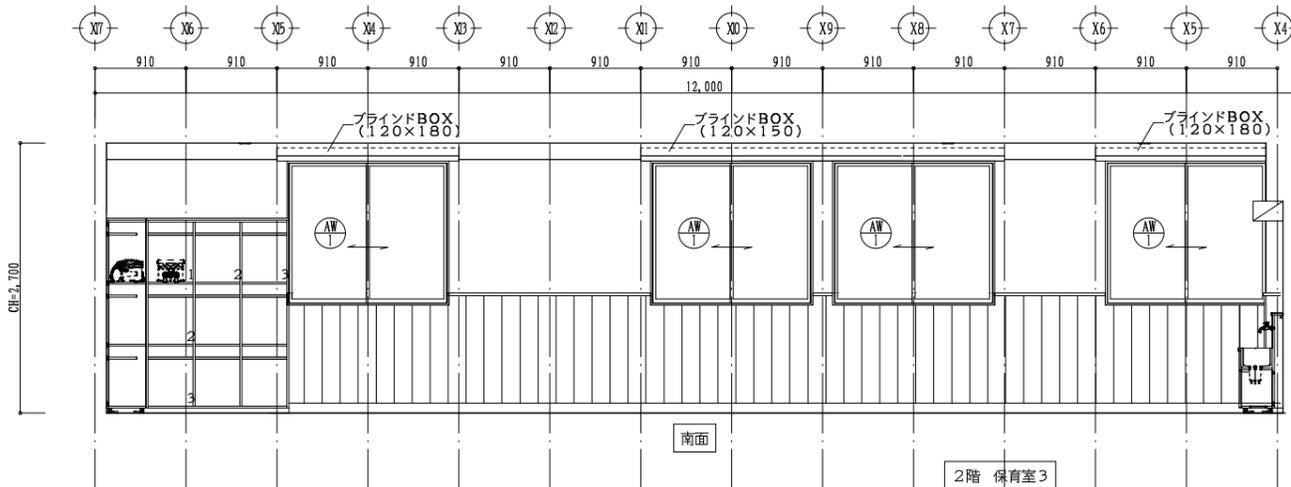
訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

図面内容	展開図10	図面番号	A-44
縮尺	1/50	区分	

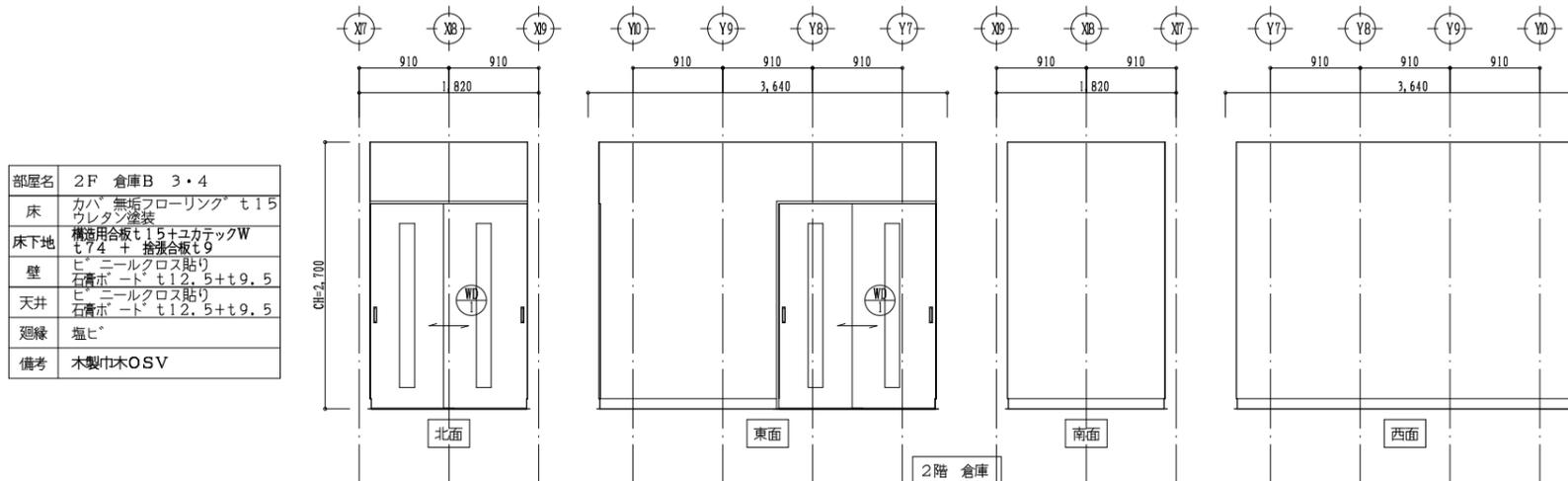
部屋名	2F 保育室3 (保育室4)
床	カバ 無垢フローリング t15 ワレタシ塗装
床下地	構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	珪藻土珪砂板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木



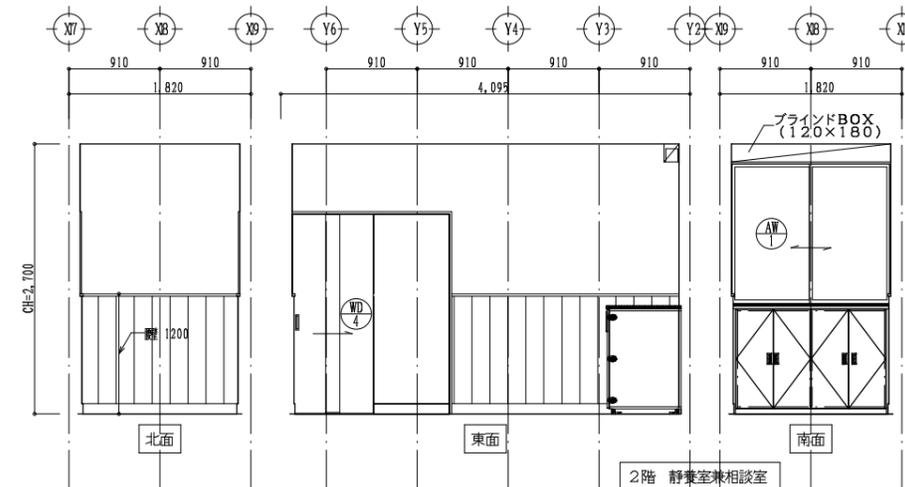
1階 保育室1



2階 保育室3

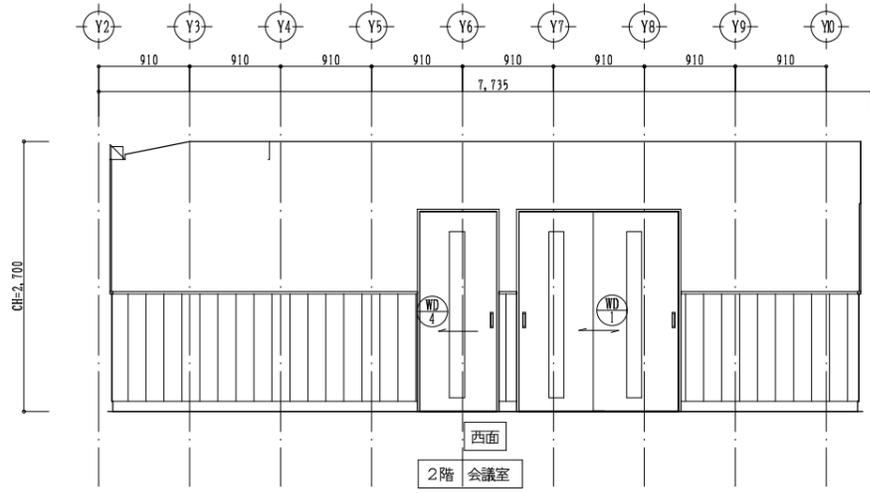
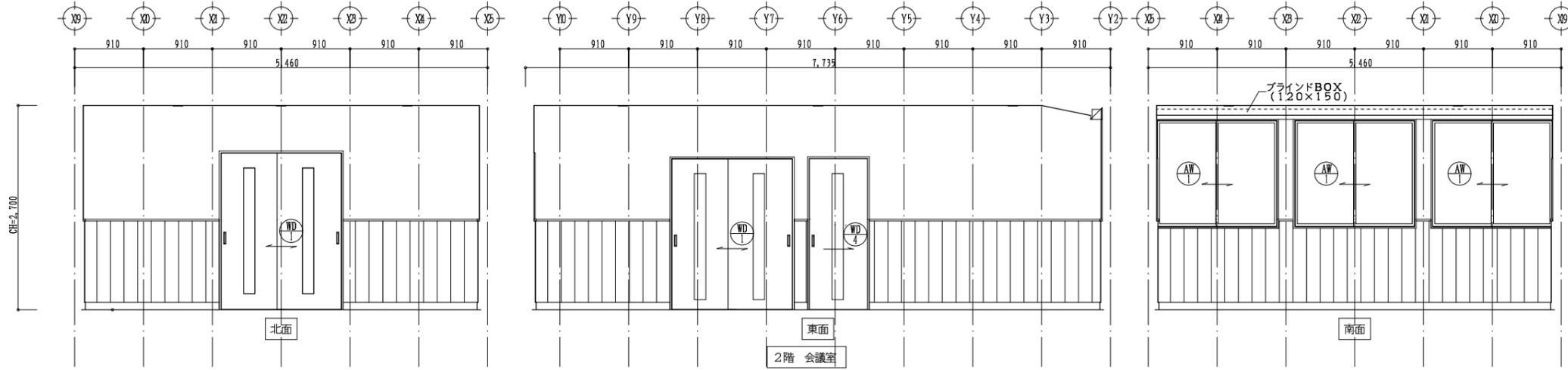


部屋名	2F 静養室兼相談室3
床	カバ 無垢フローリング t15 ワレタシ塗装
床下地	構造用合板t15+ユカテックW t74 + 捨張合板t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	珪藻土珪砂板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV



2階 静養室兼相談室

部屋名	2F 会議室
床	カバ 無垢フローリング t15 ウレタン塗装
床下地	構造用合板 t15+ユカテックW t74 + 捨張合板 t9
壁	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
腰壁	鶴岡産杉板 t18 石膏ボード t12.5+t9.5
天井	ビニールクロス貼り 石膏ボード t12.5+t9.5
廻縁	塩ビ
備考	木製巾木OSV

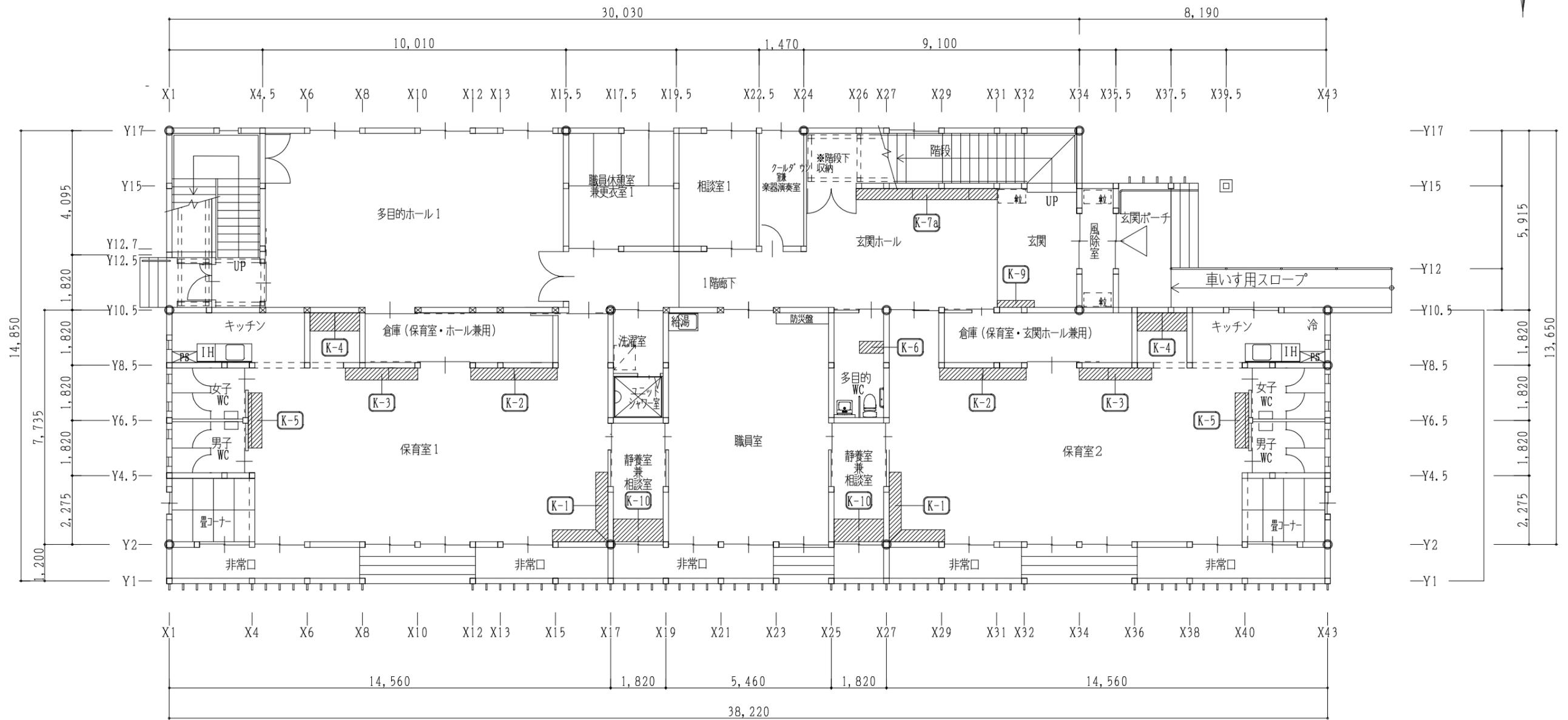
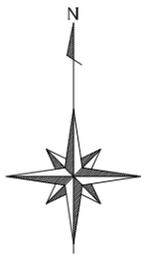


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	_____	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	_____	鶴岡市建設部				
	_____	建築課				
	_____	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	展開図12	図面番号	A-46
縮尺	1/50	区分	

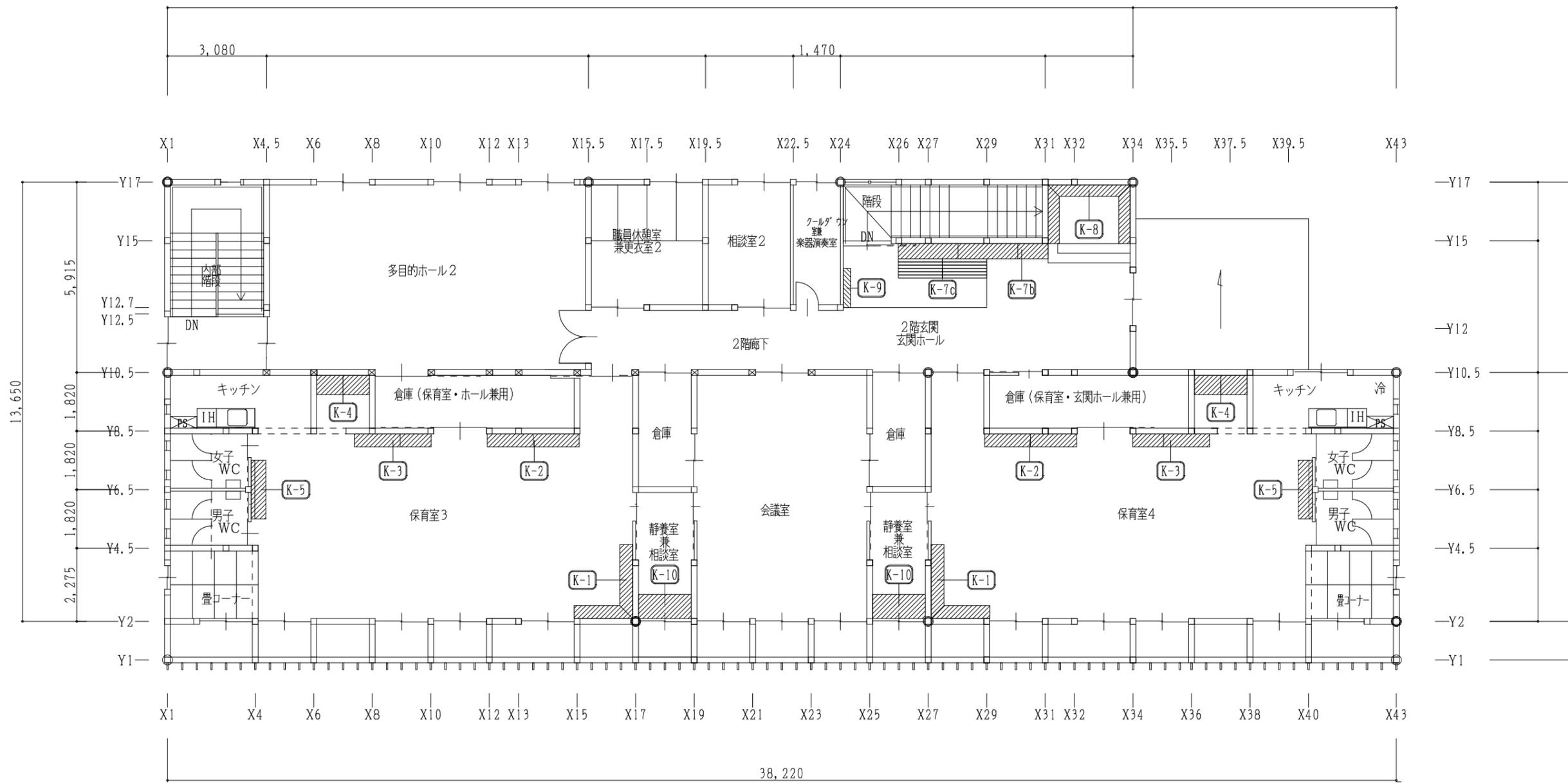


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和田町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正		令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
		鶴岡市建設部				
		建築課				
		設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	1階家具キープラン	図面番号	A-47
縮尺	1/100	区分	



HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和田町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844//FAX0235(23)8867

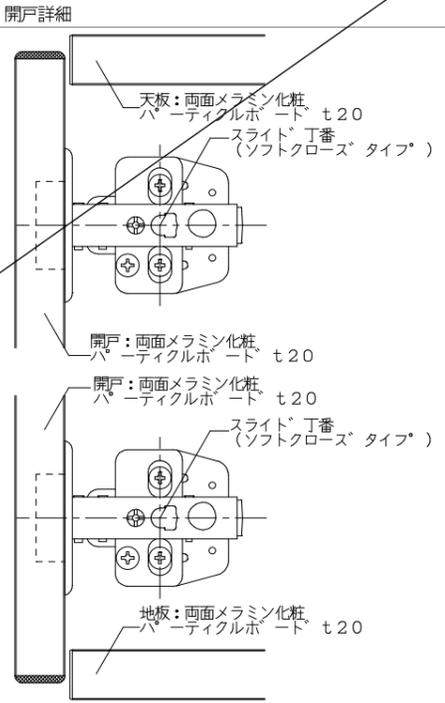
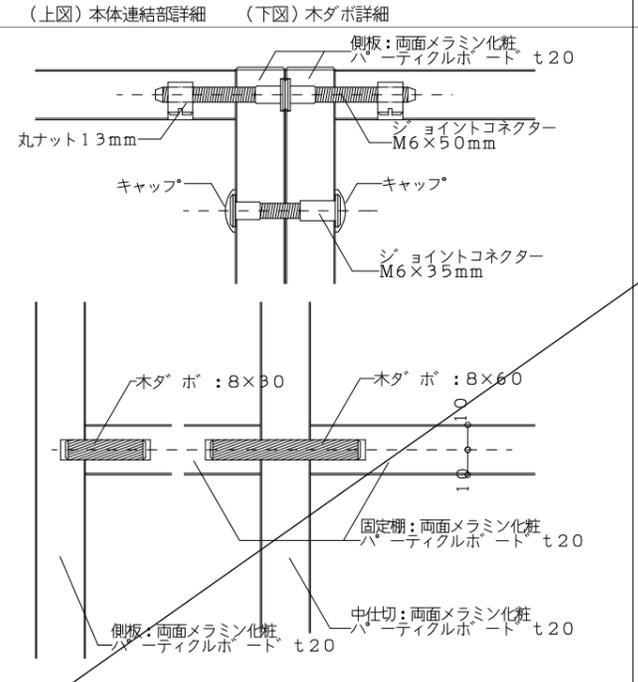
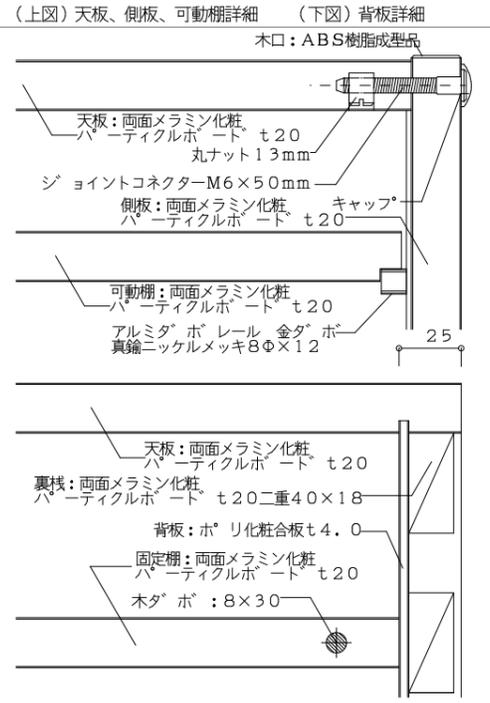
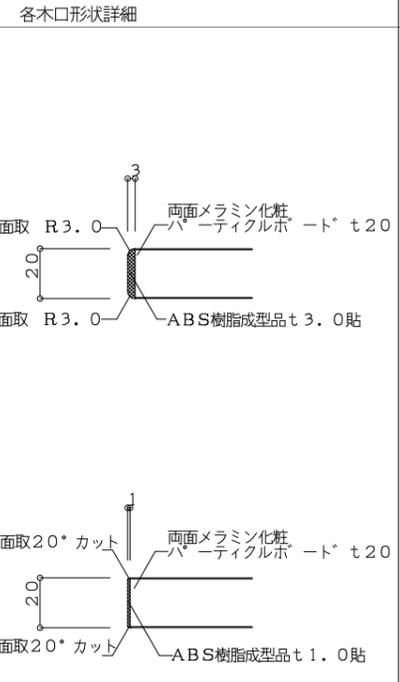
訂正		令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
		鶴岡市建設部				
		建築課				
		設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

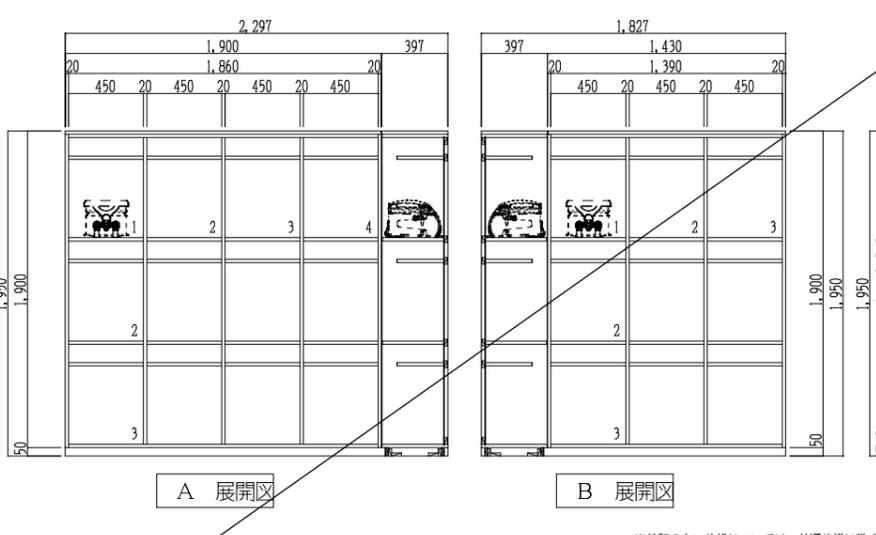
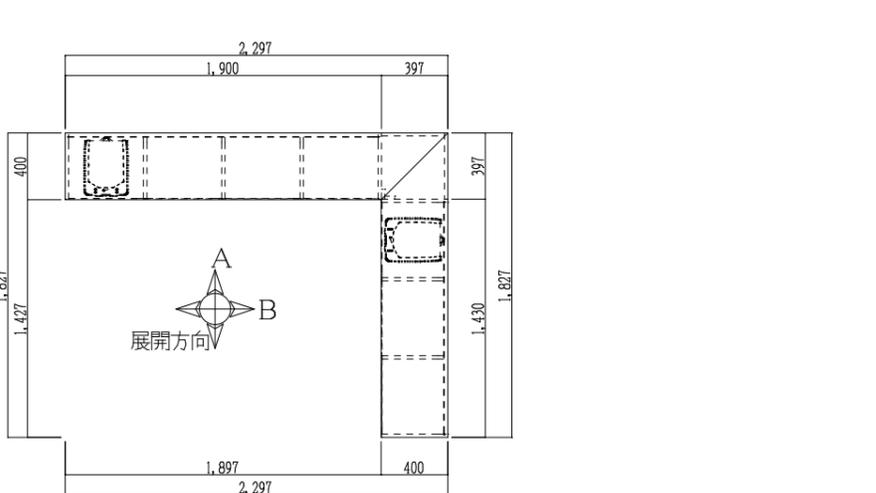
図面内容	2階家具キープラン	図面番号	A-48
縮尺	1/100	区分	

家具工事共通仕様 (図面中特記なき場合は下記の仕様による)

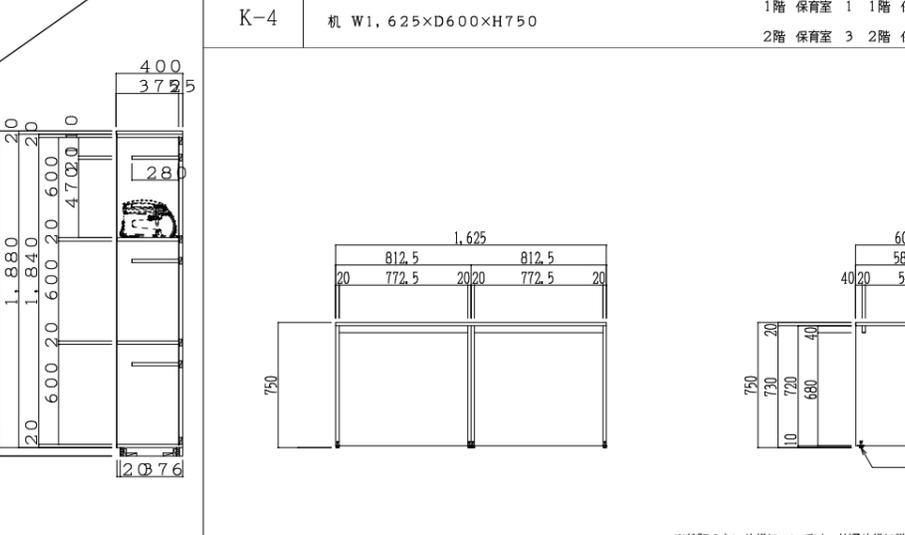
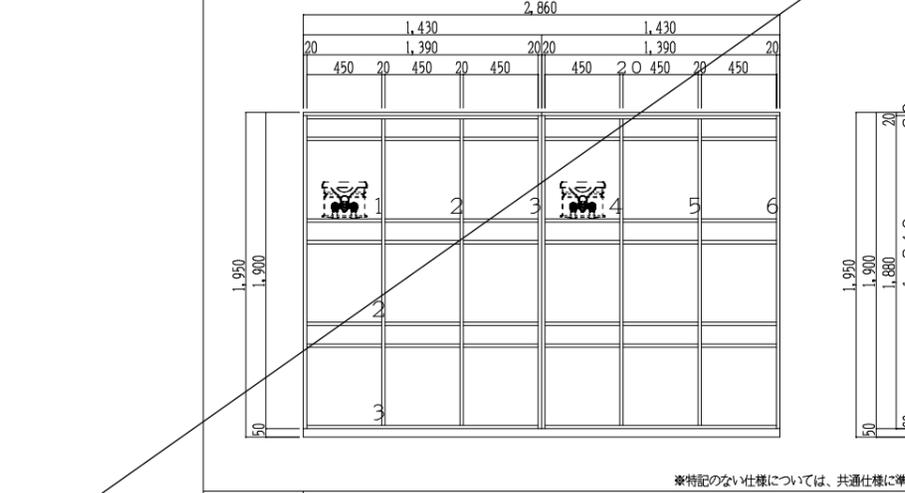
- 1 天板 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t1.0 貼 (一部ABS樹脂成型品 t3.0 R面処理)
- 2 側板 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t1.0 貼
- 3 地板 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t1.0 貼
- 4 固定棚 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t1.0 貼
- 5 可動棚 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t1.0 貼
- 6 中仕切 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t1.0 貼
- 7 背板 ホリ化粧合板 t4.0 貼 片面フラッシュ
- 8 棚受 アルミダボレール@20 金ダボ:真鍮ニッケルメッキΦ8×12
- 9 台枠 ランパコーア t18 下地 ホリ化粧合板貼
- 10 開戸 両面メラミン化粧パーティクルボード t20 木口・ABS樹脂成型品 t3.0 R面処理  
スライド丁番(ソフトクローズタイプ)・引手
- 11 組立金物 ショイントコネクター50mm 丸ナット13mm
- 12 連結金物 ショイントコネクター35mm ナット付(ショイントコネクター見掛け部分は樹脂製化粧キャップ付)
- 13 特記事項 使用する接着剤を含む全ての材料(規格対象外を除く)については、F☆☆☆☆認定品とし、製作図と同時に製品安全シート(MSDSシート)を提出し現場係員の承諾を受けてから製造すること。  
※家具に付属する金物・取手は、施工段階にて選定。(特記記載を除く)



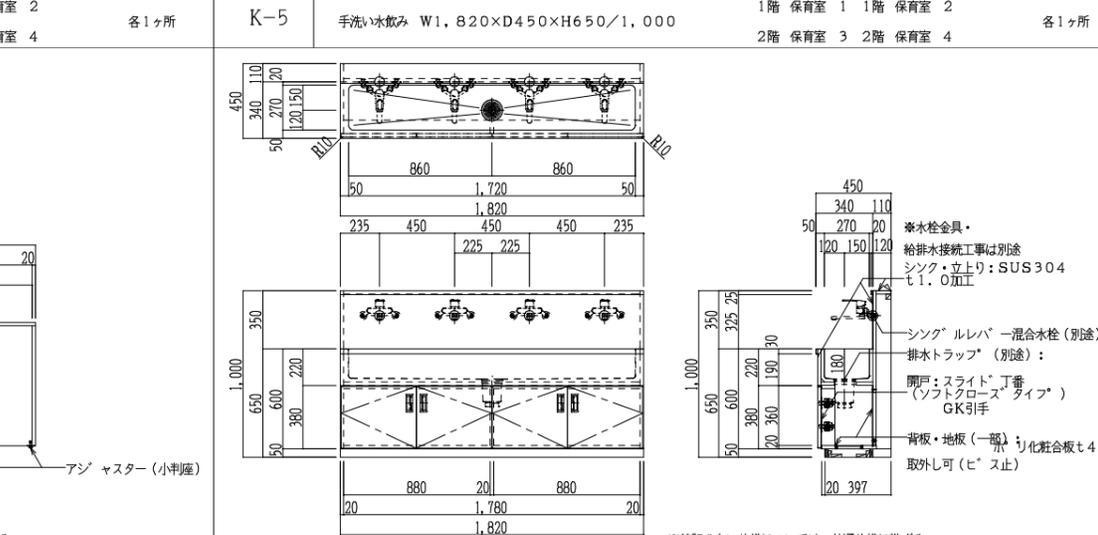
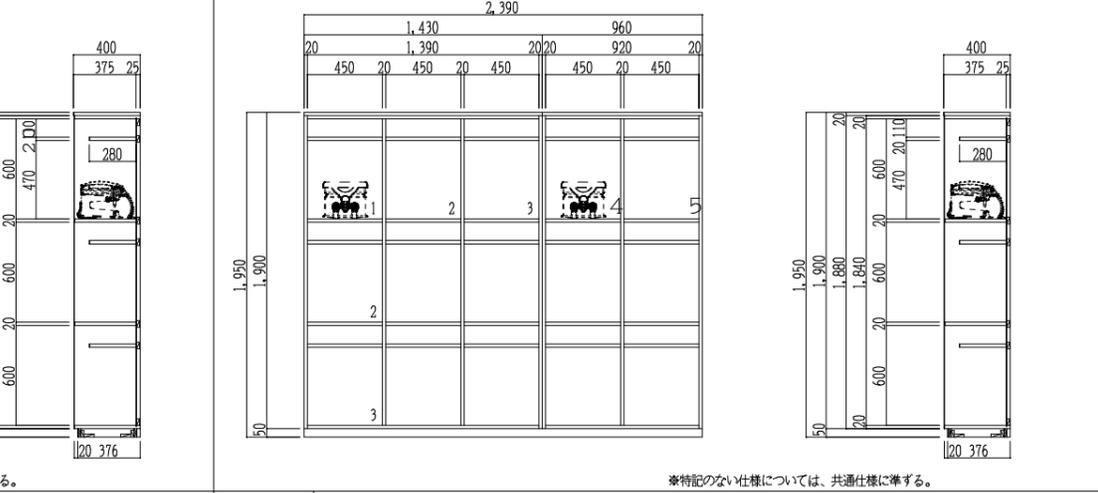
K-1 ランドセルロッカー W2,297/1,827×D400×H1,950  
1階 保育室 1 2階 保育室 3  
反転タイプ:1階 保育室 2 2階 保育室 4 各1ヶ所



K-2 ランドセルロッカー W2,860×D400×H1,950  
1階 保育室 1 1階 保育室 2  
2階 保育室 3 2階 保育室 4 各1ヶ所



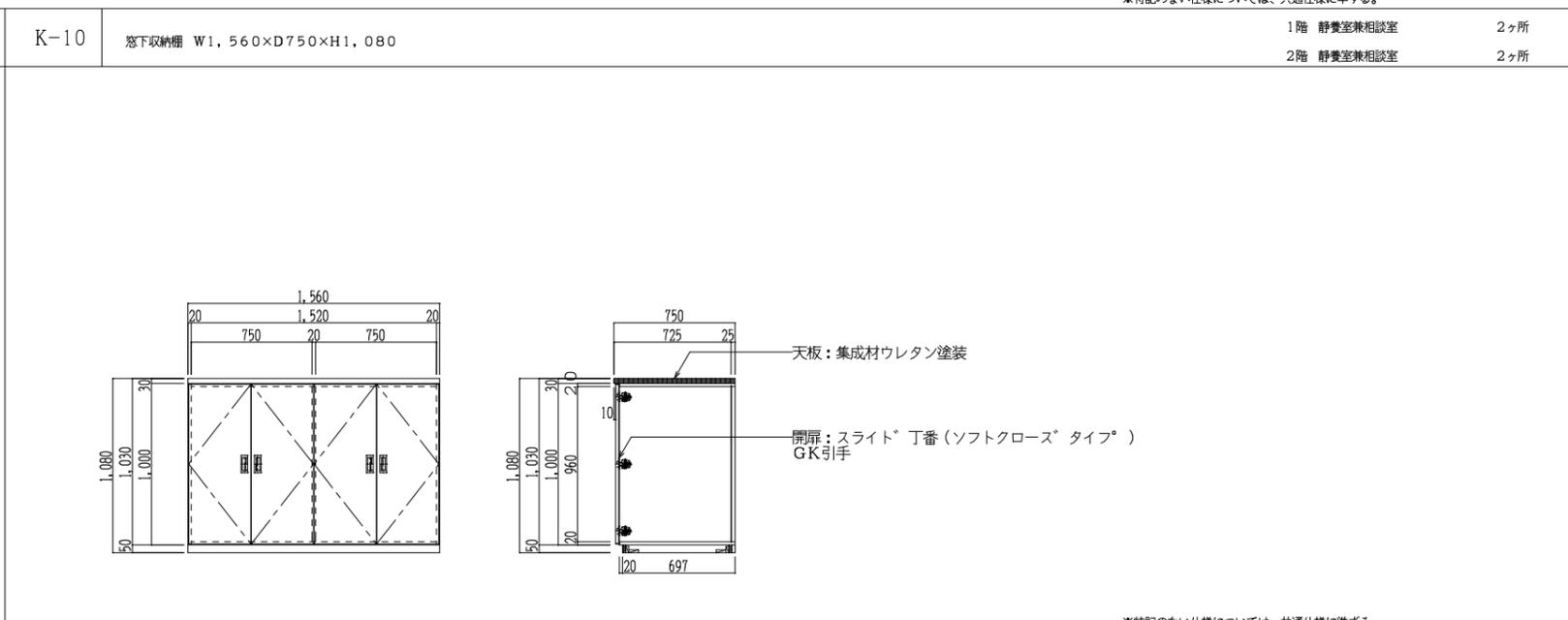
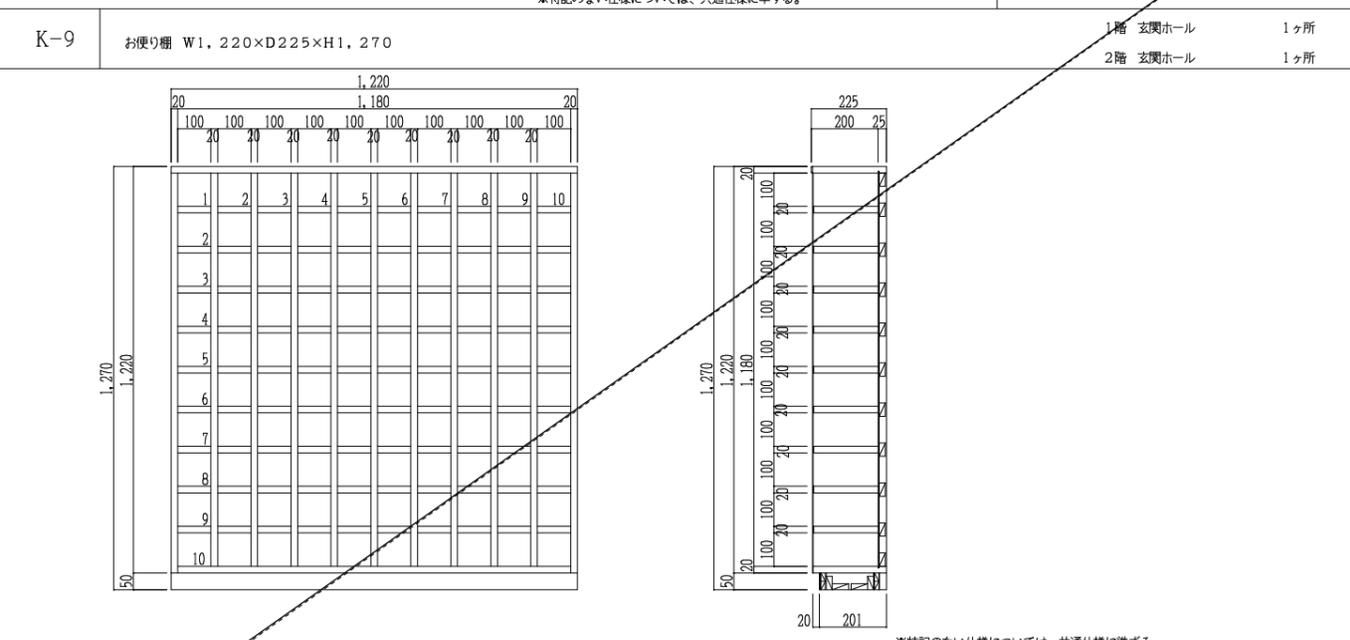
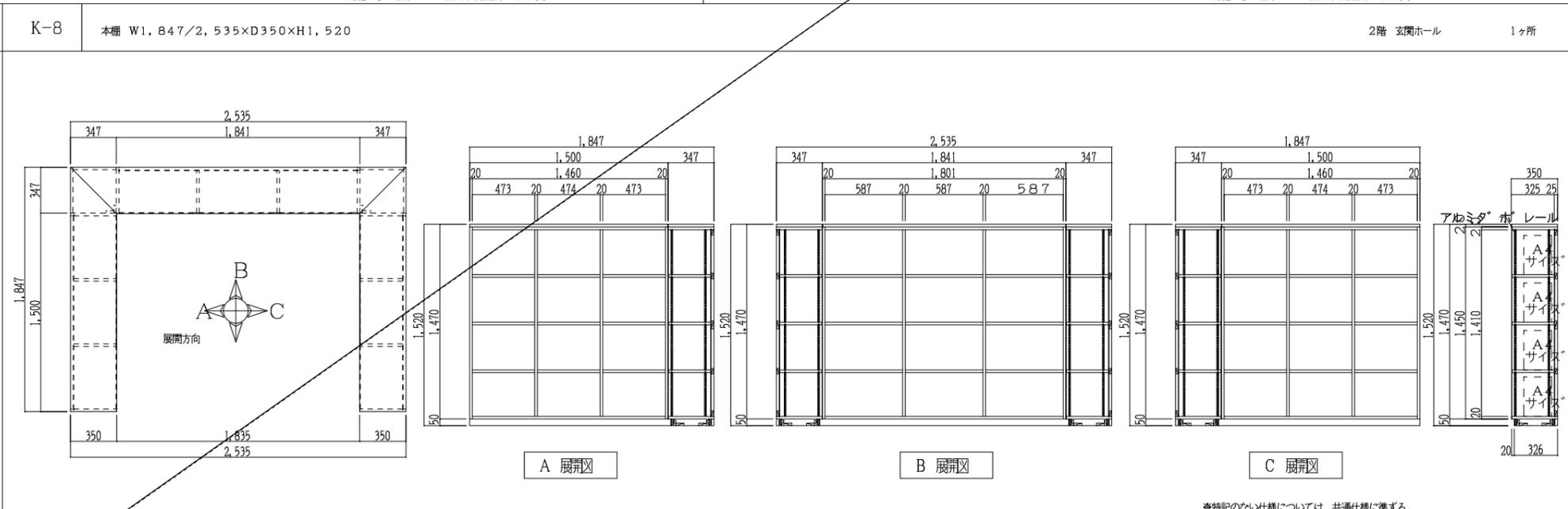
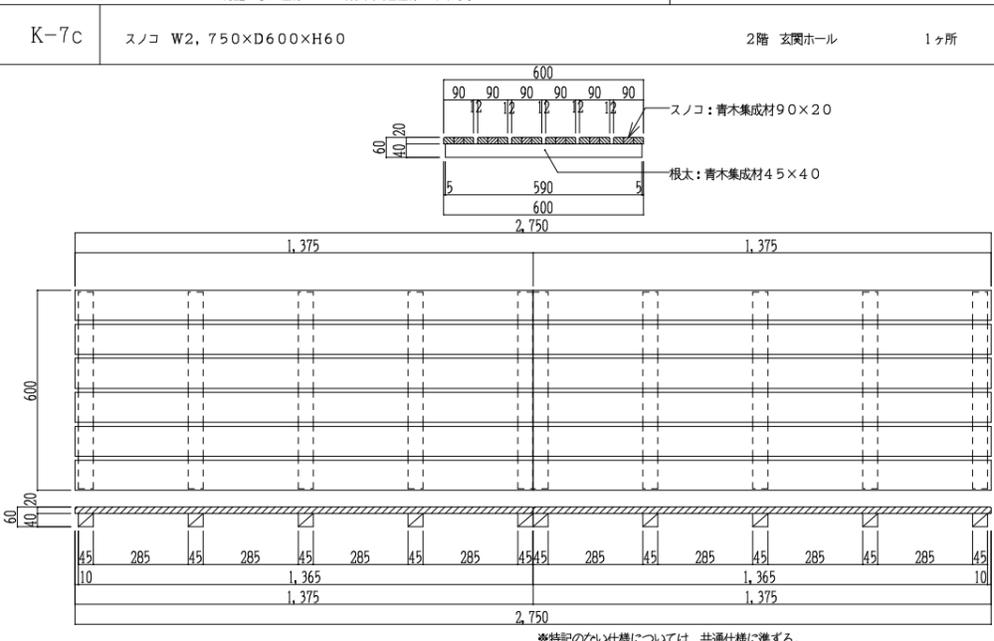
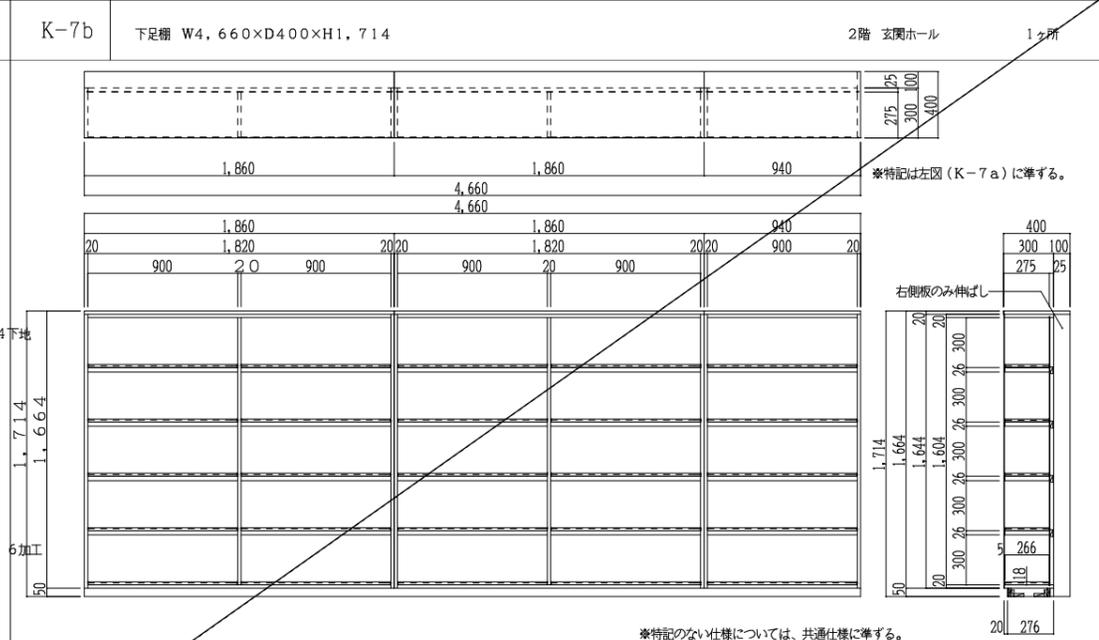
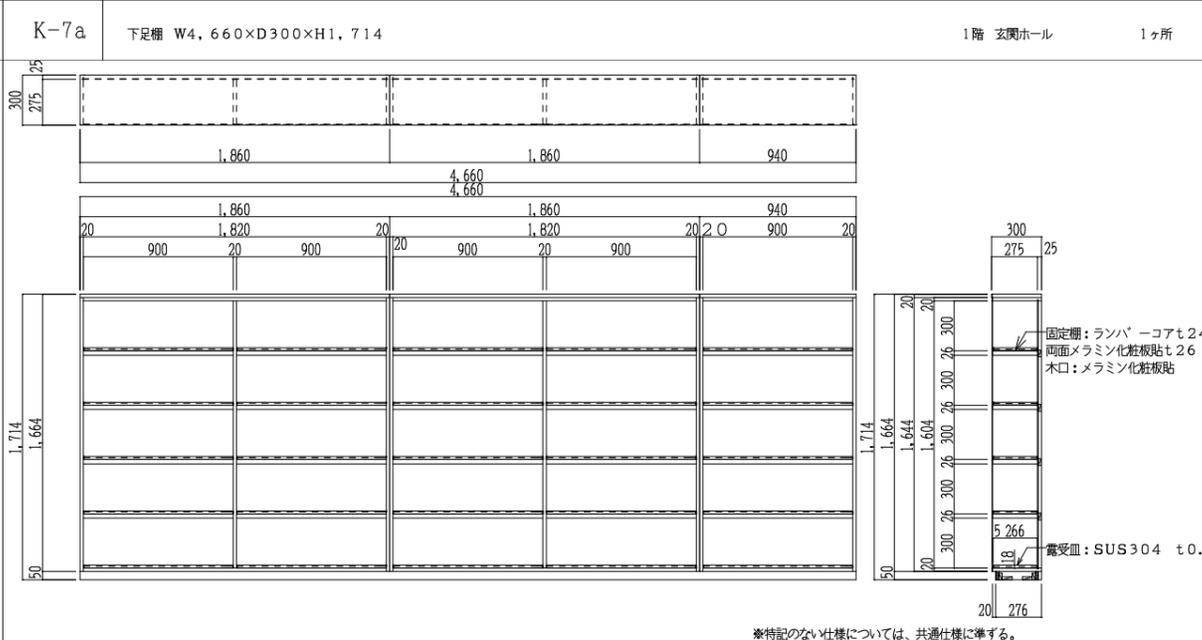
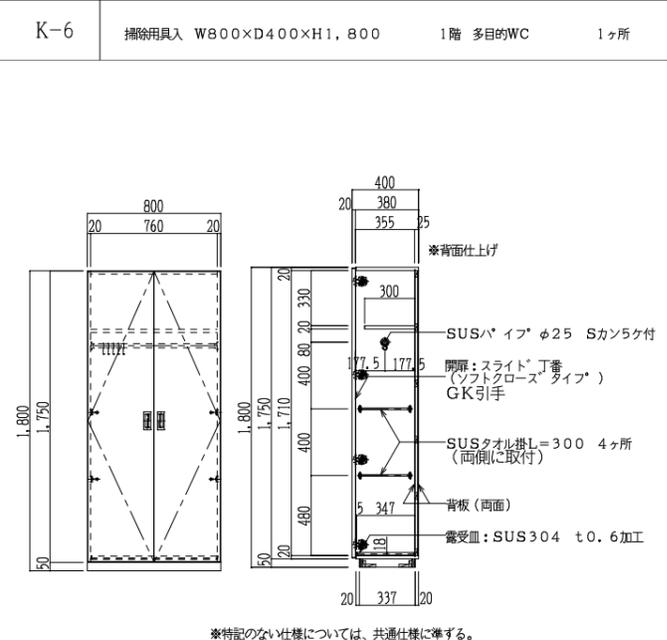
K-3 ランドセルロッカー W2,390×D400×H1,950  
1階 保育室 1 2階 保育室 3  
反転タイプ:1階 保育室 2 2階 保育室 4 各1ヶ所

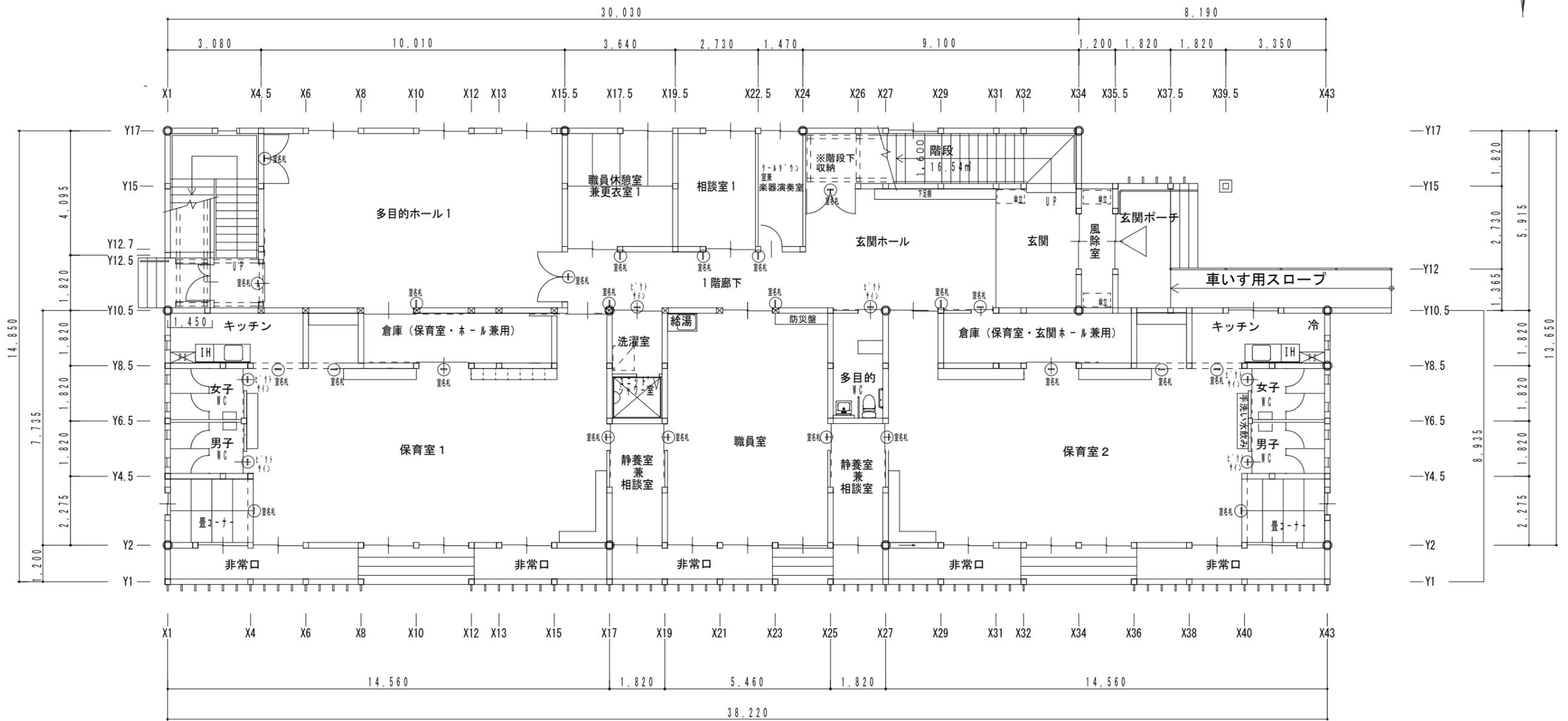
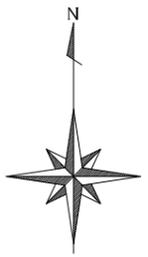


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
TEL(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正  
令和7年8月29日 担当 主査 課長補佐 課長  
鶴岡市建設部 建築課 設計承認済

第三学区放課後児童クラブ新築工事  
図面内容 家具リスト.1  
図面番号 A-49  
縮尺 1/30  
区分



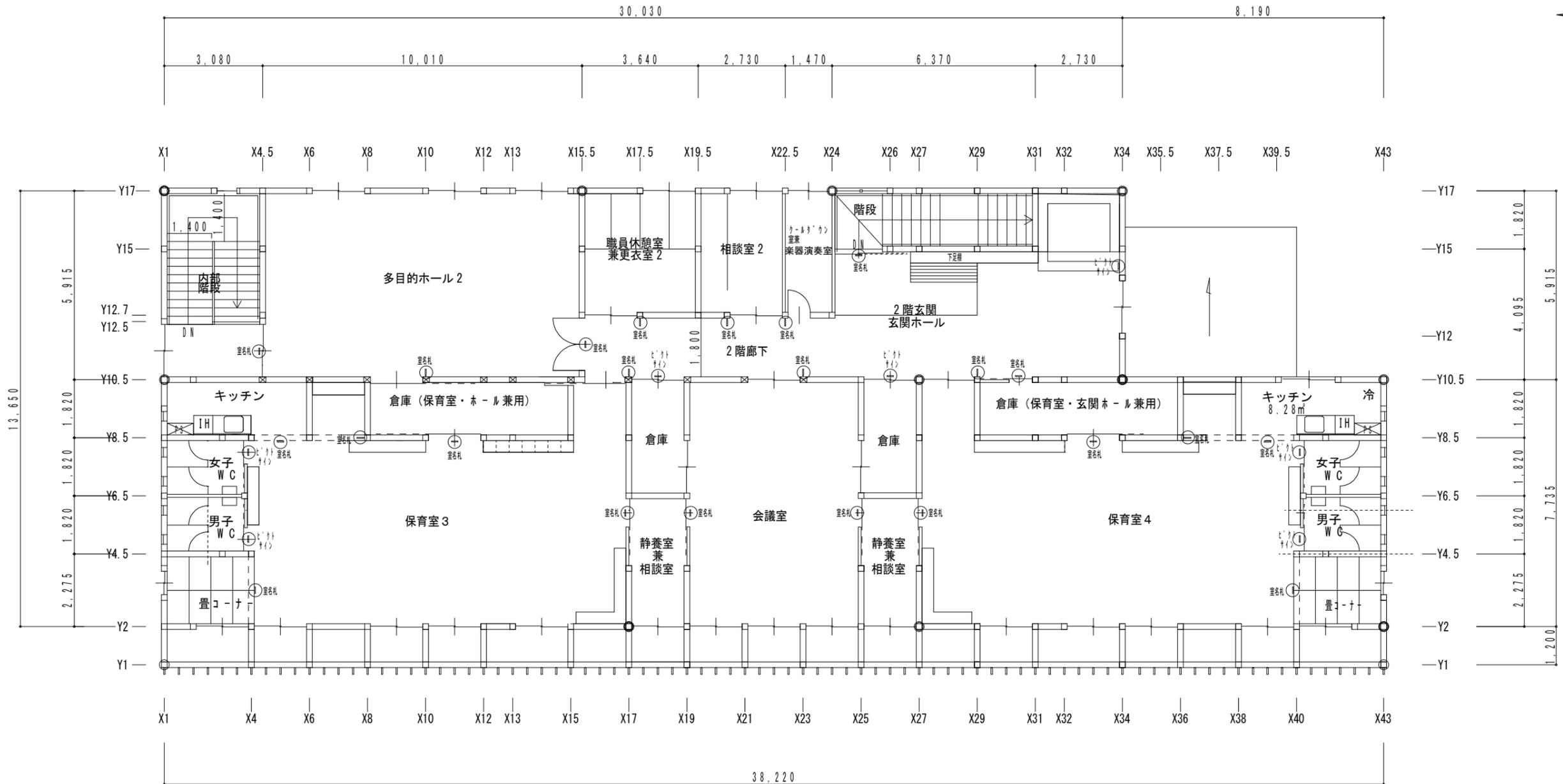


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表)0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	1階家具キープラン ・室名札ビクトサイン	図面番号	A-51
縮尺	1/100	区分	

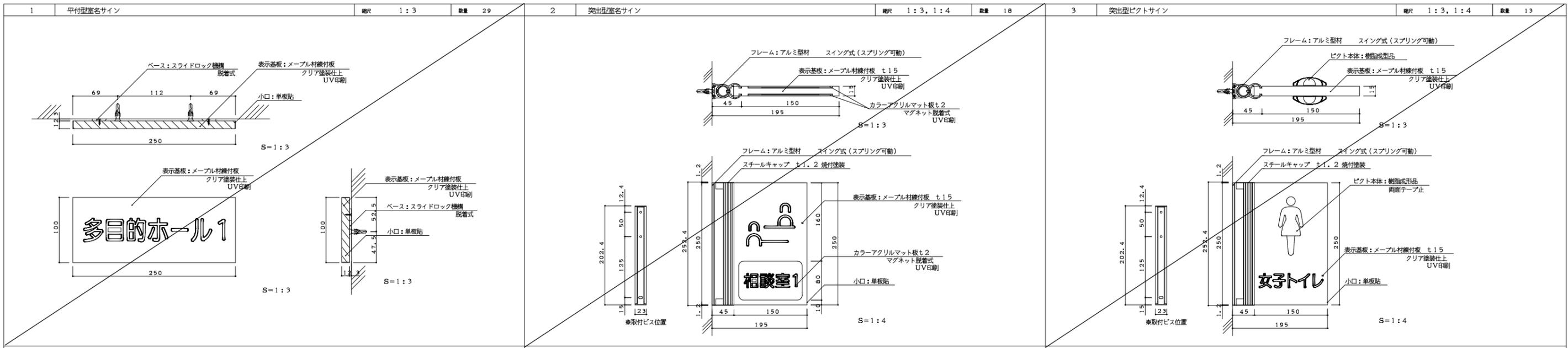


HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	_____	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	_____	鶴岡市建設部				
	_____	建築課				
	_____	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	2階家具キープラン ・室名札ビクトサイン	図面番号	A-52
縮尺	1/100	区分	



■サイン特記仕様

- [1] 使用材料
  - a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応)
  - b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材)
  - c. アクリル : JIS-K-6718-1 (キャスト板), JIS-K-6718-2 (押出板)
  - d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304, HL仕上
- [2] フォント
  - a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。  
\*ただし、係員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。
- [3] ピクトグラム
  - a. 図柄については、原稿を作成し係員の承認を受けること。
- [4] ユニバーサルデザイン
  - a. ピクトグラム表示や点字サインの導入を推奨する。
  - b. 多様な色覚に対応した配色や明度差を理解しているCUD賛助会員による製作を推奨する。
- [5] 取付位置・方法
  - a. 取付位置については、視認性を考慮し係員と協議の上決定する。
  - b. 取付方法については、取付位置の地下などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。
  - c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、係員と協議の上決定する。
- [6] その他
  - a. 室名札については、部屋の移動・名称変更に対応できるよう脱着式を基本とする。  
又、室名札脱着の際には スライドロック機構、専用取盤などを利用し  
商品の損傷等がなくスムーズに脱着できる仕様を推奨する。
  - b. サイン計画については、当施設の他工事と充分に調整協議をすること。

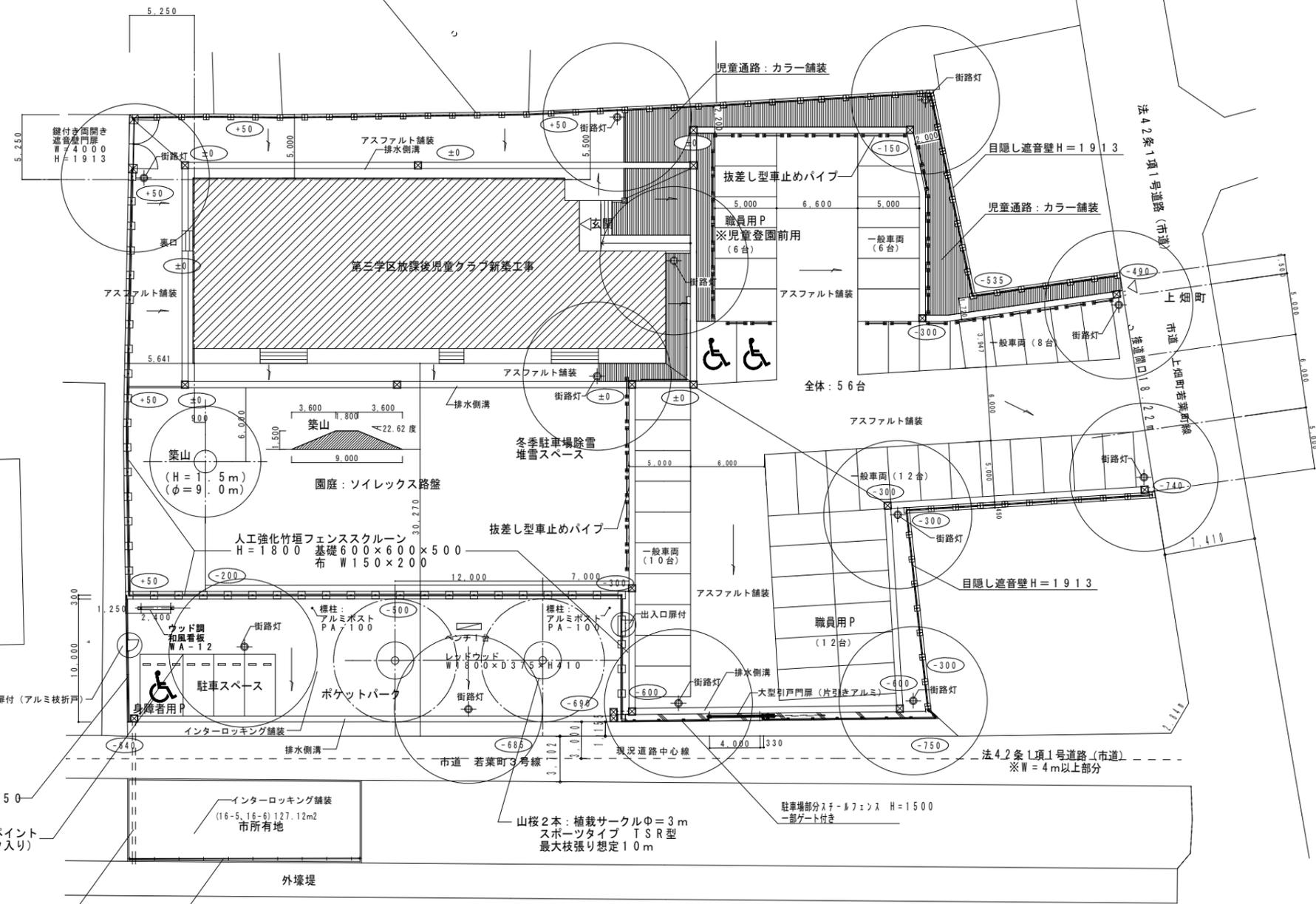
HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	_____	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	_____		鶴岡市建設部			
	_____		建築課			
	_____		設計承認済			

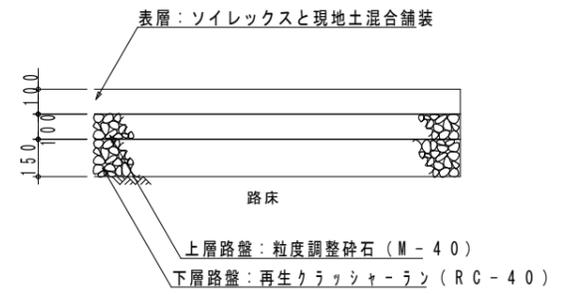
第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	サイン詳細図	図面番号	A-53
縮尺	図示	区分	

目隠し遮音壁 H=1.913  
地先境界コンクリート



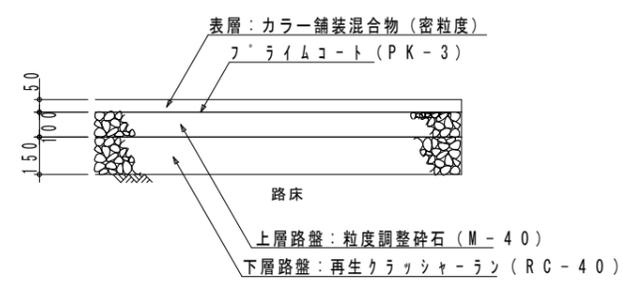
園庭: ソイレックス路盤断面図



安倍家

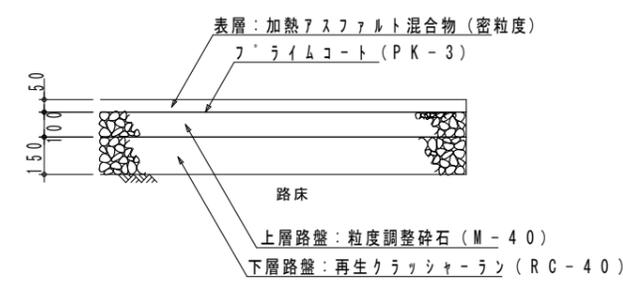
児童通路断面図

・L 交通区分、設計 CBR = 6



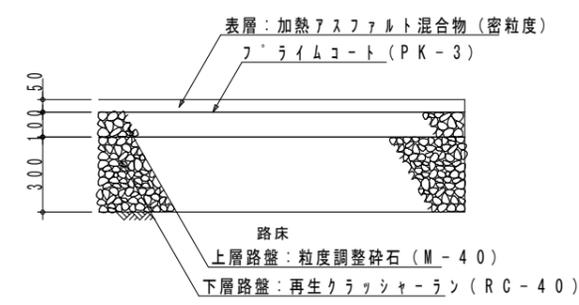
通路路盤断面図

・L 交通区分、設計 CBR = 6



駐車場路盤断面図 S=1/20

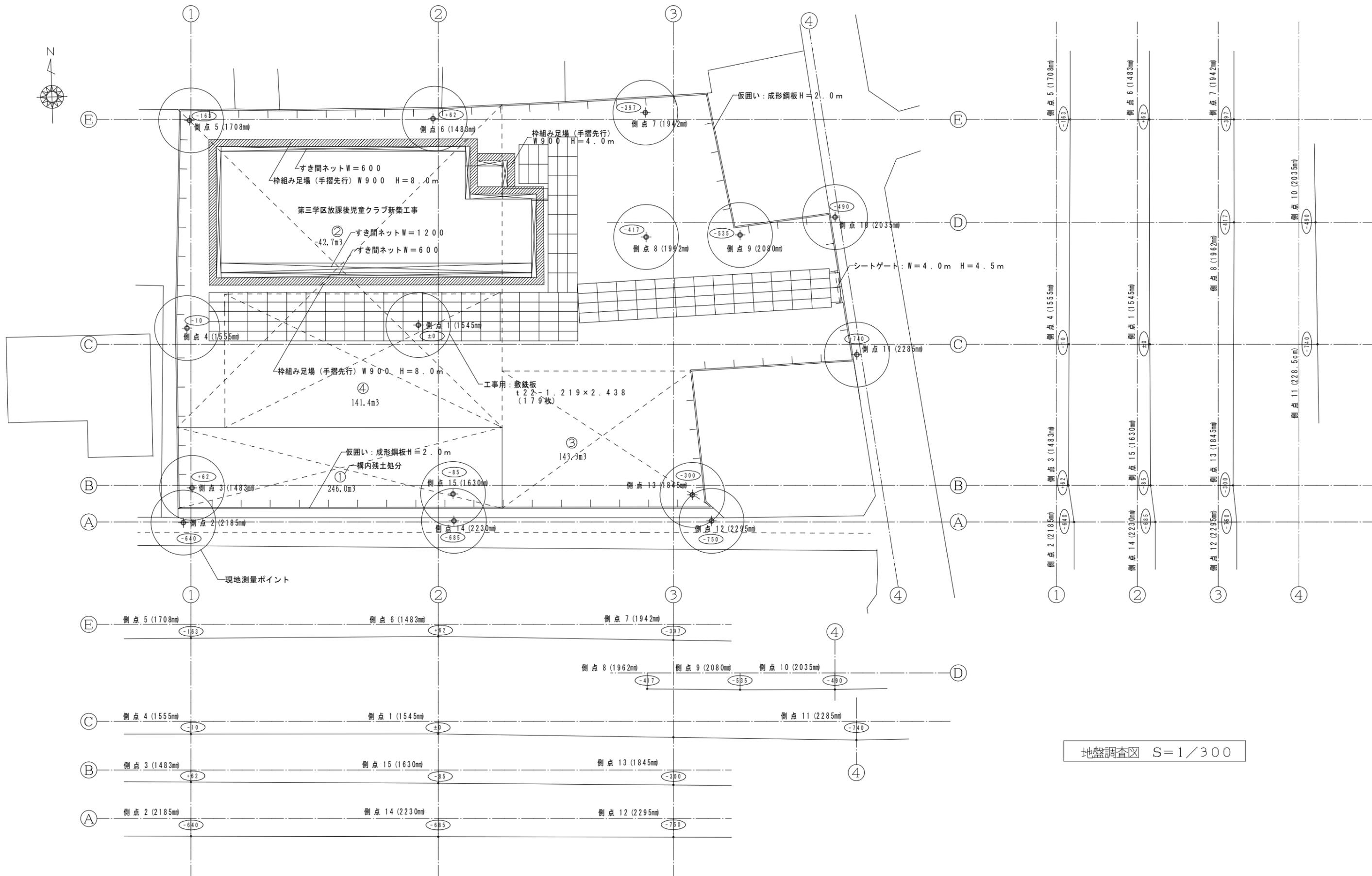
・A 交通区分、設計 CBR = 6



訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	外構図	図原番号	A-54
縮尺	1/300・1/20・1/10	区分	



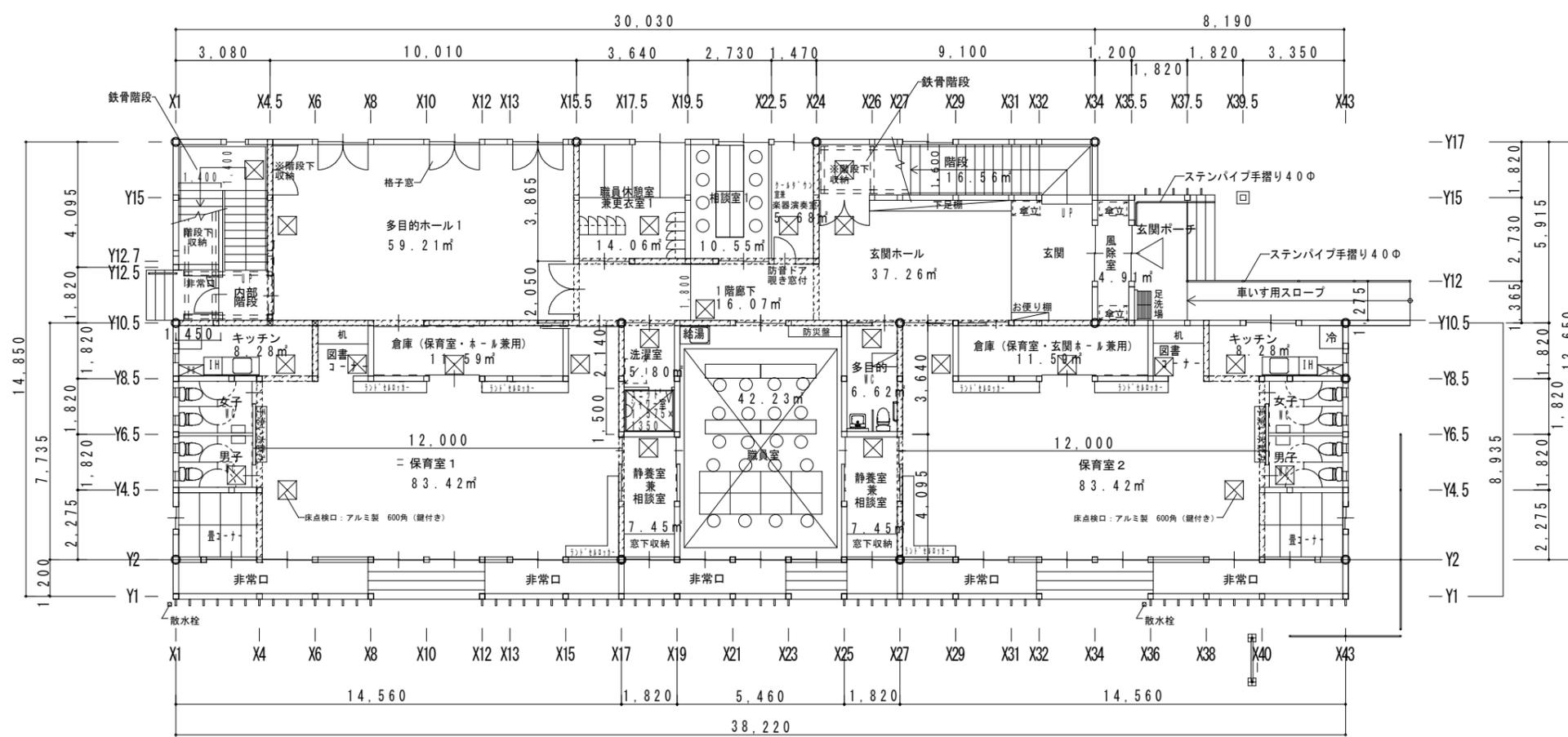
地盤調査図 S=1/300

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL.(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月29日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	仮設計画図・地盤調査図	図面番号	A-69
縮尺	1/300	区分	



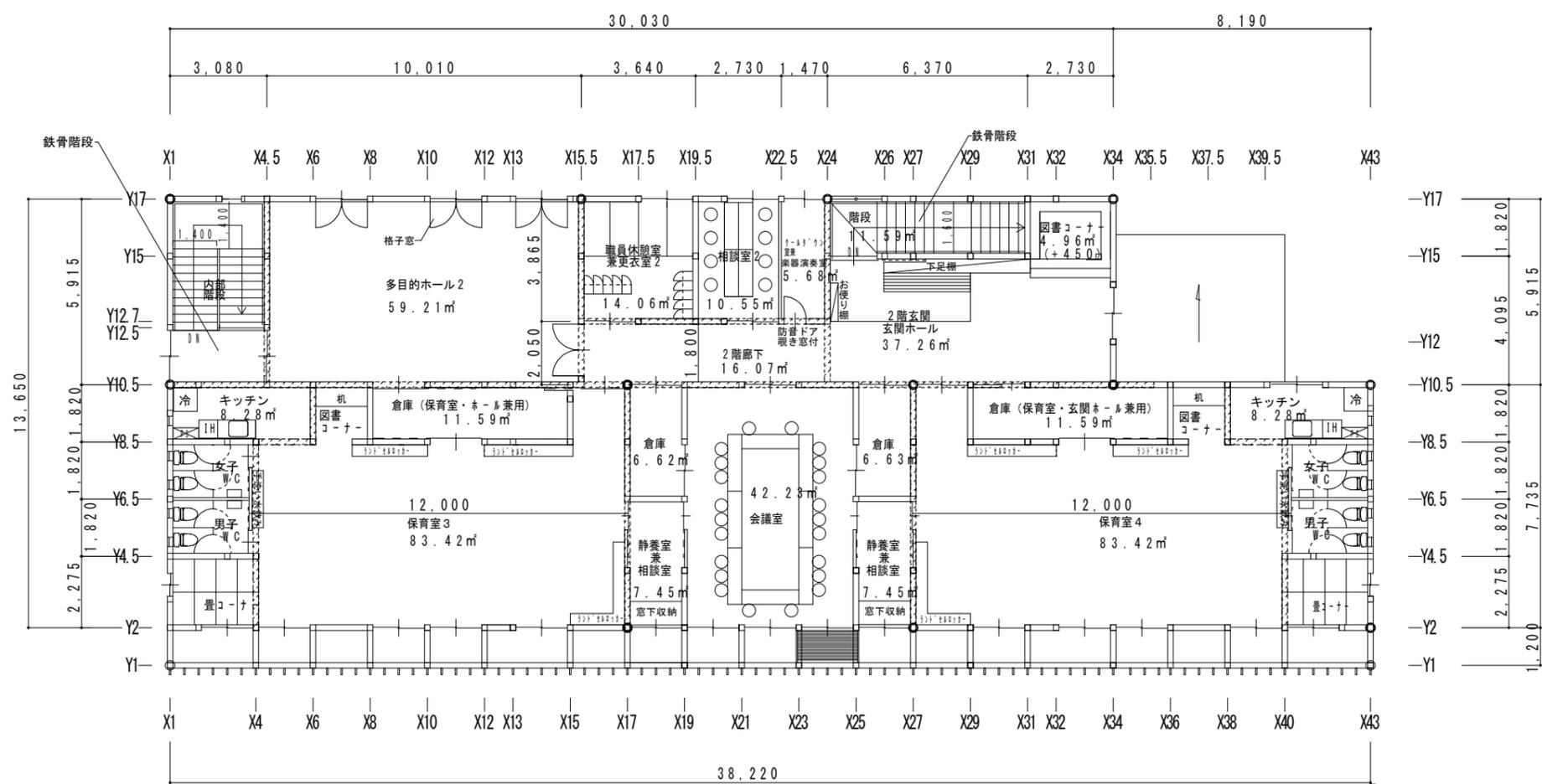
各室軌跡面積						
室名	辺長さ (m)	辺長さ (m)	床面積 (m <sup>2</sup> )	天井高さ (m)	気積 (m <sup>3</sup> )	
保育室1~2	12.000	5.915	70.9800	2.700	191.6460	
	畳コーナー	2.560	2.275	5.8240	2.650	15.4336
	図書コーナー	1.820	1.820	3.3124	2.400	7.9497
	入口	1.820	1.820	3.3124	2.400	7.9497
	計			83.4288		222.9790
キッチン1F	4.550	1.820	8.2810	2.400	19.8744	
倉庫1F	6.370	1.820	11.5934	2.400	27.8241	
WC1F	2.460	3.865	9.3184	2.400	22.3641	
クールダウン室1F			5.68155	2.700	15.3401	
相談室1F	2.730	3.865	10.55145	2.700	28.4889	
職員休憩室兼更衣室	3.640	3.865	14.0686	2.700	37.9852	
多目的ホール1F	10.010	5.915	59.20915	3.000	177.6274	
廊下1F	7.840	2.050	16.0720	2.700	43.3944	
ホール1F	9.100	4.095	37.2645	2.700	100.6141	
	職員室	5.460	5.915	32.2959	2.700	
静養室兼相談室1F	5.460	1.820	9.9372	2.400	111.0482	
	1.820	4.095	7.4529	2.400	17.8869	
	-1.820	0.750	-1.365	1.080	-1.4742	
					=16.4127	

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月18日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事

図面内容	1階(気積)平面図	図面番号	A-70
縮尺	1/100	区分	



各室軌跡面積						
室名	辺長さ (m)	辺長さ (m)	床面積 (㎡)	天井高さ (m)	±空間 (m <sup>3</sup> )	気積 (m <sup>3</sup> )
保育室3~4	12.000	5.915	70.9800	2.700		191.6460
	畳コーナー	2.560	2.275	5.8240	2.650	15.4336
	図書コーナー	1.820	1.820	3.3124	2.700	8.9434
	入口	1.820	1.820	3.3124	2.700	8.9434
	計			83.4288		-0.98
キッチン2F	4.550	1.820	8.2810	2.400		19.8744
クールダウン室2F	1.470	3.865	5.68155	2.700		15.3401
相談室2F	2.730	3.865	10.55145	2.700		28.4889
職員休憩室兼更衣室	3.640	3.865	14.0686	2.700		37.9852
多目的ホール2F	10.010	5.915	59.20915	3.300	2.85×10.01 +28.4284	195.3901 =223.8185
廊下2F	7.840	2.050	16.0720	4.864		78.1742
ホール2F	9.100	4.095	37.2645	3.000		111.7935
図書コーナー2F	2.730	1.820	4.9686	2.550		12.6699
会議室2F	5.460	7.735	42.2331	2.700		114.0293
静養室兼相談室2F	1.820	4.095	7.4529	2.700		17.8869
	-1.820	0.750	-1.365	1.080	-1.4742	=16.4127

HARADA・ARCHITECTURE GROUP株式会社  
 管理建築士 1級建築士登録第185805号 野尻里志  
 1級建築士事務所 山形県知事登録(1903)第425号 山形県鶴岡市日和町15-19  
 補償コンサルタント 建設大臣登録 補18台4531号  
 TEL(代表) 0235(23)8844/FAX0235(23)8867

訂正	令和7年8月18日	担当	主査	課長補佐	課長
	鶴岡市建設部				
	建築課				
	設計承認済				

第三学区放課後児童クラブ新築工事		図面内容	2階(気積)平面図	図面番号	A-71
		縮尺	1/100	区分	